

福山市上下水道局

2026年度

松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 実施設計書

福山市松永町五丁目 地内

工  
事  
概  
要

耐震補強工

一式

# 特 記 仕 様 書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

### 第2節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降40日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

### 第3節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

### 第4節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等  
専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。  
①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）  
②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間  
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間  
なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。  
④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例  
次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。  
①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき  
②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき  
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点  
なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

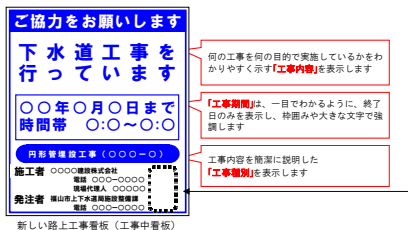
## 第2章 施工

### 第1節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

### 第2節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式にできない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



### 第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるような状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要の人数を見込んである。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一般検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

第4節 管路及びマンホール

1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－1〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
3. 下水道用鑄鉄製マンホールふたは、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鑄鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鑄鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
5. 下水道用鑄鉄製防護ふたは、「福山市型鑄鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鑄鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－6〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料4〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第5節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

第6節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。

第7節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和5年8月）『1-1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第8節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第3章 材料

第1節 埋戻材（処理土）

1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
2. 1により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固着材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固着材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
4. 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

| 判定指標  | 基準値       |
|-------|-----------|
| 最大粒径  | 50mm以下    |
| コーン指数 | 800KN/㎡以上 |

第4章 建設副産物

第1節 建設発生土

1. 本工事に発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。  
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。  
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的に積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第2節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び**廃棄物処理法政令市**が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び**廃棄物処理法政令市**が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び**廃棄物処理法政令市**が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び**廃棄物処理法政令市**が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出  
建設発生土について、500m3以上（一時的に積場については500m3/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時的に積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）  
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m2以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

#### 第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 第6節 再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間14日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。  
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
  - （1）補正方法
    - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
    - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
    - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
  - （2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

### 第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

# 施 工 条 件 表

対象工事名 : 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事

| 項目                              | 事 項       | 該 当 |     | 内 容 |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
|---------------------------------|-----------|-----|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|----|
| ①<br>計<br>画<br>準<br>備<br>関<br>係 | 施工計画書等の提出 | ●   | あ り | ○   | な し                                                                           | 現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。                                                                                                                       |    |       |    |
|                                 |           | ●   | あ り | ○   | な し                                                                           | 現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。                                                                                                                     |    |       |    |
|                                 | 変更図面の作成   | ●   | あ り | ○   | な し                                                                           | 設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。                                                                                       |    |       |    |
|                                 | 取付ますの設置   | ○   | あ り | ●   | な し                                                                           | 取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。<br>なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。 |    |       |    |
|                                 | 誓約書の提出    | ○   | あ り | ●   | な し                                                                           | 試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。<br>なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。                     |    |       |    |
|                                 | 協議        | ○   | あ り | ●   | な し                                                                           | 次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。                                                                                                                                             |    |       |    |
|                                 |           |     |     |     |                                                                               | 関係機関                                                                                                                                                                    | 事項 | 協議の内容 | 備考 |
|                                 |           |     |     |     |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
|                                 |           |     |     |     |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
|                                 |           |     |     |     |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
|                                 |           |     |     |     |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
| 段階確認                            | ●         | あ り | ○   | な し | 施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。<br>なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。 |                                                                                                                                                                         |    |       |    |
|                                 | ○         | あ り | ●   | な し |                                                                               |                                                                                                                                                                         |    |       |    |

| 項目           | 事 項      | 該 当   |       | 内 容                                                                                                                  |                                             |                                  |                                            |                          |
|--------------|----------|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------|
| ②<br>工 程 関 係 | 工事期間     | ● あ り | ○ な し | 工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。<br>なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。 |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       | <input checked="" type="checkbox"/> 準備期間                                                                             | <input checked="" type="checkbox"/> 本工事施工期間 | <input type="checkbox"/> 建物等調査期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更協議期間 | <input type="checkbox"/> |
|              |          |       |       | <input checked="" type="checkbox"/> 後片付け期間                                                                           | <input checked="" type="checkbox"/> 検査期間    | <input type="checkbox"/> 水道管移設期間 | <input type="checkbox"/> ガス管移設期間           | <input type="checkbox"/> |
|              | 関連する別途工事 | ○ あ り | ● な し | 本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。                                                                   |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       | 関連工事の名称                                                                                                              | 発注者名                                        | 予定期間                             | 備考                                         |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              | 制約条件     | ○ あ り | ● な し | 施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。                                                                          |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       | 場所                                                                                                                   | 制約の要因                                       | 制約の内容                            | 備考                                         |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              | ○ あ り    | ● な し |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
| ③<br>用 地 関 係 | 借地       | ○ あ り | ● な し | 次のとおり、借地を見込んでいる。                                                                                                     |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       | 場所                                                                                                                   | 目的                                          | 面積                               | 使用後の処置                                     | 備考                       |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              | 工事用地     | ○ あ り | ● な し | 工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。                                                                                           |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       | 場所                                                                                                                   | 面積                                          | 協議内容                             | 完了見込時期                                     | 備考                       |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              |          |       |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |
|              | ○ あ り    | ● な し |       |                                                                                                                      |                                             |                                  |                                            |                          |

| 項目                   | 事 項            | 該 当   |                                          | 内 容                                                                                                                                             |  |                   |  |           |          |    |    |
|----------------------|----------------|-------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------|--|-----------|----------|----|----|
| ④<br>周 辺 環 境 保 全 関 係 | 建設公害の処置        | ● あ り | ○ な し                                    | 騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。                                                                                                            |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          | 項目                                                                                                                                              |  | 処理方法              |  |           | 備考       |    |    |
|                      |                |       |                                          | 建設機械（全般）                                                                                                                                        |  | 排ガス対策型（第1次基準値）の使用 |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      | 建物等の調査         | ○ あ り | ● な し                                    | 一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。<br>なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。                                    |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          | 調査内容                                                                                                                                            |  | 調査項目              |  | 数量        |          | 備考 |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      | 井戸の調査及びその他の調査等 | ○ あ り | ● な し                                    | 一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。<br>なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。                     |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          | 調査内容                                                                                                                                            |  | 調査項目              |  | 数量        |          | 備考 |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      | 六価クロム溶出試験の実施   | ○ あ り | ● な し                                    | 次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。<br>試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。<br>なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          | 場所                                                                                                                                              |  | 工種                |  | 配合設計段階検体数 | 施工後段階検体数 | 工法 | 備考 |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      |                |       |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
| 濁水・湧水の処理             | ○ あ り          | ● な し | 施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。 |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |
|                      | ○ あ り          | ● な し |                                          |                                                                                                                                                 |  |                   |  |           |          |    |    |

| 項目          | 事 項        | 該 当   |       | 内 容                                                                                                                                                            |              |      |                                                            |
|-------------|------------|-------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|------|------------------------------------------------------------|
| ⑤<br>安全対策関係 | 近接施工       | ○ あ り | ● な し | 重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。                                                                                                                             |              |      |                                                            |
|             |            |       |       | 場所                                                                                                                                                             | 近接する施設       | 条件   | 備考                                                         |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                |              |      |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                |              |      |                                                            |
| ⑥<br>埋戻関係   | 作業時間内の埋戻復旧 | ○ あ り | ● な し | 作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。<br>また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。<br>なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。<br>掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。 |              |      |                                                            |
|             | 処理土        | ● あ り | ○ な し | 処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。                                                                                                                                |              |      |                                                            |
|             | 流用土（現場内流用） | ○ あ り | ● な し |                                                                                                                                                                |              |      |                                                            |
|             | 流用土（他工事流用） | ○ あ り | ● な し | 埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。<br>なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。                                                                                       |              |      |                                                            |
|             |            |       |       | 他工事名                                                                                                                                                           | 搬入場所         | 搬入時期 | 備考                                                         |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                |              |      |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                |              |      |                                                            |
|             | 真砂土        | ○ あ り | ● な し | 埋戻土は、真砂土（購入）を使用すること。                                                                                                                                           |              |      |                                                            |
|             | 品質管理       | ○ あ り | ● な し | 品質管理頻度                                                                                                                                                         | 埋戻土量         | 試験回数 | 試験方法<br>(次のいずれか)<br>簡易貫入試験<br>(土研式円すい貫入試験)<br>現場密度試験       |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                | 50～100m3未満   | 1回   |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                | 100～500m3未満  | 2回   |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                | 500～1000m3未満 | 3回   |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                | 1000m3以上     | 3回以上 |                                                            |
|             |            |       |       |                                                                                                                                                                |              |      | 市道 14回以上/10cm<br>県道 17回以上/10cm<br>90%以上 (複数回の場合異なる層、位置で実施) |

| 項目           | 事 項              | 該 当   |       | 内 容                                                                                              |                    |         |    |
|--------------|------------------|-------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------|----|
| ⑦<br>建設副産物関係 | 建設発生土            | ● あ り | ○ な し | 当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。 |                    |         |    |
|              | 建設汚泥（泥土）         | ○ あ り | ● な し | 建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。                                                                          |                    |         |    |
|              |                  |       |       | 種別                                                                                               | 搬出場所               | 運搬距離    | 備考 |
|              |                  |       |       |                                                                                                  |                    |         |    |
|              | 建設汚泥（泥水）         | ● あ り | ○ な し | 建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。                                                                          |                    |         |    |
|              |                  |       |       | 種別                                                                                               | 搬出場所               | 運搬距離    | 備考 |
|              |                  |       |       | 工事発生汚泥（泥水）                                                                                       | 福山市瀬戸町大字地頭分字虎534-1 | 仕様書のとおり |    |
|              | 特定建設資材の廃棄物       | ● あ り | ○ な し | 特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。                                                                        |                    |         |    |
|              |                  |       |       | 種別                                                                                               | 搬出場所               | 運搬距離    | 備考 |
|              |                  |       |       | コンクリート殻                                                                                          | 尾道市高須町970-1        | 仕様書のとおり |    |
|              |                  |       |       |                                                                                                  |                    |         |    |
|              |                  |       |       |                                                                                                  |                    |         |    |
|              |                  |       |       |                                                                                                  |                    |         |    |
|              | 建設副産物情報交換システム    | ● あ り | ○ な し | 建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。                                                                         |                    |         |    |
|              | 広島県土砂の適正処理に関する条例 | ○ あ り | ● な し | 「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。                                                         |                    |         |    |
|              |                  | ○ あ り | ● な し |                                                                                                  |                    |         |    |
|              |                  | ○ あ り | ● な し |                                                                                                  |                    |         |    |

| 項目        | 事 項         | 該 当   |                                   | 内 容                                                                                  |                                           |                               |                               |    |
|-----------|-------------|-------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|----|
| ⑧<br>仮設関係 | 土留          | ○ あ り | ● な し                             | 次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。 |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   | 場所                                                                                   | 工法                                        | 土留種別                          | 備考                            |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           | 仮設(土留)材料の残置 | ○ あ り | ● な し                             | 次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。                                                         |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   | 場所                                                                                   | 仮設材料名                                     | 残置の形態                         | 数量                            | 備考 |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           | 路面覆工        | ○ あ り | ● な し                             | 作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。                                                   |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   | 場所                                                                                   | 覆工幅                                       | 覆工延長                          | 仕様                            | 備考 |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           | 覆工材料の残置     | ○ あ り | ● な し                             | 別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。                                            |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   | 場所                                                                                   | 仕様                                        | 数量                            | 付属部材                          | 備考 |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           | 水替          | ● あ り | ○ な し                             | 施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。                                                   |                                           |                               |                               |    |
|           | 仮設電力設備      | ● あ り | ○ な し                             | 次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。                                                                 |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       |                                   | 場所                                                                                   | 設備の種類                                     |                               |                               | 備考 |
|           |             |       |                                   | 水替工                                                                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 発動発電機 | <input type="checkbox"/> 低圧受電 | <input type="checkbox"/> 高圧受電 |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      | <input type="checkbox"/> 発動発電機            | <input type="checkbox"/> 低圧受電 | <input type="checkbox"/> 高圧受電 |    |
|           | 一般搬入道路      | ● あ り | ○ な し                             | 一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。                                                 |                                           |                               |                               |    |
| 搬入道路      |             |       |                                   | 期間                                                                                   | 時間                                        | 工事中・後の処置                      | 備考                            |    |
| 全ての道路     |             |       |                                   | 工事期間                                                                                 | 8時～17時                                    | 随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修         | 処置は使用に伴い影響があった場合              |    |
| 仮設道路      | ○ あ り       | ● な し | 仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |
|           |             |       | 期間                                | 安全施設                                                                                 | 使用中の処置                                    | 使用後の処置                        | 備考                            |    |
|           |             |       |                                   |                                                                                      |                                           |                               |                               |    |

| 項目             | 事 項          | 該 当                                                             | 内 容                                                                                |        |       |            |    |
|----------------|--------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|------------|----|
| ⑨<br>工事支障物件関係  | 試験掘り         | ○ あ り ● な し                                                     | 施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。                                           |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 | 場所                                                                                 | 確認物件   | 方法    | 備考         |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                | 本工事に含まれる移設工事 | ○ あ り ● な し                                                     | 本工事では、次の移設工事を含んでいる。                                                                |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 | 場所                                                                                 | 移設物件   | 移設の形態 | 設計見込金額（税抜） |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
| 工事支障物件         | ○ あ り ● な し  | 次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。<br>なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              | 場所                                                              | 支障物件                                                                               | 内容     | 備考    |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                | ○ あ り ● な し  |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
| ⑩<br>地盤改良・推進関係 | 地盤改良         | ○ あ り ● な し                                                     | 次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。 |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 | 場所                                                                                 | 数量・区分等 | 工法    | プラント       | 備考 |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                | 推進工法         | ○ あ り ● な し                                                     | 次のとおり、推進工法を見込んでいる。                                                                 |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 | 区間                                                                                 | 工法     | 備考    |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                |              |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |
|                | ○ あ り ● な し  |                                                                 |                                                                                    |        |       |            |    |

| 項目       | 事 項             | 該 当                                  |                                      | 内 容                                                                              |
|----------|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ⑪<br>その他 | 取付ますの請求額        | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し | 設置した取付ますについて、材料費等を含めた設置費用として、設置依頼者等に対して請求する額は、<br><u>¥17,000円（消費税を含む）</u> としている。 |
|          | その他の図面          | <input checked="" type="radio"/> あ り | <input type="radio"/> な し            | 福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（2023年4月1日改訂版）に基づき、適切に実施すること。                              |
|          | マンホール及び取付管の位置調査 | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し | 工事の完了に伴い、「マンホール及び取付管の位置調査」の記載要領に基づき、マンホール及び取付管の位置を記入した図面を作成し、提出すること。             |
|          | 工事完成のお知らせ       | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し | 完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。                         |
|          |                 | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し |                                                                                  |
|          |                 | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し |                                                                                  |
|          |                 | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し |                                                                                  |
|          |                 | <input type="radio"/> あ り            | <input checked="" type="radio"/> な し |                                                                                  |

# 総括情報表

頁0 -0001

|                                                                                                               |                                                                                                                                                |                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                               |                                                                                                                                                |                                                                                                                  |
| 変更回数<br>適用単価地区<br>単価適用日                                                                                       | 0<br>70 福山市<br>00-08.07.01(0)                                                                                                                  | 凡例<br>Co …コンクリート      As …アスファルト<br>DT …ダンプトラック      BH …バックホウ<br>CC …クローラクレーン    TC …トラッククレーン<br>RTC…ラフテレーンクレーン |
| 諸経費体系                                                                                                         | 1 公共(一般)                                                                                                                                       |                                                                                                                  |
|                                                                                                               | 当世代                                                                                                                                            | 前世代                                                                                                              |
| 工種<br>施工地域・工事場所区分<br>復興補正区分<br>週休補正区分<br>現場事務所等の貸与区分<br>I C T補正区分<br>冬期補正係数<br>緊急工事区分<br>前払金支出割合区分<br>契約保証区分  | 32 下水道工事 ( 3 )<br>02 市街地(DID補正)<br>00 補正なし<br>00 補正なし<br>00 補正なし<br>00 補正なし<br>00 補正なし<br>00 補正なし<br>00 通常工事 0 %<br>00 補正無し<br>01 金銭的保証(0.04%) |                                                                                                                  |
| 建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。 |                                                                                                                                                |                                                                                                                  |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0002

| 費目・工種・施工名称など                                                                | 数量  | 単位 | 単価 | 金額 | 備考               |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----|----|----|----|------------------|
| 本工事費                                                                        |     |    |    |    | X1000            |
| 処理場・ポンプ場                                                                    |     |    |    |    | Y1106 レベル1       |
| 耐震補強工                                                                       | 1   | 式  |    |    | Y110601 レベル2     |
| あと施工せん断補強工（流入渠）                                                             | 1   | 式  |    |    | Y11060101 レベル3   |
| 流入渠                                                                         | 1   | 式  |    |    | Y1106010101 レベル4 |
| あと施工せん断補強工・RMA工法<br>材工共 両頭付き鉄筋 底版 下向き<br>部材厚600mm D25 鉄筋長350mm 削孔長450mm     | 160 | 本  |    |    | F0000001011 00   |
| あと施工せん断補強工・RMA工法<br>材工共 両頭付き鉄筋 底版 ハンチ 下向き<br>部材厚750mm D25 鉄筋長460mm 削孔長601mm | 13  | 本  |    |    | F0000001012 00   |
| あと施工せん断補強工・RMA工法<br>材工共 両頭付き鉄筋 側壁 横向き<br>部材厚550mm D25 鉄筋長450mm 削孔長500mm     | 101 | 本  |    |    | F0000001013 00   |
| あと施工せん断補強工・RMA工法<br>材工共 両頭付き鉄筋 側壁 ハンチ 横向き<br>部材厚650mm D25 鉄筋長530mm 削孔長601mm | 15  | 本  |    |    | F0000001014 00   |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0003

| 費目・工種・施工名称など                                         | 数量   | 単位 | 単価 | 金額 | 備考                                |
|------------------------------------------------------|------|----|----|----|-----------------------------------|
| 殻運搬処理                                                |      |    |    |    | Y1106010102レベル4                   |
|                                                      |      | 式  |    |    |                                   |
| 殻運搬<br>Co(無筋)構造物とりこわし<br>D1D区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超) | 0.1  | m3 |    |    | SPK25040155 00<br><br>単第0 -0001 表 |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる                    |      |    |    |    | #0041                             |
| Co殻受入費<br>再資源施設                                      | 0.1  | m3 |    |    | F0000001001 00                    |
| 開口縮小(ポンプ井)                                           | 1    | 式  |    |    | Y11060102 レベル3                    |
| 増厚コンクリート                                             |      | 式  |    |    | Y1106010201レベル4                   |
| 鉄筋工<br>SD345_D13<br>一般構造物 [規]10t未満                   | 0.01 | t  |    |    | SS000099 00<br><br>単第0 -0002 表    |
| 鉄筋工<br>SD345_D16～D25<br>一般構造物 [規]10t未満               | 0.05 | t  |    |    | SS000099 00<br><br>単第0 -0003 表    |
| あと施工アンカー<br>D19、削孔長L=250、下方向                         | 4    | 箇所 |    |    | V0000003001 00<br><br>単第0 -0004 表 |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0004

| 費目・工種・施工名称など                                            | 数量  | 単位 | 単価 | 金額 | 備考                                |
|---------------------------------------------------------|-----|----|----|----|-----------------------------------|
| あと施工アンカー<br>D19、削孔長L=250、横方向                            | 14  | 箇所 |    |    | V0000003002 00<br><br>単第0 -0006 表 |
| あと施工アンカー<br>D19、削孔長L=250、上方向                            | 4   | 箇所 |    |    | V0000003003 00<br><br>単第0 -0007 表 |
| コンクリート<br>無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB<br>バックホウ(クレーン機能付)打設   | 0.3 | m3 |    |    | SPK25040157 00<br><br>単第0 -0008 表 |
| 型枠<br>一般型枠<br>鉄筋・無筋構造物                                  | 2   | m2 |    |    | SPK25040159 00<br><br>単第0 -0009 表 |
| 付帯工                                                     | 1   | 式  |    |    | Y110613 レベル2                      |
| 水替工                                                     | 1   | 式  |    |    | Y11061301 レベル3                    |
| 土のう締切                                                   |     | 式  |    |    | Y1106130101レベル4                   |
| 大型土のう製作                                                 | 18  | 袋  |    |    | SHD10007 00<br><br>単第0 -0010 表    |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>D1D区間有り 距離6.0km以下(5.0km超) | 16  | m3 |    |    | SPK25040002 00<br><br>単第0 -0012 表 |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0005

| 費目・工種・施工名称など                                               | 数量   | 単位 | 単価 | 金額 | 備考             |
|------------------------------------------------------------|------|----|----|----|----------------|
| 処理土                                                        |      |    |    |    | F0000001003 00 |
|                                                            | 19   | m3 |    |    |                |
| 大型土のう設置(再設置含む)<br>設置作業半径_6m以下<br>設置面高さ_H<-3m, 2m<H         |      |    |    |    | S1050055 00    |
|                                                            | 18   | 袋  |    |    | 単第0 -0013 表    |
| 大型土のう移設(撤去・再設置)<br>設置作業半径_6m以下<br>設置面高さ_H<-3m, 2m<H        |      |    |    |    | S1050061 00    |
|                                                            | 12   | 袋  |    |    | 単第0 -0014 表    |
| 土のう拵え, 積立, 撤去工<br>小口並べ                                     |      |    |    |    | S1012 00       |
|                                                            | 3    | m2 |    |    | 単第0 -0015 表    |
| 大型土のう撤去<br>設置作業半径_6m以下<br>設置面高さ_H<-3m, 2m<H                |      |    |    |    | S1050057 00    |
|                                                            | 18   | 袋  |    |    | 単第0 -0016 表    |
| 土砂等運搬<br>標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>D1D区間有り 距離6.0km以下(5.0km超)    |      |    |    |    | SPK25040002 00 |
|                                                            | 16   | m3 |    |    | 単第0 -0012 表    |
| 現場発生品及び支給品運搬<br>クレーン装置付BT2t積2.9t吊<br>片道運搬距離7.0km以下(5.0km超) |      |    |    |    | SPK25040411 00 |
|                                                            | 0.04 | t  |    |    | 単第0 -0017 表    |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる                          |      |    |    |    | #0041          |
| 発生土受入費<br>再資源化施設                                           |      |    |    |    | F0000001004 00 |
|                                                            | 16   | m3 |    |    |                |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0006

| 費目・工種・施工名称など                                   | 数量   | 単位 | 単価 | 金額 | 備考                         |
|------------------------------------------------|------|----|----|----|----------------------------|
| 処理費<br>廃プラスチック                                 | 0.04 | t  |    |    | F0000001006 00             |
| 水替                                             |      | 式  |    |    | Y1106130102レベル4            |
| ポンプ設置・撤去                                       | 2    | 箇所 |    |    | SHD10037 00<br>単第0 -0018 表 |
| ポンプ運転<br>排水量_120以上450未満(m3/h)<br>全揚程_10m 作業時排水 | 34   | 日  |    |    | S1050053 00<br>単第0 -0020 表 |
| ポンプ運転<br>排水量_0以上120未満(m3/h)<br>全揚程_10m 作業時排水   | 25   | 日  |    |    | S1050053 00<br>単第0 -0024 表 |
| 仮設工                                            | 1    | 式  |    |    | Y110614 レベル2               |
| 交通管理工                                          | 1    | 式  |    |    | Y11061401 レベル3             |
| 交通誘導警備員                                        |      | m3 |    |    | Y1106140101レベル4            |
| 交通誘導警備員B<br>2名配置                               | 4    | 人  |    |    | R0369 00                   |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0007

| 費目・工種・施工名称など                                       | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考               |
|----------------------------------------------------|----|----|----|----|------------------|
| * * 直接工事費 * *                                      |    |    |    |    |                  |
| #0020計=支給品等(材料),無償貸付                               |    |    |    |    |                  |
| 準備費                                                |    |    |    |    | Z0005            |
| 準備費                                                |    |    |    |    | YZZ05 レベル2       |
|                                                    | 1  | 式  |    |    |                  |
| 準備費                                                |    |    |    |    | YZZ05001 レベル3    |
|                                                    | 1  | 式  |    |    |                  |
| 堆積土処理                                              |    |    |    |    | YZZ05001001 レベル4 |
|                                                    |    | 式  |    |    |                  |
| 吸引車清掃工<br>強力吸引車 8t                                 |    |    |    |    | V0000005001 00   |
|                                                    | 10 | m3 |    |    | 単第0 -0026 表      |
| 強力吸引車運搬工<br>D1D区間有り 距離10.0km以下(8.0km超)<br>210kW 8t |    |    |    |    | V0000005004 00   |
|                                                    | 10 | m3 |    |    | 単第0 -0029 表      |
| 【直接工事費に含まれる処分費等】<br>「処分費等」の取扱いによる                  |    |    |    |    | #0041            |
| 汚泥処分費<br>建設汚泥(泥水)                                  |    |    |    |    | F0000001002 00   |
|                                                    | 10 | m3 |    |    |                  |

# 本工事費 内訳表

頁0 -0008

| 費目・工種・施工名称など                                  | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考               |
|-----------------------------------------------|----|----|----|----|------------------|
| 技術管理費                                         |    |    |    |    | Z0006            |
| 技術管理費                                         | 1  | 式  |    |    | YZZ06 レベル2       |
| 技術管理費                                         | 1  | 式  |    |    | YZZ06001 レベル3    |
| 鉄筋探査費                                         |    | 式  |    |    | YZZ06001001 レベル4 |
| 【設計経費】<br>共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外]<br>一般管理費[対象外] |    |    |    |    | #0048            |
| 鉄筋探査工<br>電磁誘導法                                | 53 | m2 |    |    | F0000004001 00   |
| 共通仮設費率分                                       |    |    |    |    | Z0019            |
| 計算情報.....<br>対象額.....<br>率.....               |    |    |    |    |                  |
| * * 共通仮設費計 * *                                |    |    |    |    |                  |

# 本工事費 内訳表

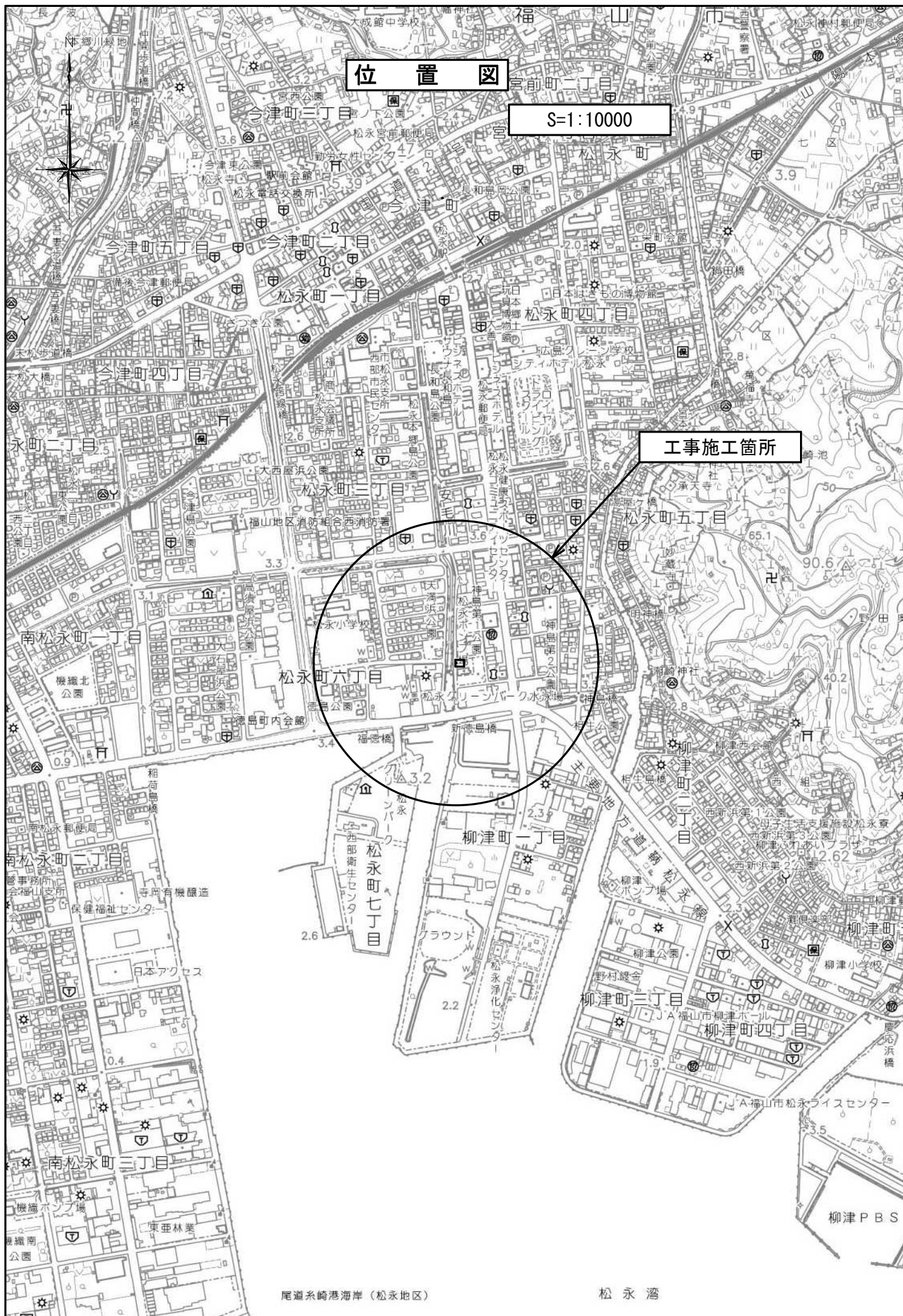
頁0 -0009

| 費目・工種・施工名称など                                      | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考             |
|---------------------------------------------------|----|----|----|----|----------------|
| * * 純工事費 * *                                      |    |    |    |    |                |
| 現場管理費<br>計算情報.....<br>対象額.....<br>率.....          |    |    |    |    |                |
| * * 工事原価 * *                                      |    |    |    |    |                |
| 一般管理費率分<br>計算情報.....<br>対象額.....<br>率.....        |    |    |    |    | 前払補正率...       |
| 契約保証費<br>計算情報.....<br>対象額.....<br>率.....          |    |    |    |    | 当初請対額<br>当初対象額 |
| 一般管理費計                                            |    |    |    |    |                |
| * * 工事価格 * *                                      |    |    |    |    |                |
| * * 消費税相当額 * *<br>計算情報.....<br>対象額.....<br>率..... |    |    |    |    |                |
| * * 工事費計 * *                                      |    |    |    |    |                |

## 本工事費 内訳表

頁0 -0010

[illegible]



位置図

S=1:10000

工事施工箇所

尾道系崎港海岸（松永地区）

松永湾

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事

### 1 留意事項

- (1) 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- (2) 本工事は建設リサイクル法対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めると共に建設副産物入力システム(COBRIS)の計画・実施報告書を提出してください。
- (3) 現場代理人及び主任技術者については、契約約款、建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- (4) 契約後、14日以内に実施工程表を提出するとともに、施工計画書等の承諾を速やかに受けてください。
- (5) 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- (6) 現場内の整理、整頓を常に行い、保安及び衛生に努めてください。
- (7) 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。
- (8) 作業現場、作業用地内の既設構造物などに損傷及び劣化が見られた場合は、監督員に連絡するとともに、必要な安全措置を行ってください。

### 2 現場の状況

- 工事場所は雨水ポンプ場である松永ポンプ場の敷地内であり、非出水期に工事を行います。
- 工事期間中はポンプの運転を行いませんが、メンテナンス業者による設備点検のため、機器の運転を行う場合がありますので、工事の工程について監督員と連絡を密に行ってください。

### 3 その他

- (1) 墜落制止用器具の着用について  
労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。
- (2) 法定外の労災保険の付保について  
本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。
- (3) 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

# 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事

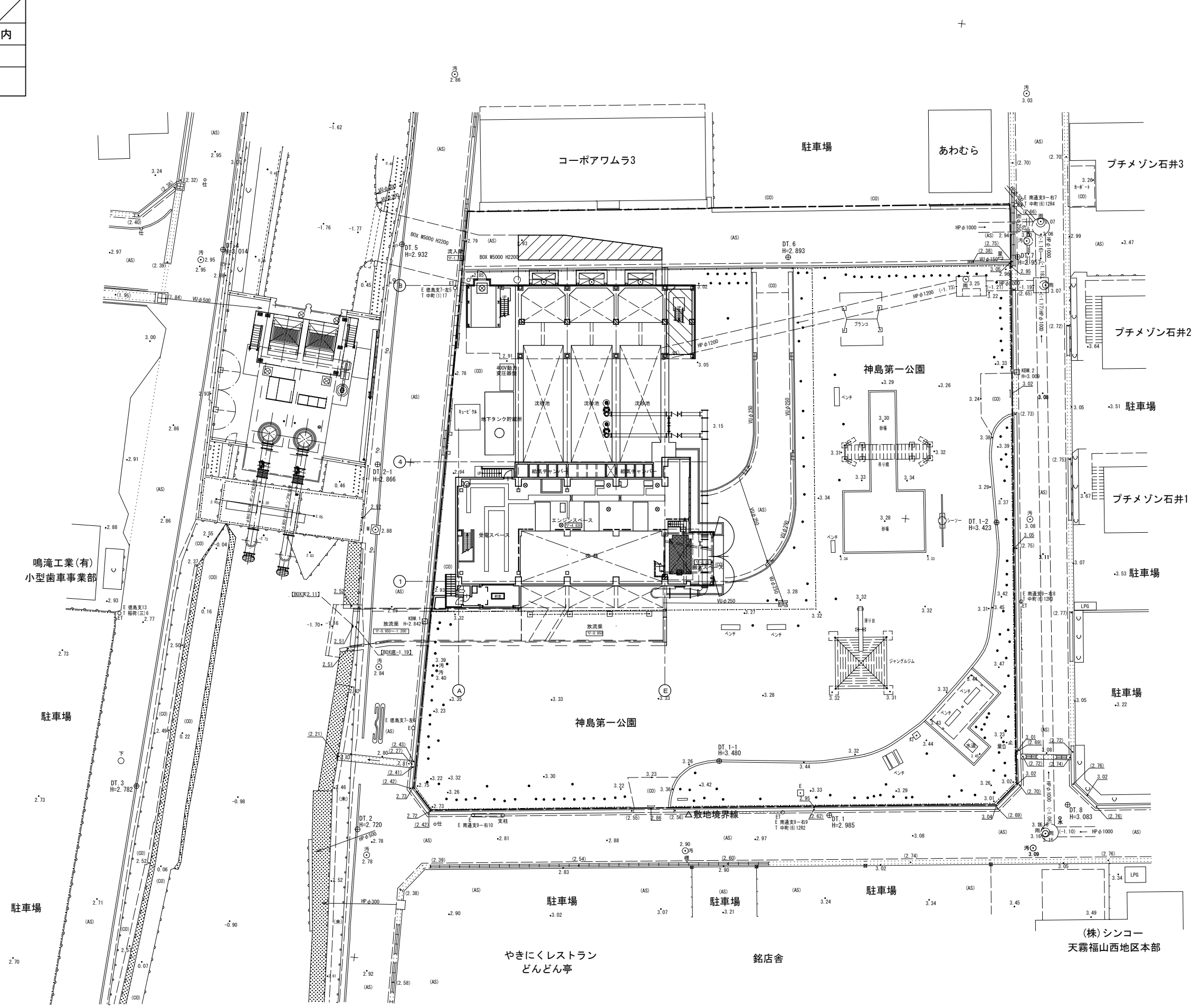
## 図 面 目 録

| 図面番号 | 図 面 名 称                     | 縮 尺                |
|------|-----------------------------|--------------------|
|      |                             |                    |
|      | (土木工事)                      |                    |
| C-1  | 一般平面図                       | A1:1/200, A3:1/400 |
| C-2  | 水位関係図                       | A1:1/100, A3:1/200 |
| C-3  | 流入渠補強詳細図                    | A1:1/50, A3:1/100  |
| C-4  | ポンプ棟地下開口縮小詳細図               | 図示                 |
|      |                             |                    |
| S-1  | 構造細目共通図(1)                  | -                  |
| S-2  | 構造細目共通図(2)                  | -                  |
| S-3  | 構造細目共通図(3)                  | -                  |
| S-4  | 構造細目共通図(4)                  | -                  |
| S-5  | 構造細目共通図(5)                  | -                  |
| S-6  | 構造細目共通図(6)                  | -                  |
| S-7  | 構造細目共通図(7)                  | -                  |
| S-8  | 構造細目共通図(8)                  | -                  |
| S-9  | 構造細目共通図(9)                  | -                  |
| S-10 | 構造細目共通図(10)                 | -                  |
| S-11 | 構造細目共通図(11)                 | -                  |
| S-12 | 構造細目共通図(12)                 | -                  |
| S-13 | あと施工無機系モルタルカプセル定着型せん断補強工仕様書 | -                  |
| K-1  | 仮設図                         | A1:1/200, A3:1/400 |
|      |                             |                    |
|      | (建築工事)                      |                    |
| A-1  | 建築改修工事特記仕様書(1)              | -                  |
| A-2  | 建築改修工事特記仕様書(2)              | -                  |
| A-3  | 建築改修工事特記仕様書(3)              | -                  |
| A-4  | 建築改修工事特記仕様書(4)              | -                  |
| A-5  | 建築改修工事特記仕様書(5)              | -                  |
| A-6  | 建築改修工事特記仕様書(6)              | -                  |
| A-7  | 建築改修工事特記仕様書(7)              | -                  |
| A-8  | 建築改修工事特記仕様書(8)              | -                  |
| A-9  | 建築改修工事特記仕様書(9)              | -                  |
| A-10 | 耐震改修特記仕様書                   | -                  |
| A-11 | 除塵機棟 仕上表                    | -                  |
| A-12 | 除塵機棟 平面図(1)                 | A1:1/100, A3:1/200 |
| A-13 | 除塵機棟 平面図(2)                 | A1:1/100, A3:1/200 |
| A-14 | 除塵機棟 立面図(1) 断面図(1)          | A1:1/100, A3:1/200 |
| A-15 | 除塵機棟 立面図(2) 断面図(2)          | A1:1/100, A3:1/200 |
| A-16 | 除塵機棟 部分詳細図                  | 図示                 |
|      |                             |                    |
| S-14 | 除塵機棟 補強案内図                  | A1:1/100, A3:1/200 |
| S-15 | 除塵機棟 補強詳細図                  | 図示                 |
|      |                             |                    |

|                 |                 |     |                      |
|-----------------|-----------------|-----|----------------------|
| 図面番号            | C-1             | 縮尺  | A1:1/200<br>A3:1/400 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |     |                      |
| 種 別             | 一般平面図           | 番 号 | ／                    |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |     |                      |
| 設計年月            | 2026年7月         |     |                      |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |     |                      |

原図サイズA1

一般平面図 A1 S=1:200  
A3 S=1:400



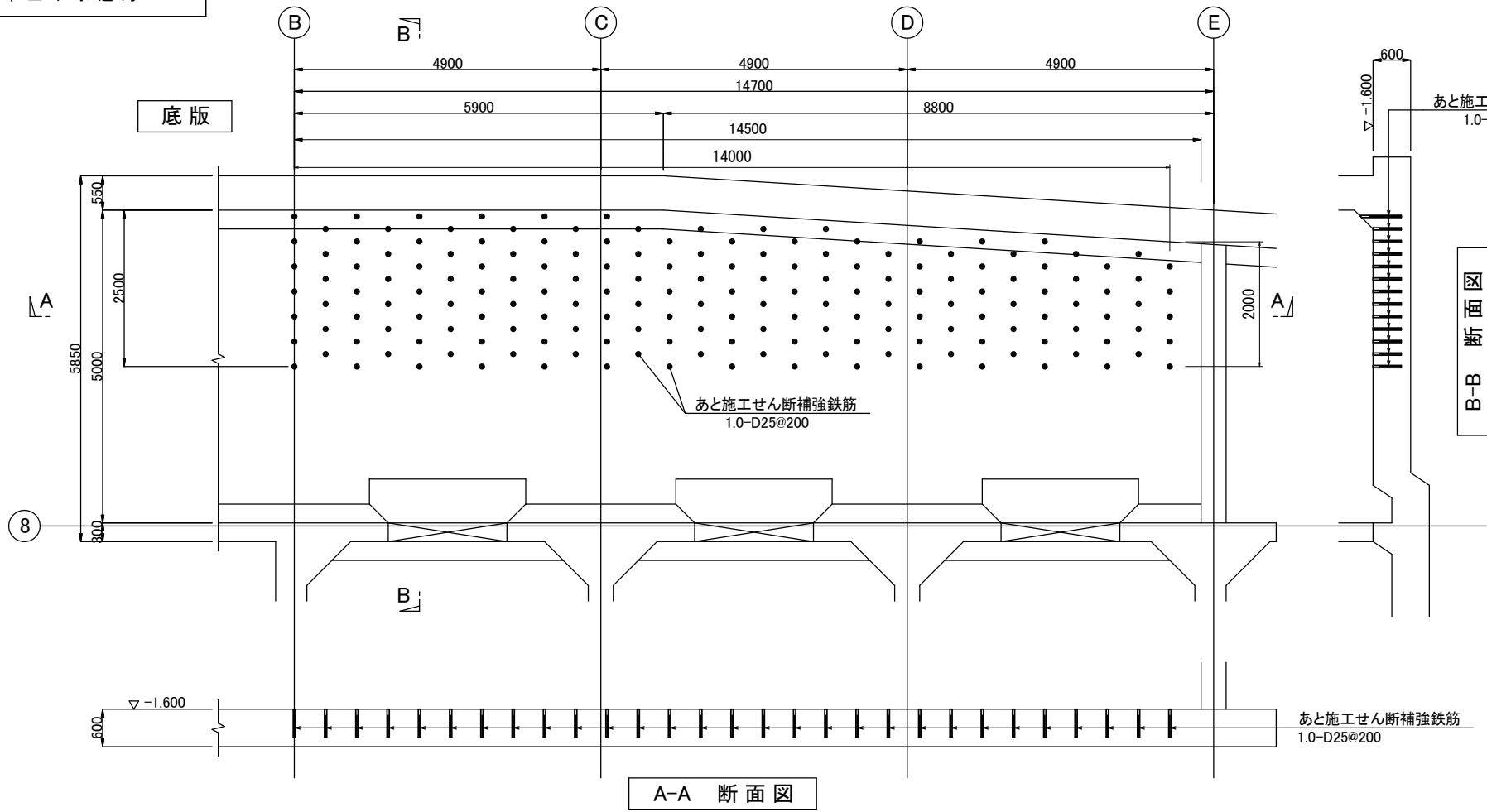
- 土木工事
- 建築工事



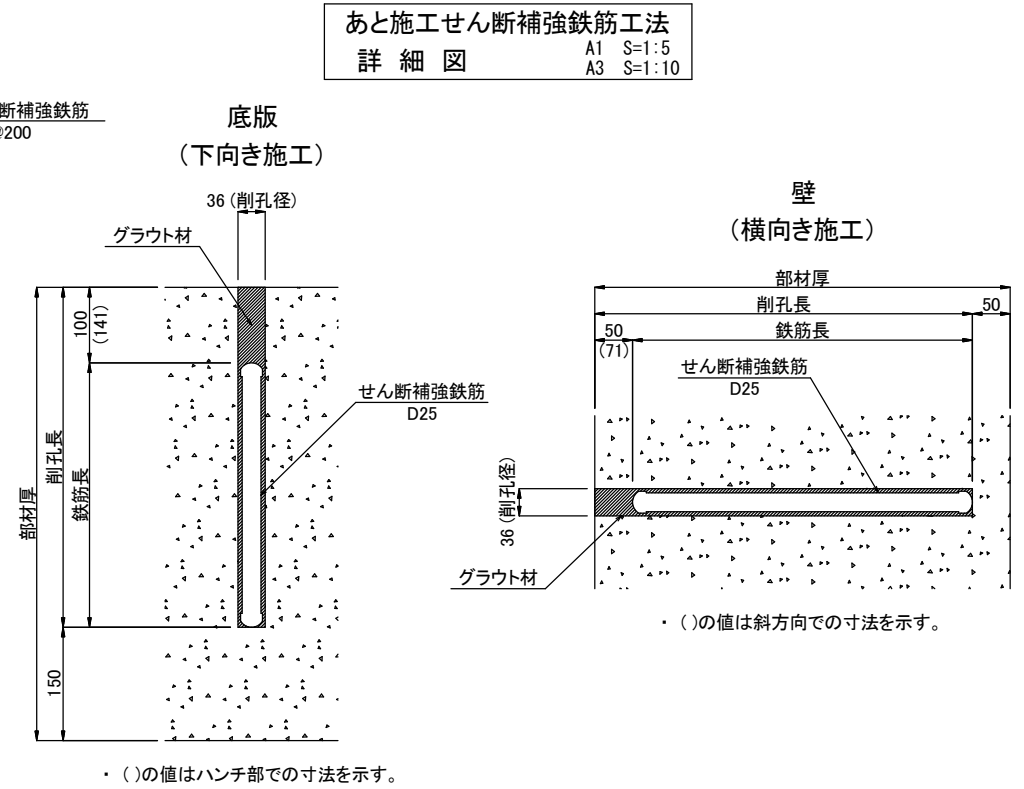
|                 |                 |     |                     |
|-----------------|-----------------|-----|---------------------|
| 図面番号            | C-3             | 縮尺  | A1:1/50<br>A3:1/100 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |     |                     |
| 種 別             | 流入渠補強詳細図        | 番 号 | ／                   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |     |                     |
| 設計年月            | 2026年7月         |     |                     |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |     |                     |

原図サイズA1

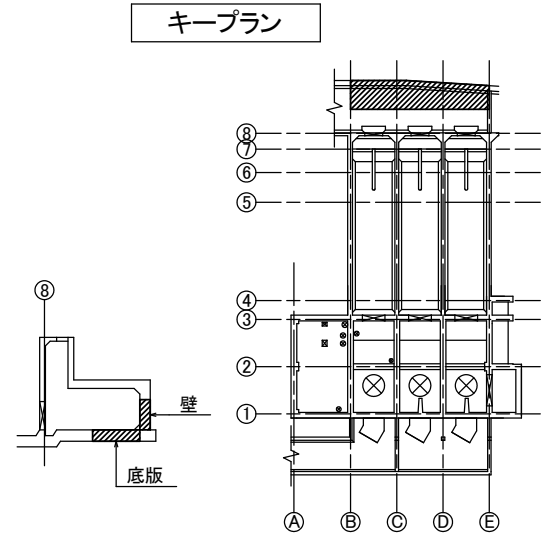
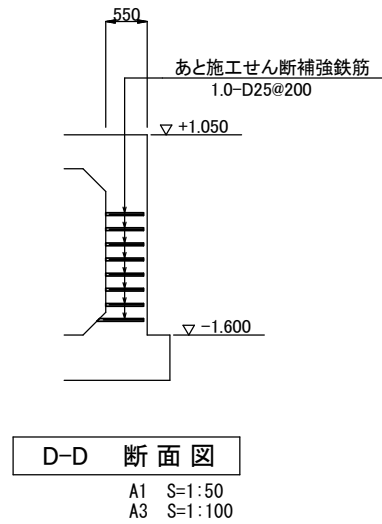
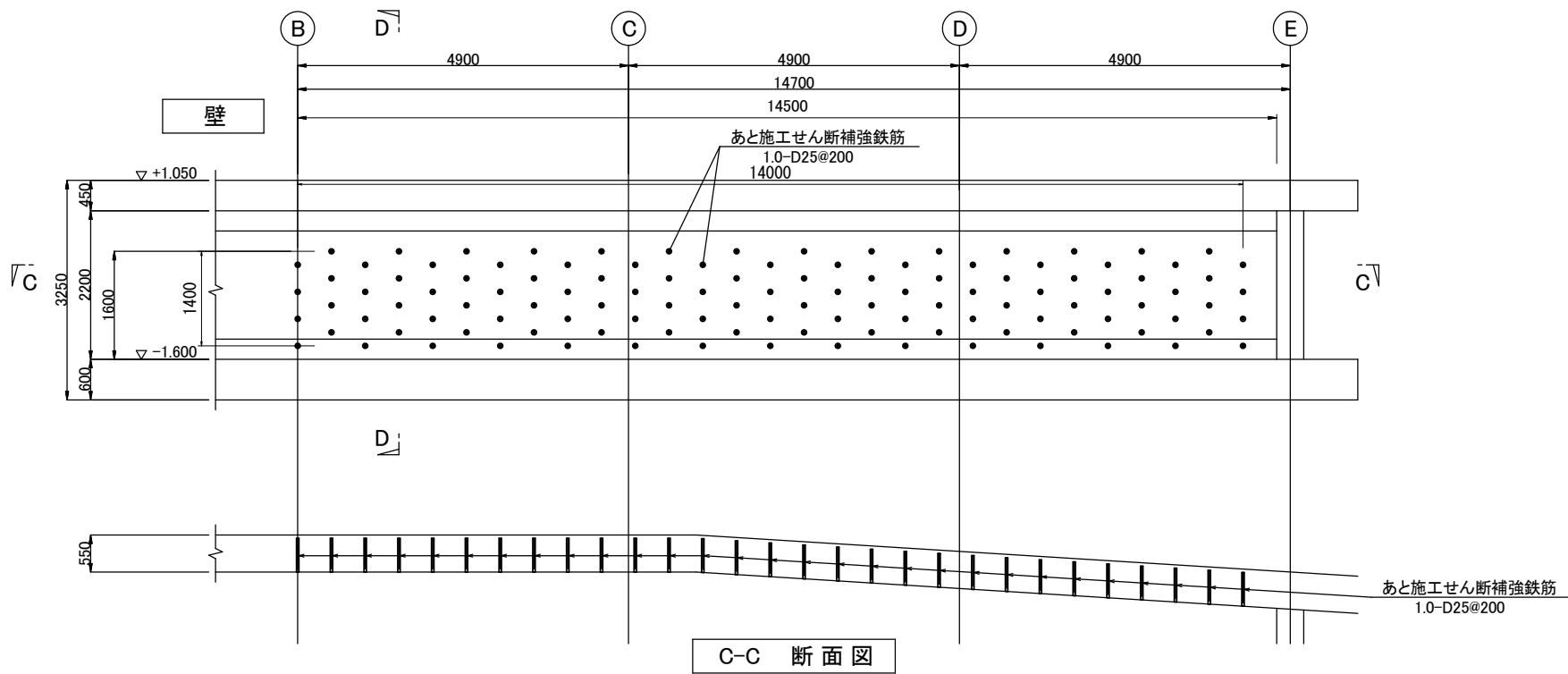
流入渠補強詳細図 A1 S=1:50  
A3 S=1:100



B-B 断面図



- 鉄筋探査機により、鉄筋位置を確認すること。
- 改修部の寸法は参考とし、現場測量後決定すること。

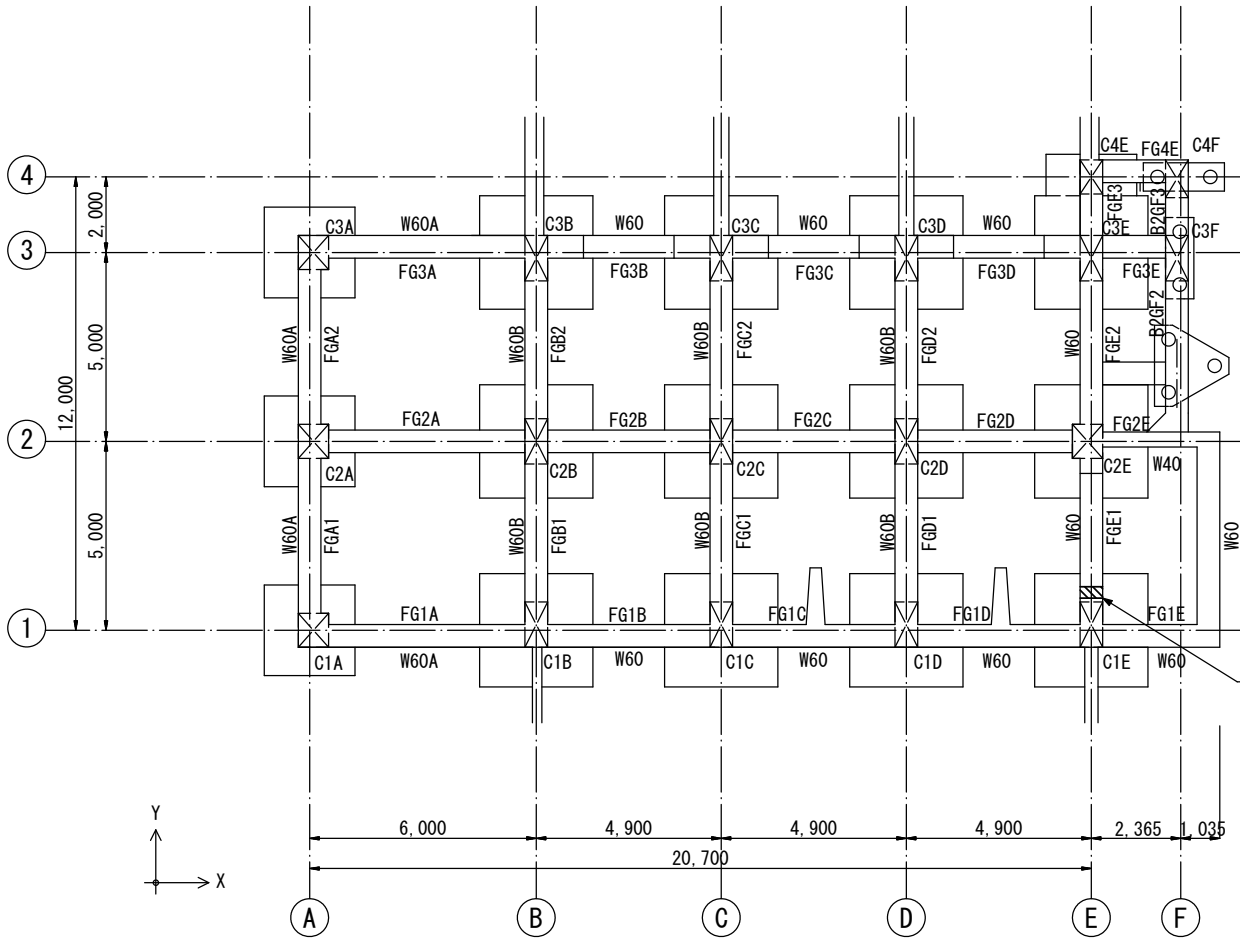


|                 |                 |        |    |
|-----------------|-----------------|--------|----|
| 図面番号            | C-4             | 縮尺     | 図示 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |        |    |
| 種 別             | ポンプ棟地下開口縮小詳細図   | 番<br>号 | ／  |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |        |    |
| 設計年月            | 2026年7月         |        |    |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |        |    |

原図サイズA1

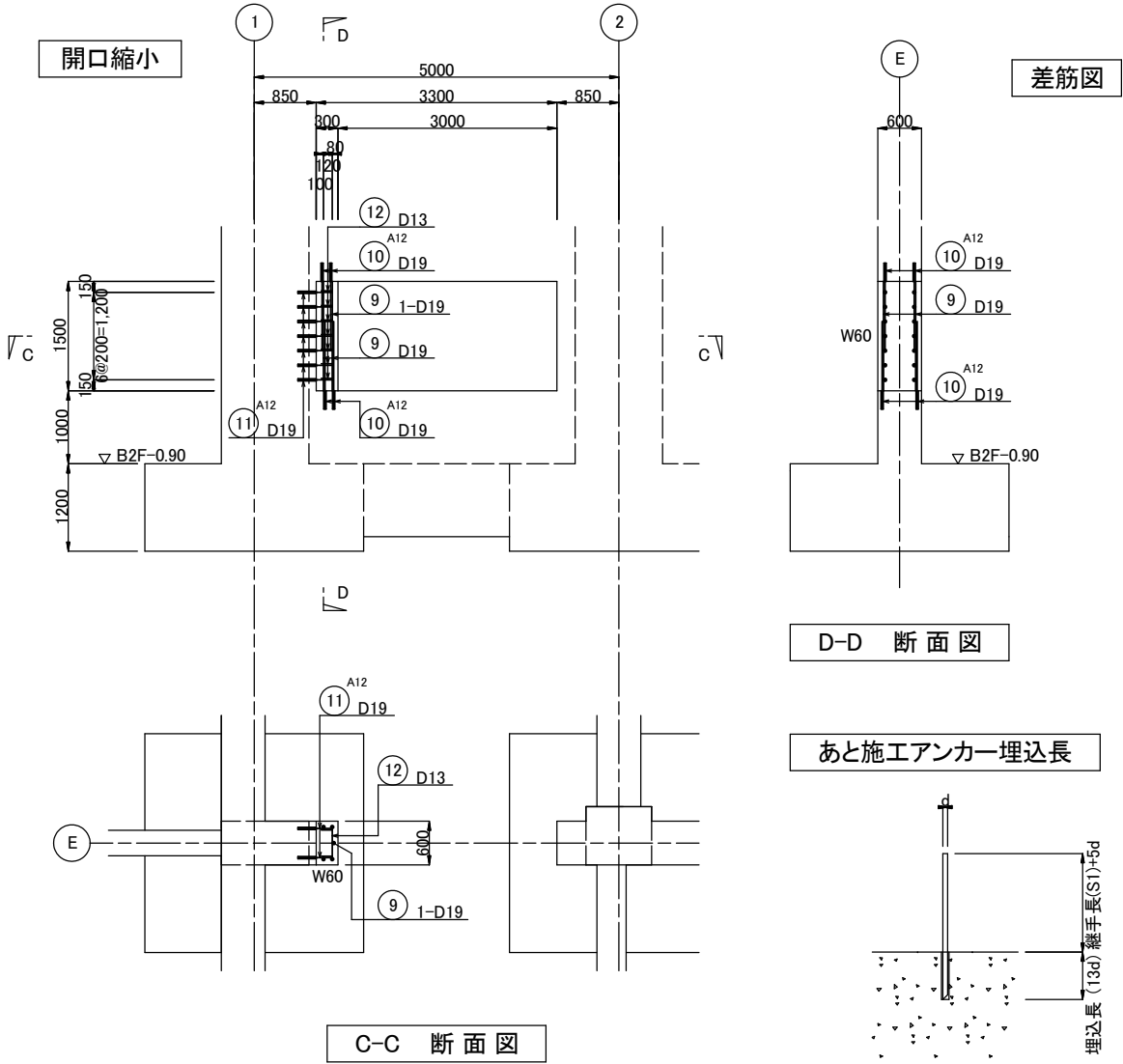
ポンプ棟地下開口縮小詳細図

伏図 A1 S=1:100  
A3 S=1:200



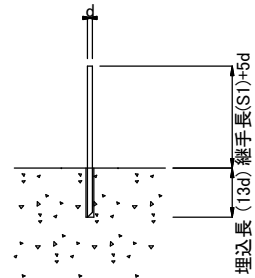
B2階 伏図

開口縮小詳細図 A1 S=1:50  
A3 S=1:100



C-C 断面図

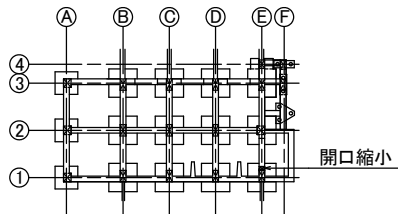
あと施工アンカー埋込長



| 径   | 埋込長 |
|-----|-----|
| D16 | 210 |
| D19 | 250 |

有効埋込長 12d

キープラン



- ・ 特記事項なき限り、両面鉄筋を示す。
- ・ 鉄筋番号  $\textcircled{n}^{A12}$  はあと施工アンカー(有効埋込長 12d)を示す。
- ・ 鉄筋番号  $\textcircled{9}$  から  $\textcircled{12}$  以外は欠番扱いとする。
- ・ 鉄筋探査機により、鉄筋位置を確認すること。
- ・ 改修部の寸法は参考とし、現場測量後決定すること。
- ・ 打ち継ぎ面は目荒しを行うこと。





|                 |                   |     |   |
|-----------------|-------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-3               | 縮 尺 | - |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事   |     |   |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）（3） | 番 号 |   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内       |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月           |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                   |     |   |

3 土木工事

3. 1 1 大梁筋の継手及び定着

3. 1 1. 1 一般事項

(1) 継ぎ手長さ、定着長さ及び余長は、3. 1 1. 1図から3. 1 1. 10図による。

(2) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁の主筋が同数のときは柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、3. 5. 2図のように柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 1 1. 1図による。

(3) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

下端筋：原則として曲げ上げる。

上端筋：曲げ下ろす

梁主筋ののみ込み長さは、柱せいの3/4倍以上かつ20d以上を確保する。(※1)

梁主筋の柱内定着は、3. 5. 2図による。

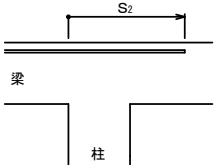
(4) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は図面による。図面になければ1：4とする。

(5)  印は、継ぎ手及び余長を示す。

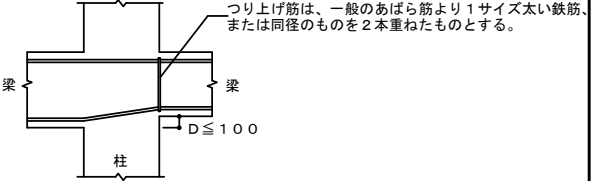
(6) 破線は柱内定着の場合を示す。

(7) 3. 2異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋にはフックをつける。

(8) 段違い梁は3. 1 1. 2図による。



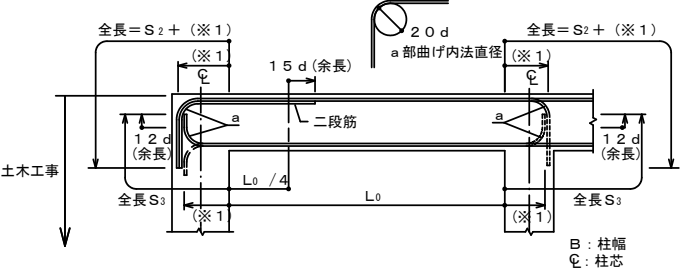
3. 1 1. 1図 梁主筋を梁内定着



3. 1 1. 2図 段違い梁

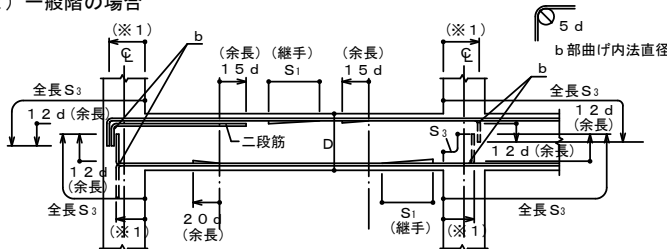
3. 1 1. 2 ハンチのない場合

(1) 最上階の場合

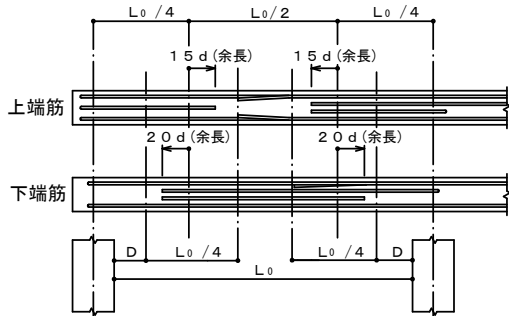


3. 1 1. 3図 大梁の重ね継手、定着及び余長（最上階）

(2) 一般階の場合



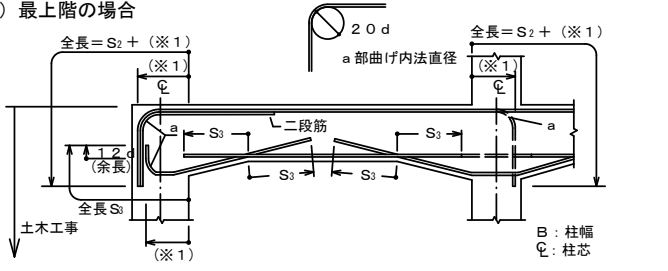
3. 1 1. 4図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その1）



3. 1 1. 5図 大梁の重ね継手、定着及び余長（一般階その2）

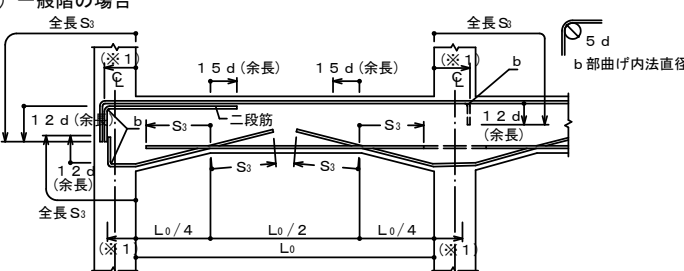
3. 1 1. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



3. 1 1. 6図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

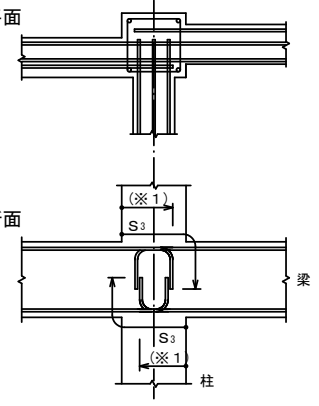
(2) 一般階の場合



3. 1 1. 7図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

3. 1 1. 4 水平段差のある場合

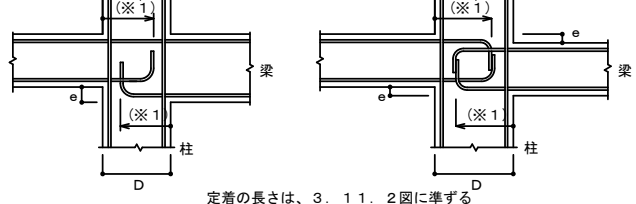
(1) 水平段差のある場合



3. 1 1. 8図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

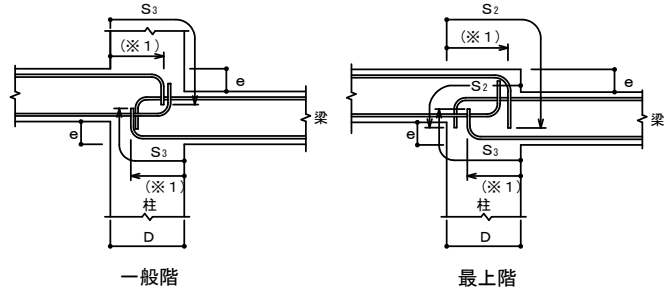
3. 1 1. 5 鉛直段差（e）のある場合

(1) e/D ≤ 1/6の場合



3. 1 1. 9図 鉛直段差梁（その1）

(2) e/D > 1/6の場合



3. 1 1. 10図 鉛直段差梁（その2）

3. 1 2 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

3. 1 2. 1 一般事項

(1) 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。

(2) 壁梁の場合、腹筋の継手長さはS<sub>1</sub>、定着長さをS<sub>3</sub>とする。

(3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。

(4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D13-1000mmピッチ程度とする。

(5) 破線は柱内定着の場合を示す。

3. 1 2. 2 あばら筋組立の形及びフックの位置

(1) 形は、3. 1 2. 1図（イ）を標準とする。

ただし、（イ）によることが出来ない場合は、下記の方法によることが出来る。

a. 床版が片側に付く場合は、（ロ）又は（ハ）

b. 床版が両側に付く場合は、（ロ）～（ニ）

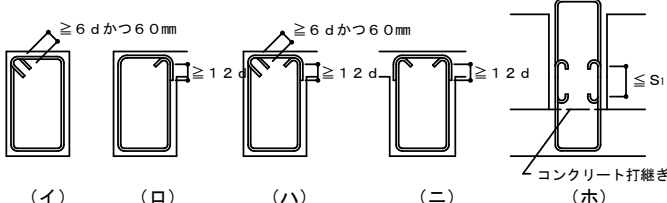
(2) フックの位置

a. （イ）の場合は交互とする。

b. （ロ）の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側、床版が両側に付く場合は交互

c. （ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げる。

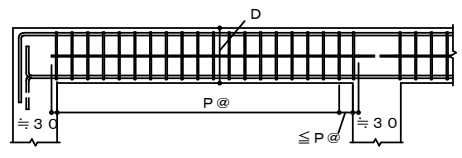
d. （ホ）は梁の上下にスラブが付く場合で、かつ梁せいが1. 5m以上の場合に適用することが出来る。（基礎梁）



3. 1 2. 1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

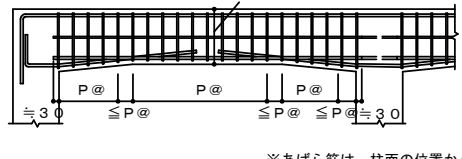
3. 1 2. 3 あばら筋の割付け

(1) 間隔が一樣でハンチのない場合



3. 1 2. 2図 あばら筋の割付け（その1）

(2) 間隔が一樣でハンチのある場合

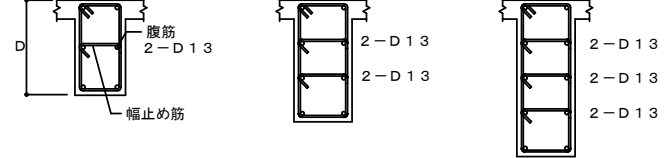


3. 1 2. 3図 あばら筋の割付け（その2）

3. 1 2. 4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



3. 1 2. 4図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

腹筋及び幅止め筋は、図面による。

AWSCJ（第5版）-104-005

|                 |                   |     |   |
|-----------------|-------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-4               | 縮 尺 | - |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事   |     |   |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）（4） | 番 号 |   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内       |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月           |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                   |     |   |

3 土木工事

3. 1 3 基礎梁及び底版の継手及び定着

3. 1 3. 1 一般事項

(1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、3. 1 1. 1 図に準ずる。

(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、3. 1 1. 1 (3) による。

(3) 柱幅<梁幅の場合の定着は、3. 1 3. 3 図による。

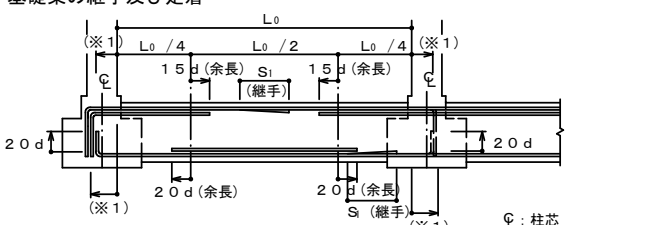
(4)  印は、継ぎ手及び余長を示す。

(5) 破線は柱内定着の場合を示す。

(6) 図内(※1)は、3. 1 1. 1 による。

3. 1 3. 2 基礎梁の場合

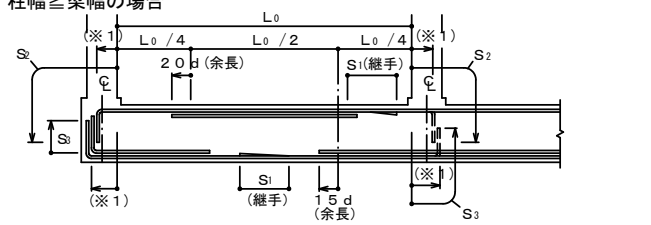
(1) 基礎梁の継手及び定着



3. 1 3. 1 図 主筋の継手、定着及び余長(その1)

3. 1 3. 3 連続基礎及びべた基礎の場合

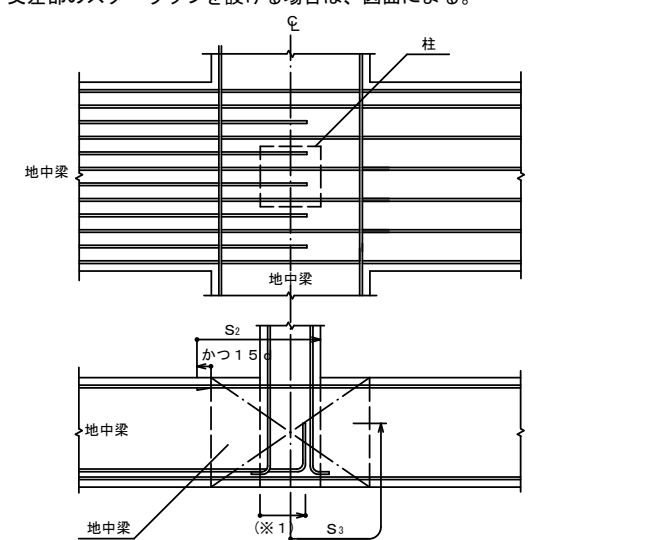
(1) 柱幅≧梁幅の場合



3. 1 3. 2 図 主筋の継手、定着及び余長(その2)

(2) 柱幅<梁幅の場合

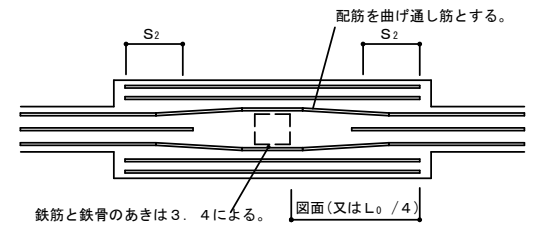
(a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



3. 1 3. 3 図 主筋の継手、定着及び余長(その3)

3. 1 3. 4 梁形を設けない場合の基礎底板

(1) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



3. 1 3. 4 図 主筋の継手、定着及び余長(その4)

3. 1 4 小梁及び片持梁の配筋要領

3. 1 4. 1 一般事項

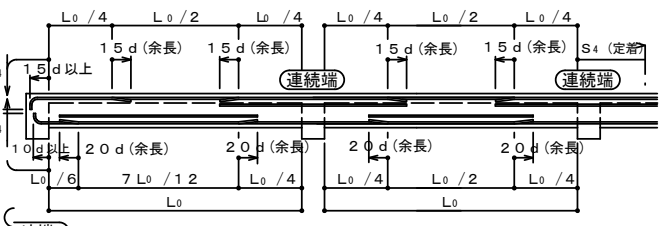
(1) 図面にはない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。

(2)  印は、余長位置を示す。

3. 1 4. 2 小 梁

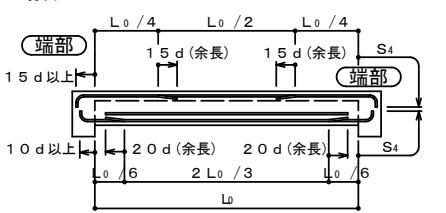
梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長が取れない場合、斜めにしてもよい。

(1) 連続小梁の場合



3. 1 4. 1 図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(2) 単独小梁の場合



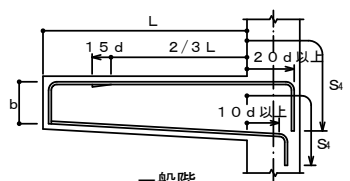
3. 1 4. 2 図 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

3. 1 4. 3 片持梁筋の定着

(1) 先端に小梁のない場合

a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。

b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



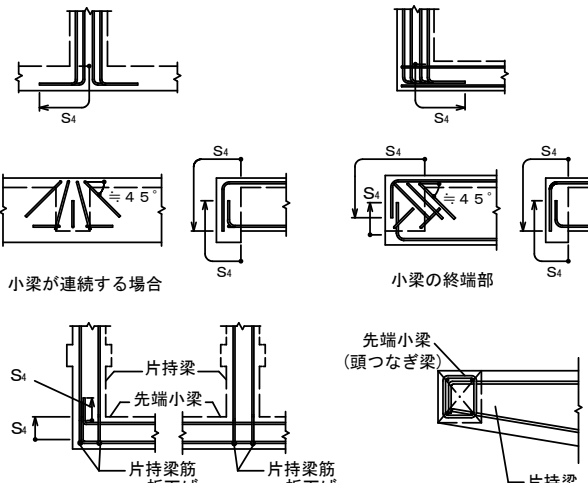
3. 1 4. 3 図 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁がない場合)

(2) 先端に小梁がある場合

a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。

b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。

c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。



3. 1 4. 4 図 片持梁主筋の定着

3. 1 5 壁の配筋要領

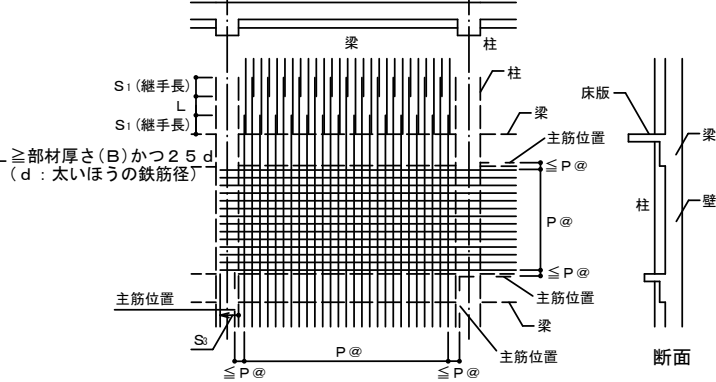
3. 1 5. 1 一般事項

(1) 壁配筋の継手長さを $S_1$ 、定着の長さは、 $S_3$ とする。

(2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さを $S_1$ 、定着長さを $S_2$ とする。

(3) 幅止め筋は、縦、横ともD13-@1000mmを標準とする。

(4) 一般部壁筋は、3. 1 5. 1 図によることとし、隣接する壁の鉄筋と重ね継手を設ける場合は、3. 6 項に従うものとする。



3. 1 5. 1 図 壁の配筋

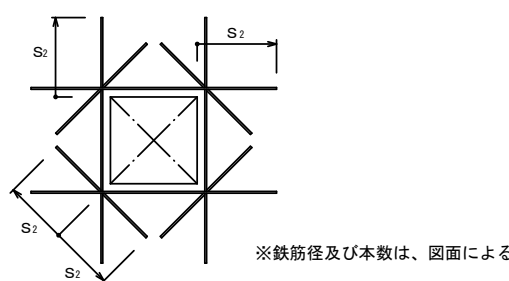
3. 1 5. 2 耐震壁の開口

(1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。

(2) やむを得ず開口をあける場合は、構造上安全であることを構造計算によって確認すること。

3. 1 5. 3 壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、3. 1 5. 2 図を標準とする。



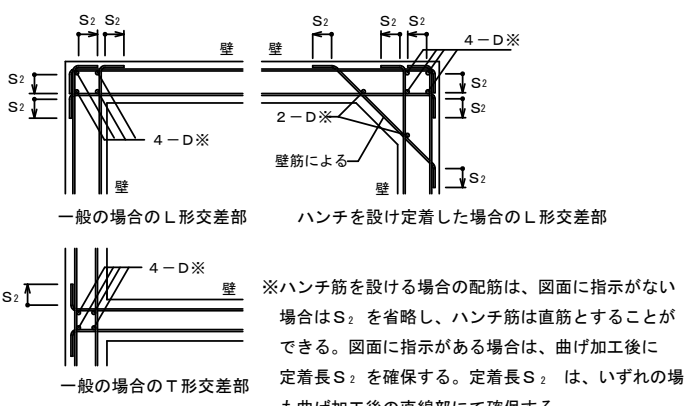
3. 1 5. 2 図 壁開口部の補強要領

(2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

3. 1 5. 4 壁の交差部及び端部

(1) 壁と壁の交差部は3. 1 5. 3 図による。

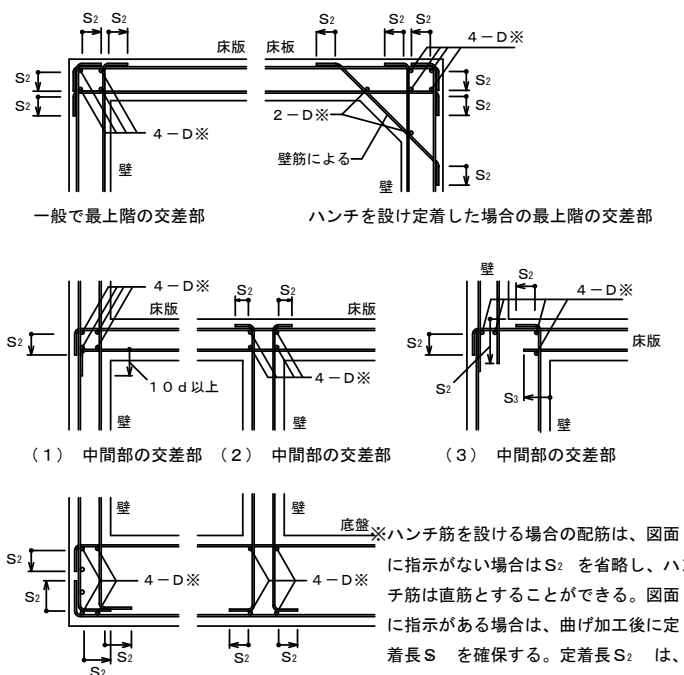
a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。



3. 1 5. 3 図 壁と壁の交差部及び端部の配筋

(2) 壁と床版の交差部は3. 1 5. 4 図による。

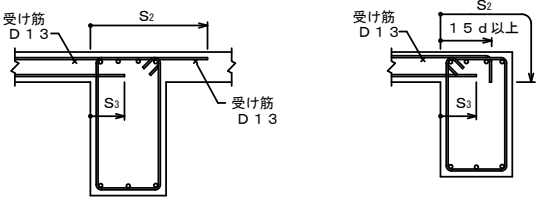
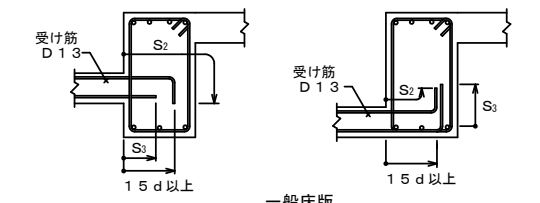
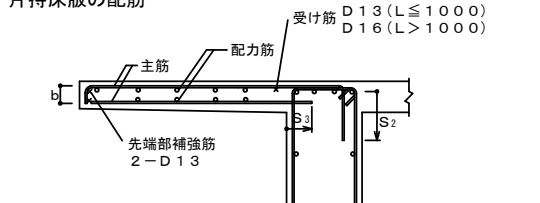
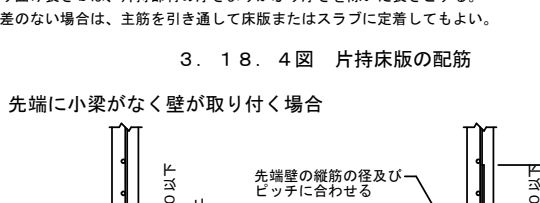
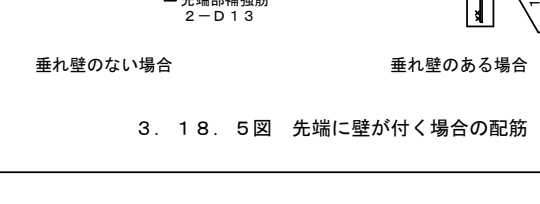
a. 交差部補強筋径D※はD16以上、かつ壁配力筋と同径とする。

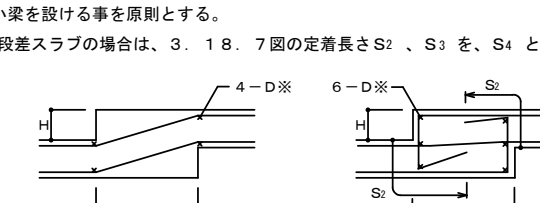
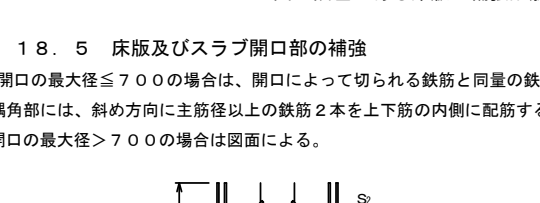
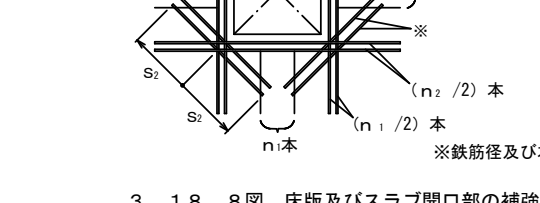
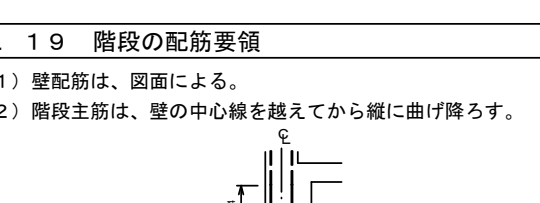


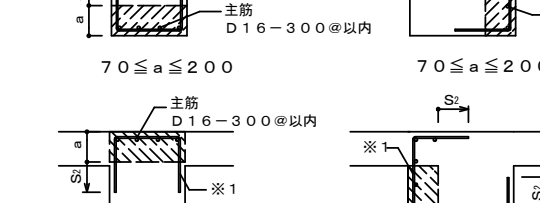
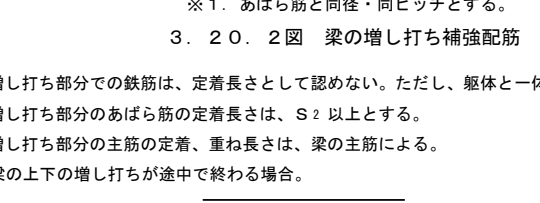
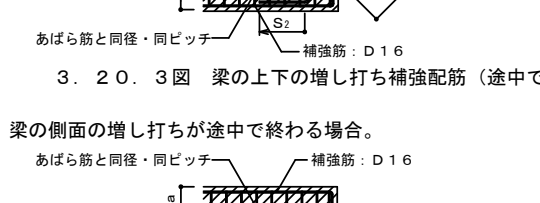
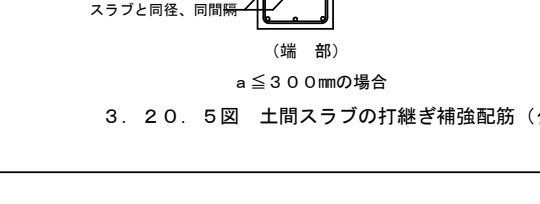
3. 1 5. 4 図 壁と床の交差部及び端部の配筋

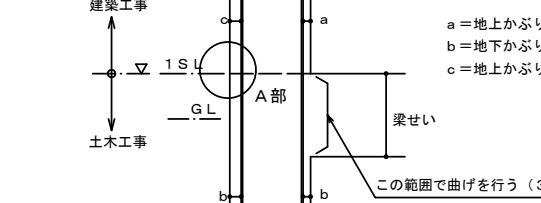
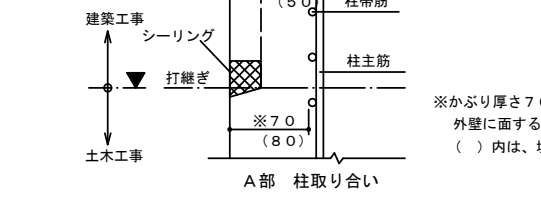
※3. 1 5. 4 図は、柱梁構造の場合である。地下階が壁式構造の場合は、構造細目共通図（土木構造物）（2）の「6. 1. 4 壁と床版・底板の交差部」を参照のこと。

|                 |                 |     |    |
|-----------------|-----------------|-----|----|
| 図面番号            | S-5             | 縮 尺 | -  |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |     |    |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）  | (5) | 番号 |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |     |    |
| 設計年月            | 2026年7月         |     |    |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |     |    |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 土木工事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3. 1 8 床の配筋要領                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3. 1 8. 1 一般事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| (1) 鉄筋の継手長さは、S <sub>1</sub> とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (2) ラーメン構造の床版の定着長さ及び受け筋は、3. 1 8. 1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、3. 1 8. 2 図、3. 1 8. 3 図により梁内に定着する。<br>なお、スラブ筋の場合は、3. 1 8. 1 図～3. 1 8. 3 図の定着長さS <sub>2</sub> 、S <sub>3</sub> を、S <sub>4</sub> と読み替える。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。<br>図面になければ3. 2 0. 5 図による。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <div><div></div><div>一般部</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 1 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その1）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 2 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その2）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 3 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その3）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 4 図 片持床版の配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 6 図 片持床版出隅部の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 7 図 段差のある床版の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 8 図 床版及びスラブ開口部の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 9 図 階段の配筋要領</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 10 図 片持スラブ形階段配筋の定着</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 11 図 片持スラブ形階段配筋の定着</div></div> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 1 8. 3 出隅部の配筋方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、3. 1 8. 6 図による。特記にない場合は、D13@100ダブル程度とする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅はb <sub>1</sub> /2とする)による。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| (3) 片持スラブの場合は、3. 1 8. 6 図の定着長さS <sub>2</sub> 、S <sub>3</sub> を、S <sub>4</sub> と読み替える。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <div><div></div><div>一般部</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 1 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その1）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 2 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その2）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 3 図 床版筋の定着長さ及び受け筋（その3）</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 4 図 片持床版の配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 6 図 片持床版出隅部の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 7 図 段差のある床版の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 8 図 床版及びスラブ開口部の補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 9 図 階段の配筋要領</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 10 図 片持スラブ形階段配筋の定着</div></div> <div><div></div><div>3. 1 8. 11 図 片持スラブ形階段配筋の定着</div></div> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 2 0 柱及び梁の増し打ち要領                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3. 2 0. 1 柱                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| (1) 増し打ちコンクリートの補強は、3. 2 0. 1 図による。<br>ただし、a<70の場合は補強は行わない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <div><div></div><div>一般部</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 1 図 柱の増し打ち補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 2 図 梁の増し打ち補強配筋</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 3 図 梁の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 4 図 梁の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 5 図 土間スラブの打継ぎ補強配筋（ダブル）</div></div> <div><div></div><div>3. 2 0. 6 図 土間スラブの打継ぎ補強配筋（ダブル）</div></div> |

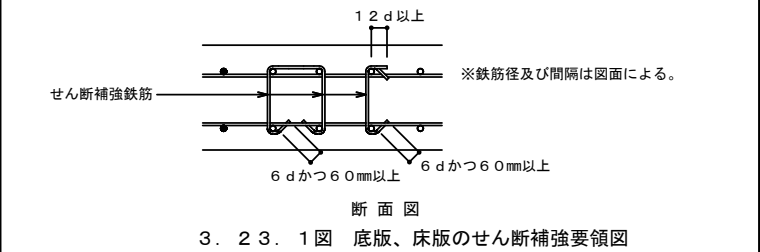
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3. 2 1 土木部分と建築部分の取り合い                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3. 2 1. 1 壁縦筋の取り合い                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| (1) 差し筋の仕様は建築工事仕様とする。（径は図面による）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (2) L <sub>1</sub> 及びL <sub>2</sub> は4. 5. 1 表による。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <div><div></div><div>一般部</div></div> <div><div></div><div>3. 2 1. 1 図 壁縦筋の取り合い差し筋</div></div> <div><div></div><div>3. 2 1. 2 図 柱主筋の取り合い差し筋</div></div> <div><div></div><div>3. 2 1. 3 図 柱主筋かぶり厚の取り合い</div></div> |

|                 |                   |     |   |
|-----------------|-------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-6               | 縮 尺 | - |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事   |     |   |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）(6) | 番 号 |   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内       |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月           |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                   |     |   |

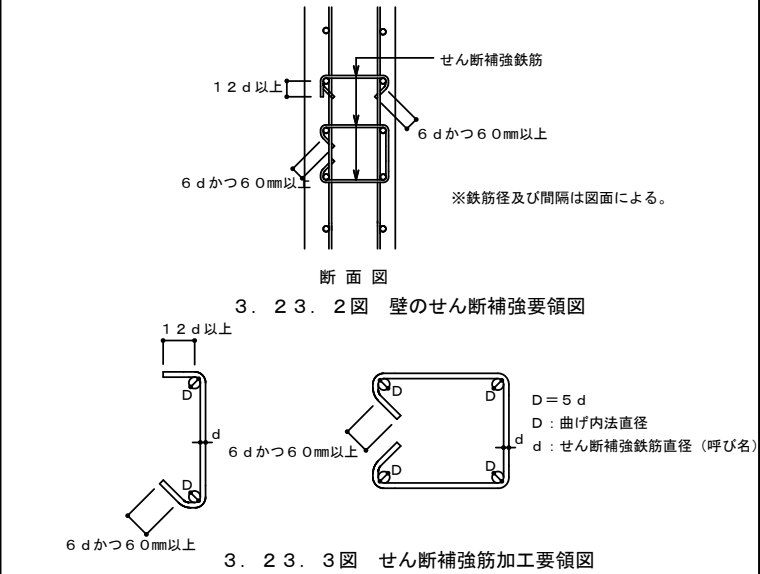
3 土木工事

3. 2 3 せん断補強鉄筋

3. 2 3. 1 底板、床版  
(1) 底板、床版のせん断補強要領は3. 2 3. 1図及び3. 2 3. 3図による。

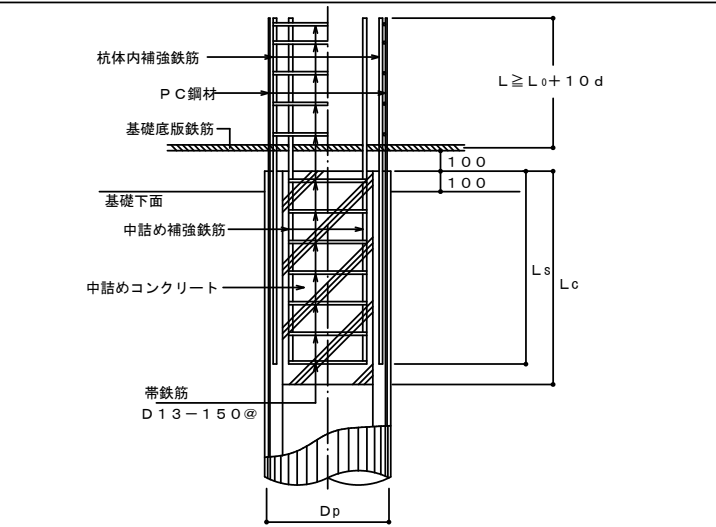


3. 2 3. 2 壁  
(1) 壁のせん断補強要領は3. 2 3. 2図及び3. 2 3. 3図による。



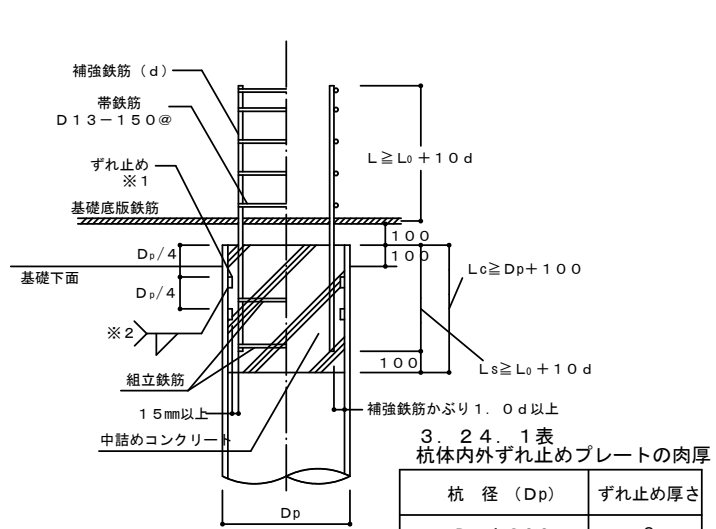
3. 2 4 杭基礎の補強

3. 2 4. 1 一般事項  
(1) 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底板コンクリートの設計基準強度を30N/mm<sup>2</sup>以上とする。  
(2) 鉄筋種別、径・本数は、図面による。  
(3) 杭基礎の補強鉄筋の定着長Lは、0主筋の材質がSD345およびSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。  
(4) 杭頭補強鉄筋が底板厚より長くなる場合は、3. 2 4. 6図による。  
(5) 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



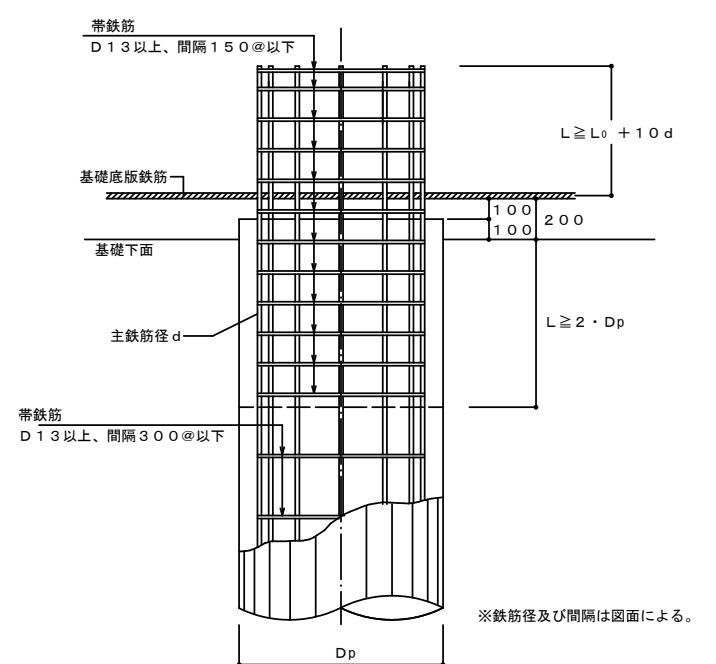
| 杭頭処理形態     | Type B |                                                             |
|------------|--------|-------------------------------------------------------------|
| カットオフする場合  | 鉄筋     | $L_s \geq 50\phi + L_0 + 10d$                               |
|            | コンクリート | $L_c \geq 2.5D_p + 100$ 、かつ $50\phi + L_0 + 10d +$ (かぶり100) |
| カットオフしない場合 | 鉄筋     | $L_s \geq L_0 + 10d$                                        |
|            | コンクリート | $L_c \geq 2.5D_p + 100$ 、かつ $L_0 + 10d +$ (かぶり100)          |

注1.  $\phi$ は、PC鋼材径とする。



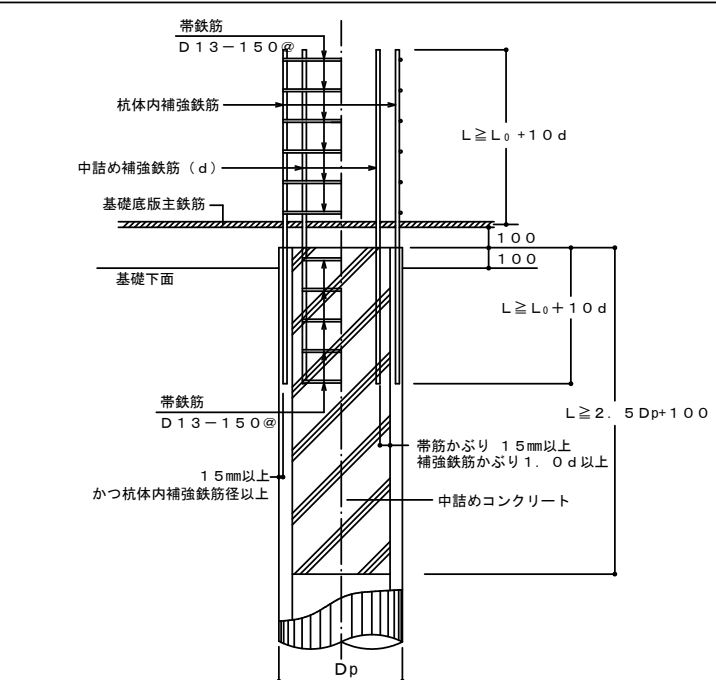
※1：ずれ止めの大きさは、3. 2 4. 1表による。  
※2：全周現場すみ肉溶接

※材質はSS400

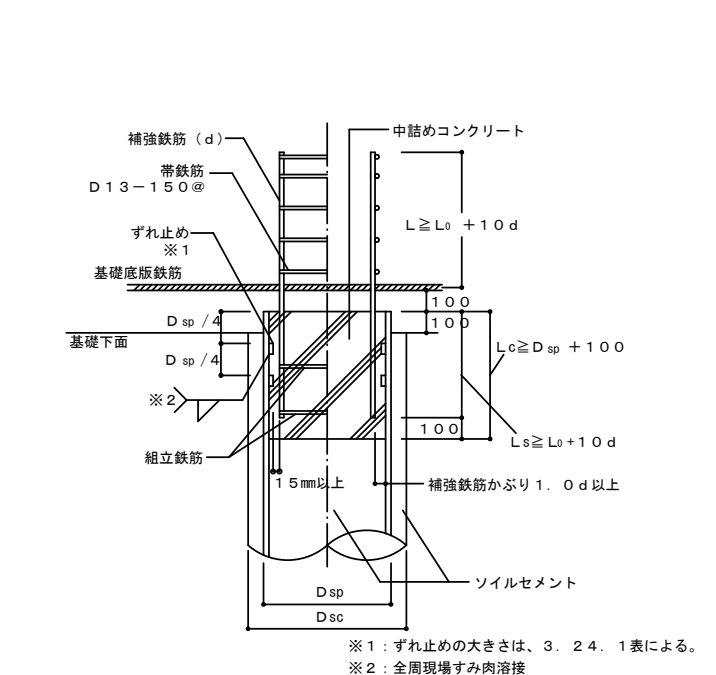


※鉄筋径及び間隔は図面による。

3. 2 4. 3図 場所打ち杭の杭頭補強



3. 2 4. 5図 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



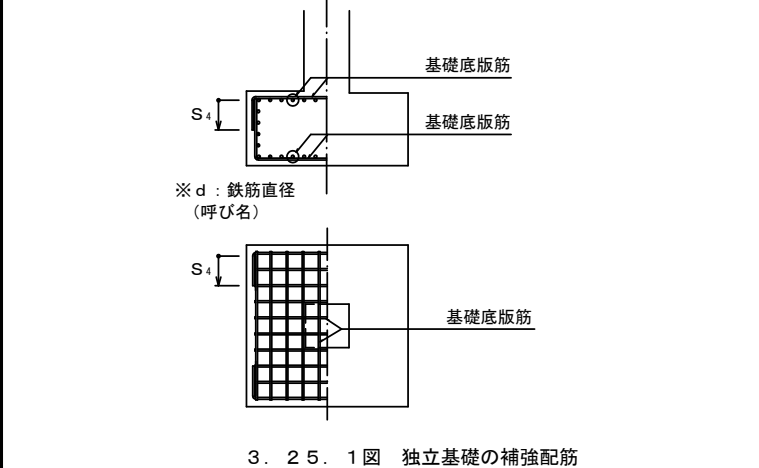
3. 2 4. 6図 杭頭補強筋が底板厚より長くなる場合の杭頭補強

| 鉄筋種別  | 補強鉄筋の曲げ内法直径 D |
|-------|---------------|
| SD345 | 5. 0 d        |
| SD390 | 6. 0 d        |
| SD490 | 7. 0 d        |

3. 2 4. 6図 杭頭補強筋が底板厚より長くなる場合の杭頭補強

3. 2 5 独立基礎の補強

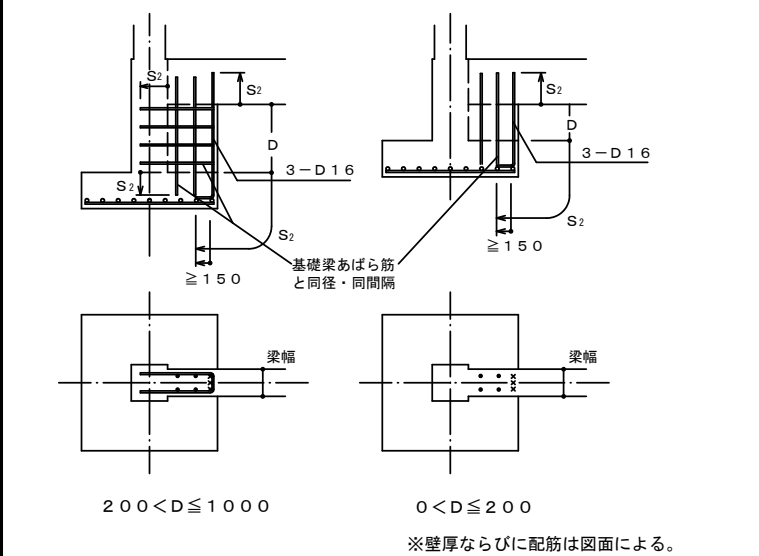
3. 2 5. 1 フーチングの補強  
(1) 補強方法は図面による。



3. 2 5. 1図 独立基礎の補強配筋

(2) 基礎底板筋の配筋は、図面による。

3. 2 5. 2 基礎接合部の補強

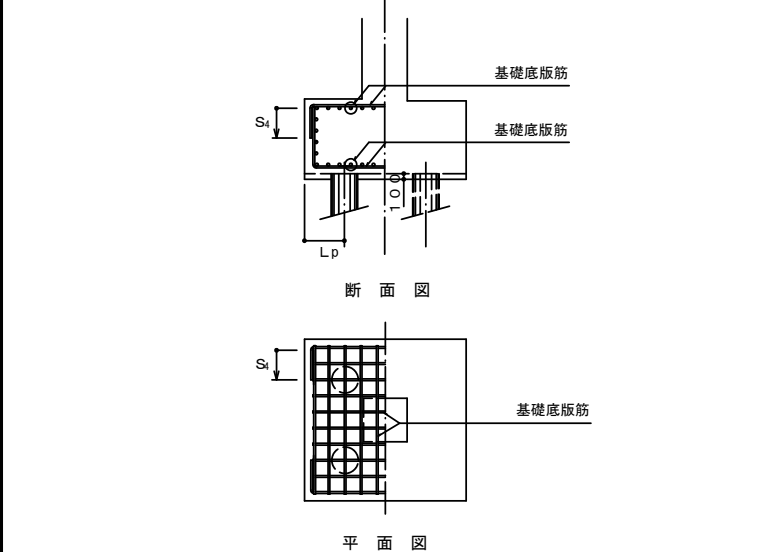


3. 2 5. 2図 基礎接合部の補強配筋

※壁厚ならびに配筋は図面による。

3. 2 5. 3 杭基礎の場合のフーチング配筋方法

(1) 杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、3. 2 5. 3図とする。  
(2) 杭頭処理の方法は、3. 2 4項に基づくものとする。  
(3) 杭芯とフーチング外端面との距離 (L<sub>p</sub>) は、場所打ち杭、打込み杭、埋め込み杭は1. 0D (Dは杭径) 以上とする。



3. 2 5. 3図 杭基礎の場合のフーチング配筋方法





|                 |                   |     |   |
|-----------------|-------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-9               | 縮 尺 | - |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事   |     |   |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）（9） | 番 号 |   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内       |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月           |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                   |     |   |

4 建築工事

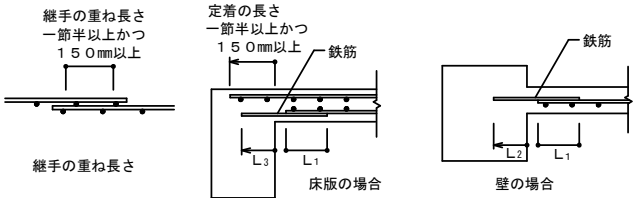
4. 5. 5 隣り合う継手の位置及び定着

(1) 隣り合う継手の位置は、4. 5. 4表により、a寸法を守ること。  
ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

4. 5. 4表 隣り合う継手の位置

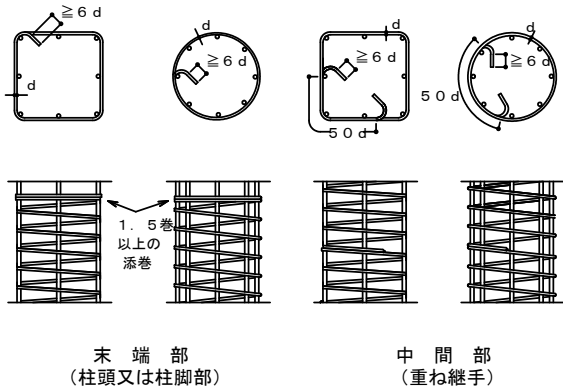
|              |          |  |
|--------------|----------|--|
| 重ね<br>継手     | フック有りの場合 |  |
|              | フックなしの場合 |  |
| 圧<br>接<br>継手 |          |  |

(2) 溶接金網の継手及び定着は、4. 5. 3図による。



4. 5. 3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3) スパイラル筋の継手及び定着



4. 5. 4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

4. 6 (欠番)

4. 7 柱筋の継手及び定着

4. 7. 1 隣り合う継手の位置及び定着

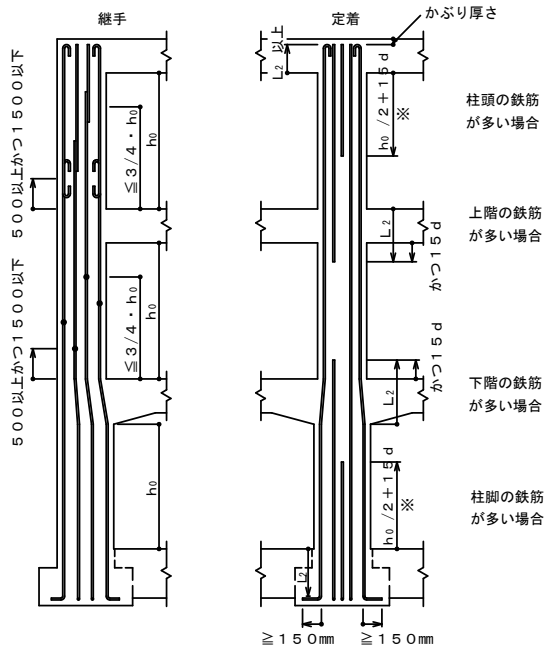
(1) 継手長さはL<sub>1</sub>とし、定着及び余長は、4. 7. 1図による。

(2) 柱頭定着長さL<sub>2</sub>が確保出来ない場合は、図面による。

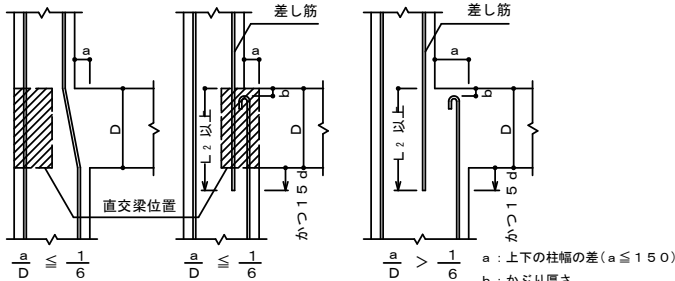
(3) 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、4. 7. 2図による。

(4) 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上、1500mm以下かつ3/4h (hは柱の内法高さ) 以下とする。

(5) ※鉄筋のカットオフの位置及び長さは図面による。



4. 7. 1図 柱主筋の継手、定着及び余長



4. 7. 2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

4. 8 帯筋

4. 8. 1 帯筋の形状

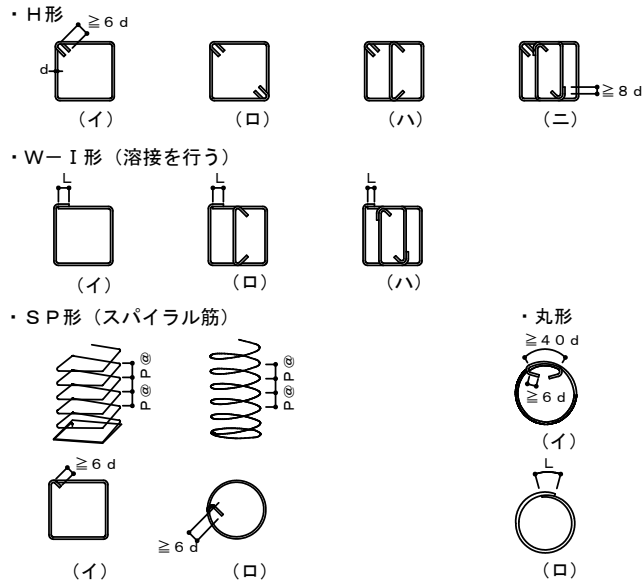
(1) 帯筋の形状は、4. 8. 1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。

(a) H形を標準とする。

(b) H形の135° 曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

(c) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。

(d) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は、1. 5巻以上の添巻きを行う。



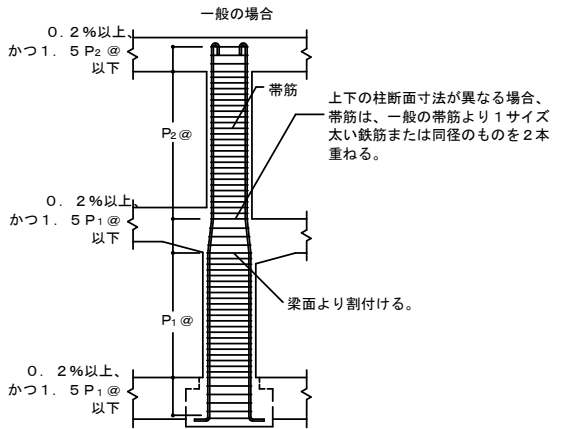
4. 8. 1図 帯筋組立の形

4. 9 帯筋の割付け

(1) フック及び継手の位置は交互とする。

(2) 帯筋の割付けは、4. 9. 1図による。ただし、図面にある場合は図面による。

(3) 柱、梁の交差部（パネルゾーン）の帯筋のせん断補強比は、0. 2%以上を確保し、補強筋間隔≤1. 5 Pとする。



4. 9. 1図 帯筋の割付け

柱、梁の交差部の配筋例（0. 2%確保）

| 柱幅 (mm) | パネルゾーン    |
|---------|-----------|
| ≤ 500   | D10 @ 125 |
| ≤ 600   | D10 @ 100 |
| ≤ 700   | D10 @ 100 |
| ≤ 800   | D13 @ 150 |
| ≤ 900   | D13 @ 125 |
| ≤ 1000  | D13 @ 125 |
| ≤ 1100  | D13 @ 100 |
| ≤ 1200  | D13 @ 100 |

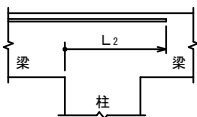
※1. 5 P<sub>1</sub>、1. 5 P<sub>2</sub> のピッチは150mm以下とする。

4. 10 大梁筋の継手及び定着

4. 10. 1 大梁（基礎梁以外の大梁に限る）主筋の継手、定着及び余長

(1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。  
ただし、やむ得ず梁内に定着する場合は、4. 10. 1図による。

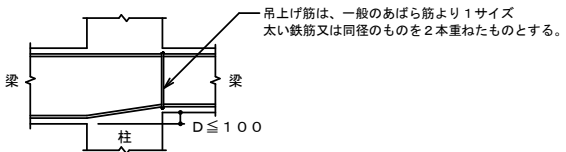


4. 10. 1図 梁主筋の梁内定着

b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。  
なお、定着の方法は、4. 5. 4による。

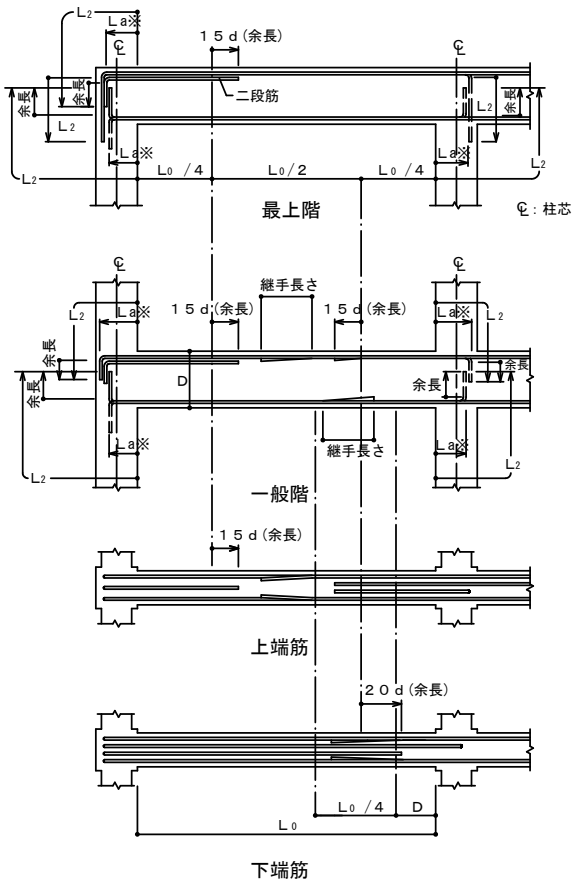
上端筋：曲げ下ろす。  
下端筋：原則として曲げ上げる。

c. 段違い梁は4. 10. 2図による。



4. 10. 2図 段違い梁

4. 10. 2 ハンチのない場合



(注) 1. 継手中心位置は次による。  
上端筋：中央L<sub>0</sub>/2以内  
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、L<sub>0</sub>/4を加えた範囲以内

2. 4. 2 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。

3. 印は、継手及び余長を示す。

4. 破線は、柱内定着の場合を示す。

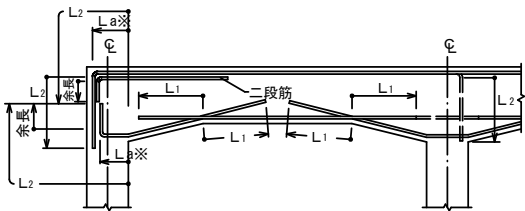
5. 梁筋カットオフ位置及び余長は図面による。

※ Laは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

4. 10. 3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



※ Laは、原則として、4. 5. 3表の数値かつ柱せいの3/4倍以上とする。

4. 10. 4図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）



|                 |                    |     |   |
|-----------------|--------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-11               | 縮 尺 | - |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事    |     |   |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）(11) | 番 号 |   |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内        |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月            |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                    |     |   |

4 建築工事

4. 1 3 壁の配筋要領

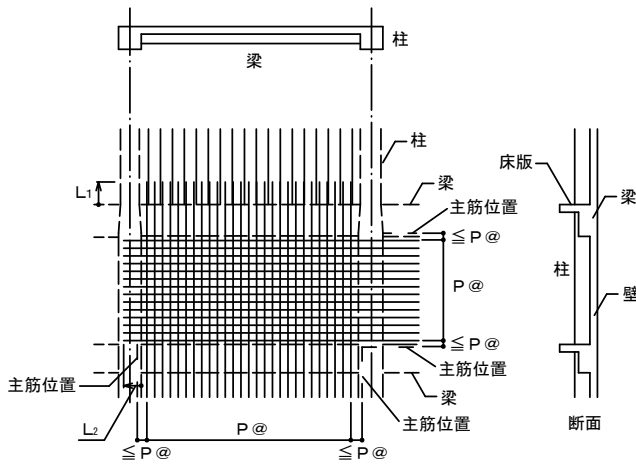
4. 1 3. 1 一般事項

(1) 一般壁配筋の重ね継手の長さは $L_1$ とし、耐震壁の鉄筋の重ね継手の長さは $40d$ とする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。また、定着の長さは、 $L_2$ とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。

(2) 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。

(3) 打増し部分に、壁及びスラブ等が取りつく場合は、壁及びスラブ筋等の定着長さには打増し部分は含まない。

(4) 土圧及び水圧などを受ける壁の配筋は、図面による。



(注) 図中のP@は、図面の壁筋の間隔を示す

4. 1 3. 1 図 壁の配筋

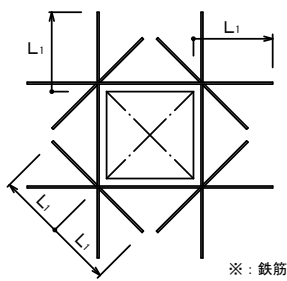
4. 1 3. 2 耐震壁の開口

(1) 耐震壁等の開口は、図面以外は設けてはならない。

(2) やむを得ず開口をあける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

4. 1 3. 3 壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、4. 1 3. 3 図を標準とする。



※：鉄筋径及び本数は、図面による

4. 1 3. 3 図 壁開口部の補強の定着長さ

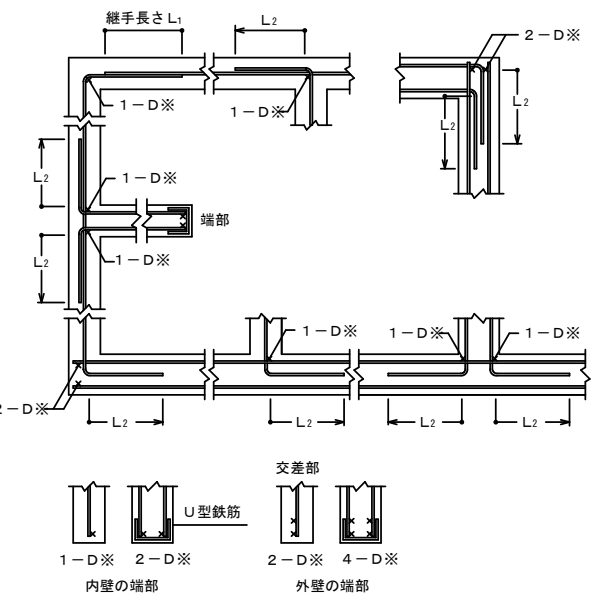
(2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

4. 1 3. 4 壁の交差部及び端部

壁の交差部及び端部の交差部は、4. 1 3. 4 図による。

a. 交差部補強筋D※はD13以上、かつ壁主筋と同径とする。

b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。



4. 1 3. 4 図 壁の交差部及び端部の配筋

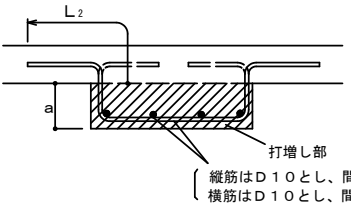
※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」（日本建築学会）に基づき図面による。

4. 1 4 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、4. 1 4. 1 図による。

打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。

200mmを超える場合は、特記による。



4. 1 4. 1 図 壁の打増し補強配筋

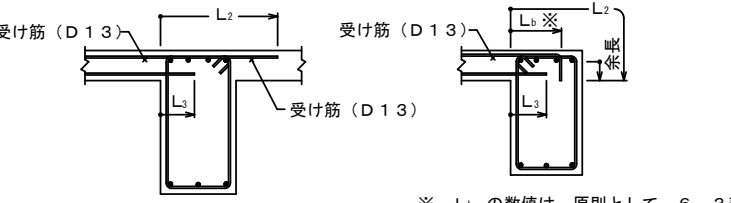
4. 1 5 床の配筋要領

4. 1 5. 1 一般事項

(1) 鉄筋の継手長さは、 $L_1$ とする。

(2) 定着長さ及び受け筋は、4. 1 5. 1 図による。ただし、引き通すことができない場合は、4. 1 5. 2 図、4. 1 5. 3 図により梁内に定着する。

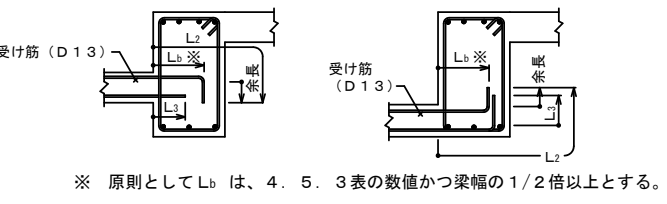
(3) 基礎梁と床版を一体打ちとしないうで、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。



4. 1 5. 1 図 スラブ筋の定着長さ

※  $L_b$  の数値は、原則として、6. 3 表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4. 1 5. 2 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その2）

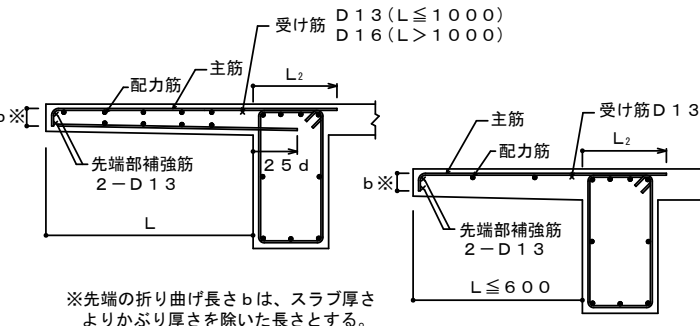


※ 原則として $L_b$ は、4. 5. 3 表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

4. 1 5. 3 図 スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その3）

4. 1 5. 2 片持スラブ

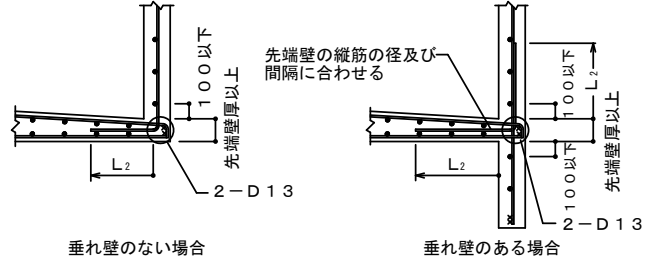
(1) 片持スラブの配筋



※先端の折り曲げ長さbは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

4. 1 5. 4 図 片持スラブの配筋

(2) 先端に小梁がなく壁が取り付く場合

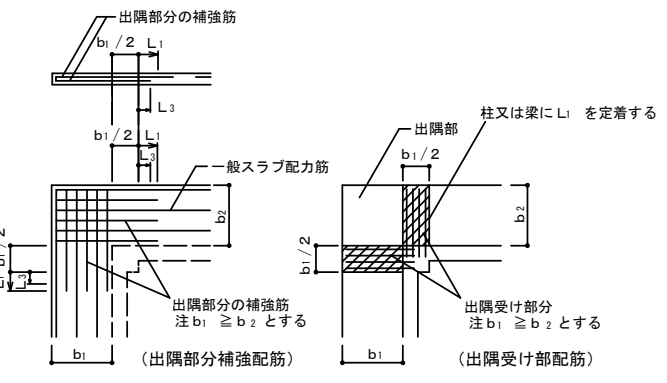


4. 1 5. 5 図 先端に壁が付く場合の配筋

4. 1 5. 3 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

(1) 出隅部の補強筋は図面により、配筋方法は、4. 1 5. 6 図による。

(2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面による。

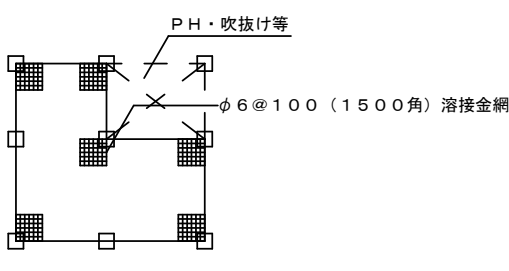


4. 1 5. 6 図 片持スラブ出隅部の補強配筋

4. 1 5. 4 地上部最上階の屋根床版

(1) 出隅及び入隅部分には、4. 1 5. 7 図により、補強筋（溶接金網）を上端筋の下側に配筋する。

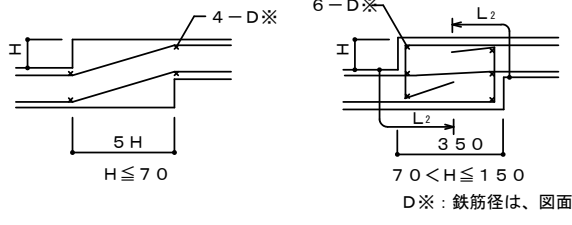
(2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



4. 1 5. 7 図 出隅及び入隅部分の補強配筋

4. 1 5. 5 段差床版の補強

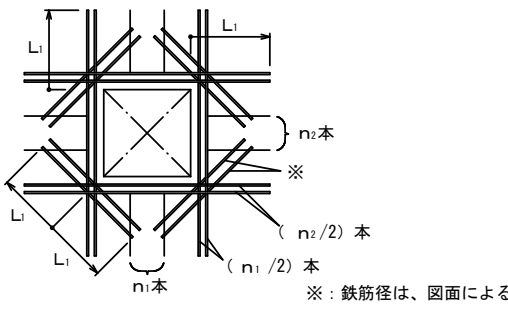
(1) 同一床版に段差がある場合、4. 1 5. 8 図の補強を行う。ただし、 $H > 150$ の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



4. 1 5. 8 図 段差のある床版の補強配筋

4. 1 5. 6 床版開口部の補強

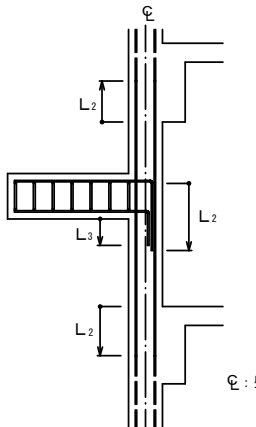
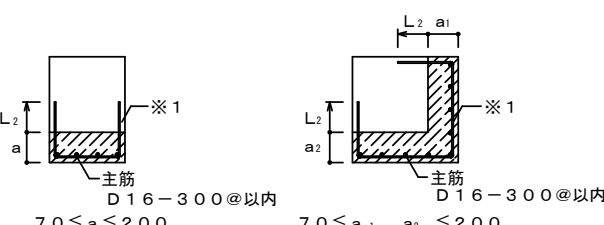
(1) 開口の最大径 $\leq 700$ の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(4. 1 5. 9 図) 開口の最大径 $> 700$ の場合は図面による。

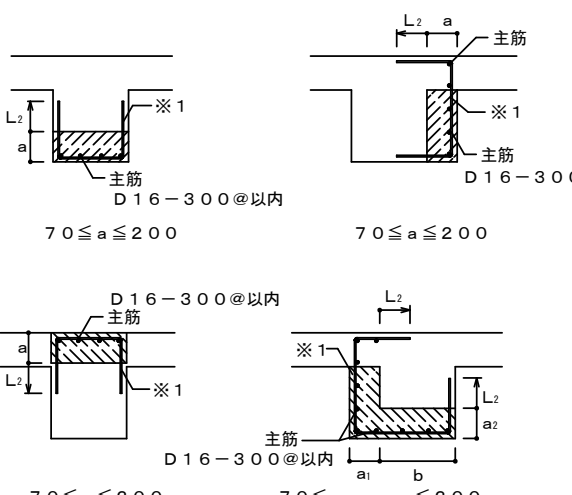


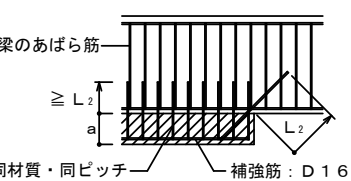
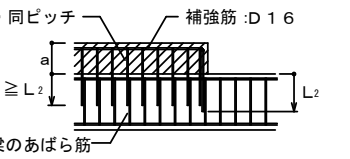
4. 1 5. 9 図 床版開口部の補強配筋

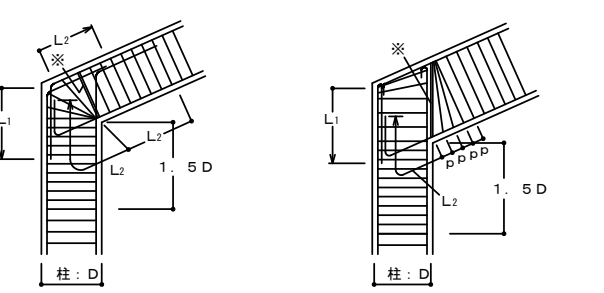
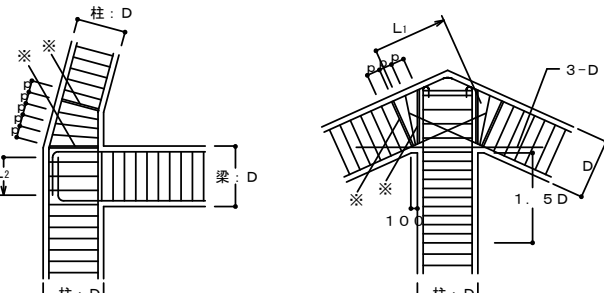
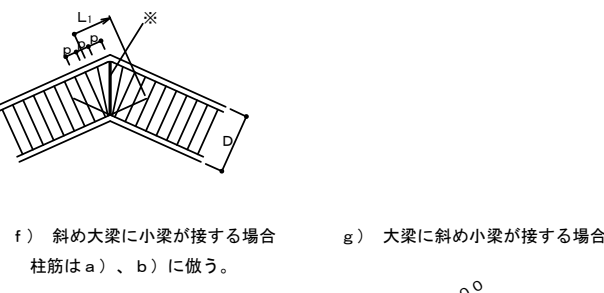
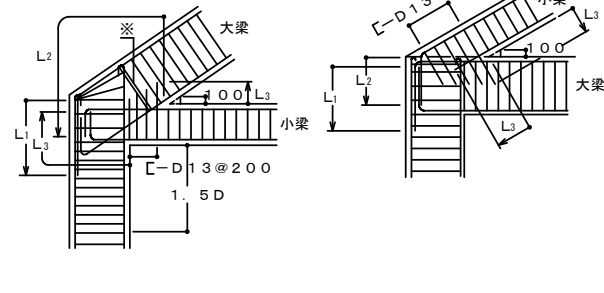
(2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

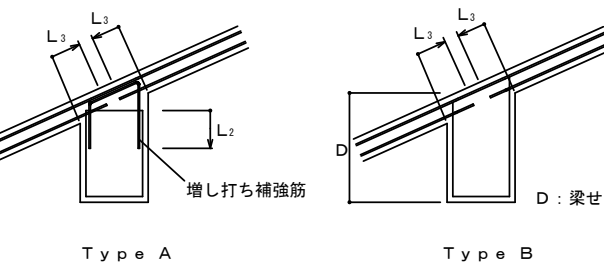
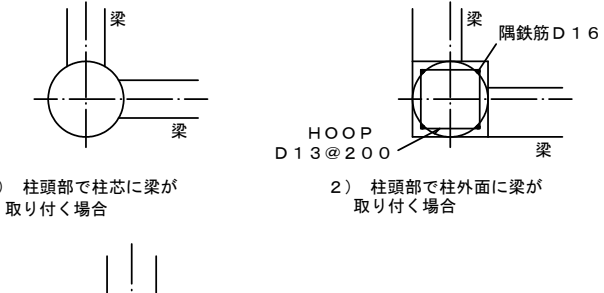
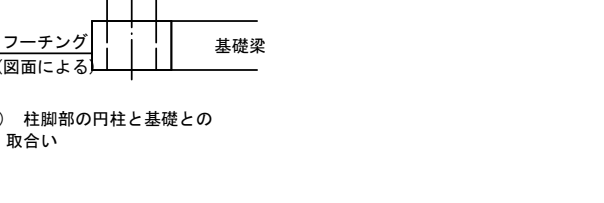
|                 |                    |     |    |  |
|-----------------|--------------------|-----|----|--|
| 図面番号            | S-12               | 縮 尺 | -  |  |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事    |     |    |  |
| 種 別             | 構造細目共通図（複合構造物）（12） |     | 番号 |  |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内        |     |    |  |
| 設計年月            | 2026年7月            |     |    |  |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                    |     |    |  |

|                                                                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 建築工事                                                                                                               |
| 4. 17 階段の配筋要領                                                                                                        |
| (1) 壁配筋は、図面による。<br>(2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。                                                                     |
|                                     |
| 4. 17. 1図 片持スラブ形階段配筋の定着                                                                                              |
| 4. 18 柱及び梁の増し打ち要領                                                                                                    |
| 4. 18. 1 柱                                                                                                           |
| (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 18. 1図による。<br>ただし、 $a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。               |
|                                   |
| 4. 18. 1図 柱の増し打ち補強配筋                                                                                                 |
| (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。<br>(3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、 $L2$ 以上とする。<br>(4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。 |

|                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 18. 2 梁                                                                                                                                        |
| (1) 増し打ちコンクリートの補強は、4. 18. 2図による。ただし、<br>$a < 70\text{mm}$ の場合、補強は行わない。 $200\text{mm} < a$ の場合は、図面による。                                             |
|                                                                 |
| 4. 18. 2図 梁の増し打ち補強配筋                                                                                                                              |
| (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合を除く。<br>(3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、 $L2$ 以上とする。<br>(4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。<br>(5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合 |

|                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|
|    |
| 4. 18. 3図 梁の上下の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）                                                     |
| (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合                                                                |
|  |
| 4. 18. 4図 梁の側面の増し打ち補強配筋（途中で終わる場合）                                                     |

|                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 19 勾配屋根の取り合い                                                                                                                                           |
| 4. 19. 1 斜め柱・斜め梁の取り合い                                                                                                                                     |
| (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。<br>(2) $1.5D$ の範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし $\text{@}100$ 以下とする。<br>(3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔 $p$ 以下とする。 |
| a) 柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一      b) 柱幅と斜材幅が異なる                                                                                                                     |
|                                                                        |
| c) 柱脚で斜材となる      d) 柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。                                                                                                                  |
|                                                                       |
| e) 梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。                                                                                                                                    |
|                                                                      |
| f) 斜め大梁に小梁が接する場合      g) 大梁に斜め小梁が接する場合<br>柱筋はa)、b)に倣う。                                                                                                    |
|                                                                      |
| 4. 19. 1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋                                                                                                                                  |

|                                                                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 19. 2 梁と床版の取り合い                                                                   |
| 増し打ち補強要領は、4. 19. 2図による。                                                              |
|   |
| 4. 19. 2図 梁と床版の取り合い配筋                                                                |
| 4. 19. 3 円柱の取り合い                                                                     |
|   |
| 3) 柱脚部の円柱と基礎との<br>取合い                                                                |
|  |
| 4. 19. 3図 円柱の取り合い配筋                                                                  |

|                 |                                 |     |   |
|-----------------|---------------------------------|-----|---|
| 図面番号            | S-13                            | 縮尺  | — |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事                 |     |   |
| 種 別             | あと施工無機系モルタルカプセル<br>定着型せん断補強工仕様書 | 番 号 | ／ |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内                     |     |   |
| 設計年月            | 2026年7月                         |     |   |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                                 |     |   |

原図サイズA1

特記仕様書

### 1. 使用材料

- (1) 無機系モルタルカプセル
- 1) カプセルは、水浸漬によって内包するモルタルが所定の水セメント比となるものとする。
- 2) モルタルの強度は、所定の圧縮強度となるものとする。
- 3) モルタルは、所要の充てん性、微膨張性を有するもので、補強筋と躯体コンクリートを一体にできるものとする。

## モルタルカプセルの仕様

モルタルが紙チューブに内包されたカプセル形状

カプセルの文字の色

- ・ 青色：RMA（標準）
- ・ 緑色：RMA-AF（アルミナオフ）
- ・ 橙色：RMA-LT（夏期・長尺対応）

| 適用鉄筋 | 品種と品番       |                   |                     | 外径×長さ<br>(mm) | 容量 (g?) | 削孔径<br>(mm) |
|------|-------------|-------------------|---------------------|---------------|---------|-------------|
|      | RMA<br>(標準) | RMA-AF<br>(7ℓミオフ) | RMA-LT<br>(夏期・長尺対応) |               |         |             |
| D13  | RMA-1418    | RMA-1418AF        | RMA-1418LT          | 14×180        | 28      | 16          |
| D16  | RMA-1824    | RMA-1824AF        | RMA-1824LT          | 18×240        | 61      | 22          |
| D19  | RMA-2430    | RMA-2430AF        | RMA-2430LT          | 24×300        | 136     | 28          |
| D22  | RMA-2636    | RMA-2636AF        | RMA-2636LT          | 26×360        | 191     | 32          |
| D25  | RMA-3038    | RMA-3038AF        | RMA-3038LT          | 30×380        | 269     | 36          |
| D29  | RMA-3440    | -                 | -                   | 34×400        | 363     | 40          |
| D32  | RMA-3638    | -                 | -                   | 36×380        | 387     | 42          |

主な材料

カプセル：不織布（セルロース繊維系）、40g/m<sup>2</sup>以下  
モルタル：早強ポルトランドセメント、特殊混和材、砂

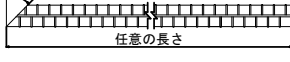
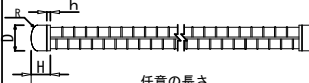
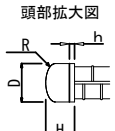
| モルタルの特性 |            |              |           |                 | 圧縮強度 (N/mm2)<br>20℃水中養生にて |      |      |           |
|---------|------------|--------------|-----------|-----------------|---------------------------|------|------|-----------|
| 品 種     | 水セメント比 (%) | ブリーディング率 (%) | 膨張収縮率 (%) | 施工可能時間 ※1 (分)   | 3h                        | 1日   | 7日   | 28日       |
|         |            |              |           |                 | RMA                       | 40±3 | 0.00 | 0.00～1.00 |
| RMA-AF  | 38±3       | 0.00         | 0.00～1.00 | 2～20<br>(気温20℃) | -                         | 10以上 | 30以上 | 50以上      |
| RMA-LT  | 38±3       | 0.00         | 0.00～1.00 | 2～15<br>(気温35℃) | 20以上                      | 30以上 | 45以上 | 60以上      |

※1：水中浸漬開始からの時間

- せん断補強鉄筋に使用する材料は、JIS G 3112 に適合した異形棒鋼で、鉄筋の種類は SD345 (ただし、軽道ねじの場合はSD390) 呼び名は D13, D16, D19, D22, D25, D29, D32 とする。
- せん断補強鉄筋は、先端が45°に斜めカットされた先端斜めカットせん断補強鉄筋、および、両端に突起上の頭が付いた両端頭付きせん断補強鉄筋がある。
- 背面側からせん断補強鉄筋の先端までの距離は、背面側の主鉄筋のかぶりと同じとする。ただし、背面側の主鉄筋のかぶりが50mm以上の場合に適用する。
- 差込側からせん断補強鉄筋の先端までの距離は、差込側の主鉄筋のかぶりと同じとする。
- モルタルは、所要の充てん性、微膨張性を有するもので、補強筋と躯体コンクリートを一体にできるものとする。

## せん断補強鉄筋の仕様

※：JIS G 3112に適合

| 品種             | 形状寸法                                                                                |      | 品番     | 鉄筋の呼び名 | 鉄筋の種類                                  |            |        |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|--------|----------------------------------------|------------|--------|
| 先端斜めカットせん断補強鉄筋 |  |      | D13    | D13    | SD345<br><br>転造ねじ継手使用の場合<br>SD390<br>※ |            |        |
|                |                                                                                     |      | D16    | D16    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | D19    | D19    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | D22    | D22    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | D25    | D25    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | D29    | D29    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | D32    | D32    |                                        |            |        |
| 両端頭付きせん断補強鉄筋   |  |      | vD13   | D13    |                                        | SD390<br>※ |        |
|                |                                                                                     |      | vD16   | D16    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | vD19   | D19    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | vD22   | D22    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | vD25   | D25    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | vD29   | D29    |                                        |            |        |
|                |                                                                                     |      | vD32   | D32    |                                        |            |        |
|                |  | 品番   | D (mm) | R (mm) | H (mm)                                 |            | h (mm) |
|                |                                                                                     | vD13 | 14.6   | 8      | 11                                     |            | 7      |
|                |                                                                                     | vD16 | 19.6   | 10     | 11                                     |            | 3.5    |
|                |                                                                                     | vD19 | 24.6   | 12     | 14                                     | 4          |        |
|                |                                                                                     | vD22 | 28.6   | 14.5   | 15                                     | 5          |        |
|                |                                                                                     | vD25 | 33     | 17     | 17                                     | 5          |        |
| vD29           | 36                                                                                  | 18.5 | 19     | 6      |                                        |            |        |
| vD32           | 39                                                                                  | 19.8 | 27     | 12     |                                        |            |        |

## 「RMA」あと施工型せん断補強用無機系モルタルカプセルおよびせん断補強鉄筋の施工要領

## 2. 品質管理

- (1) 無機系モルタルカプセル 無機系モルタルカプセルの品質管理基準

| 管理項目   | 管理内容            | 規格値           | 管理頻度 |
|--------|-----------------|---------------|------|
| モルタル品質 | 凝結試験            | 施工可能時間以上      | 混和毎  |
|        | 圧縮試験            | 圧縮強度規格値以上     | ロット毎 |
|        | ブリーディング率        | ブリーディングしないこと。 | ロット毎 |
|        | 膨張収縮率           | 材齢7日で収縮しないこと。 | ロット毎 |
|        | アルミナ量(RMA-AFのみ) | 5.5%以内        | ロット毎 |
| カプセル形状 | 容器形状(シール幅)      | -0, +1mm以内    | 抜き取り |
|        | 製品長さ            | -0, +10mm以内   | 抜き取り |
|        | 重量              | -0, +10%以内    | 抜き取り |

\* 無機系モルタルカプセルの品質監理は工場にての試験及び監理とする。

- (2) せん断補強鉄筋      せん断補強鉄筋の品質管理基準      D：既設のせん断補強鉄筋の直径

| 種類    | 降伏点または<br>0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> ) | 引張強さ (N/mm <sup>2</sup> ) | 試験片                    | 伸び (%) | 全長 (mm)           |
|-------|---------------------------------------|---------------------------|------------------------|--------|-------------------|
| SD345 | 345～440                               | 490以上                     | 2号に準ずるもの<br>14A号に準ずるもの | 18以上   | 設計値-0<br>設計値+1/2D |

- (3) せん断補強鉄筋(転造ねじ継手用)

| 種類    | 降伏点または<br>0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> ) | 引張強さ (N/mm <sup>2</sup> ) | 試験片                    | 伸び (%) | 全長 (mm)           |
|-------|---------------------------------------|---------------------------|------------------------|--------|-------------------|
| SD390 | 390~510                               | 560以上                     | 2号に準ずるもの<br>14A号に準ずるもの | 16以上   | 設計値-0<br>設計値+1/2D |

※ 設計値：差込側の主鉄筋中心から背面側の主鉄筋中心まで(2配筋の場合は、外側主鉄筋中心)

- (4) 転造ねじ継手 転造ねじ継手の品質管理基準

| 種類      | 降伏点または<br>0.2%耐力 (N/mm <sup>2</sup> ) | 引張強さ (N/mm <sup>2</sup> ) | 試験片      | 伸び (%) | 全長 (mm)               |
|---------|---------------------------------------|---------------------------|----------|--------|-----------------------|
| SNCM447 | 930 以上                                | 1030 以上                   | 4号に準ずるもの | 14 以上  | 設計値-0<br>設計値+0.5~+1.0 |

### 3. 施工概要

- (1) 削孔工
  - 1) 削孔は、現場条件に応じて削岩機およびハンマードリル、コアドリルを使用する。
  - 2) 削孔に先立ち鉄筋探査機器によって、既設コンクリート構造物の構造鉄筋（差込側）と干渉しないように墨出しを行う。
  - 3) 削孔計画にあわせて、適切な仮設を行う。
  - 4) 背面側の主鉄筋が1段でその内面位置にせん断補強鉄筋の先端が高止った場合、あるいは背面側の主鉄筋が2段でせん断補強鉄筋の先端が有効高さよりも背面側で高止った場合は現状施工とする。それ以外については、有効係数について照査するかあるいは再削孔を行う。
  - 5) 削孔内の壁面に付着した切粉は、削岩機の場合は、圧搾空気により清掃を行い、ハンマードリルでの削孔の場合は、ブロア、ブラシにより清掃を行う。コアドリルでの削孔の場合は、削孔時の循環水により清掃行う。循環水が無色透明であることを目視確認する。
  - 6) 削孔時に生じる切粉は適切に処理し、吸塵装置等を用いることにより作業環境に悪影響を及ぼさないようにする。
  - 7) 削孔時に生じる振動や騒音などについては、必要に応じて防音シート等の養生材を使いながら周囲への影響について措置を行う。
- (2) 無機系モルタルカプセルの挿入
  - 1) モルタルカプセルは、水中に気泡の発生がなくなるまで（2～5分間）浸漬しなければならない。
  - 2) 浸漬後は、モルタルカプセルを速やかに孔内に挿入する。
  - 3) モルタルカプセルは、補強鉄筋の径に適切なサイズを使用する。
- (3) せん断補強鉄筋の打込み
  - 1) 補強鉄筋の打込みは、ハンマードリル、チップ、手ハンマーにより打ち込む。  
上向き施工の場合は、補強鉄筋の落下防止措置を施す。
  - 2) 打込み治具は、せん断補強鉄筋の打込みに十分なものを準備しなければならない。
  - 3) 所定のかぶりを確保したのち、余剰鉄筋についてはすべて取り除く。
- (4) 養生
  - 1) 補強鉄筋打込み完了後は、十分な養生を行う。
  - 2) 寒冷地での施工については、保温養生を行いモルタルの品質を確保する。

#### 4. 施工記錄

- (1) 出来形および品質管理記録

| 削孔の品質管理基準  |           |                                                     |      |
|------------|-----------|-----------------------------------------------------|------|
| 管理項目       | 管理内容      | 規格値                                                 | 管理頻度 |
| 削孔径        | コンベックスによる | 設計値±2mm                                             | 全数   |
| 削孔長        | コンベックスによる | 設計値±1/2D                                            |      |
| 余剰<br>モルタル | 目視による     | 余剰すること<br>(余剰確認後は、ウエス等による拭き取りを行い、コンクリート表面の面位置に合わせる) |      |

※ 設計値：削孔径はD13=16φ、D16=22φ、D19=28φ、D22=32φ、D25=36φ、D29=40φ、D32=42φ  
削孔長は差込側のコンクリート表面～背面側の主鉄筋中心(2段筋の場合は、外側主鉄筋中心)である。  
ただし、背面側の主鉄筋に干渉した場合は、削孔をすみやかに中止し削孔長の計測を行う。

- (2) せん断補強筋連結の品質管理

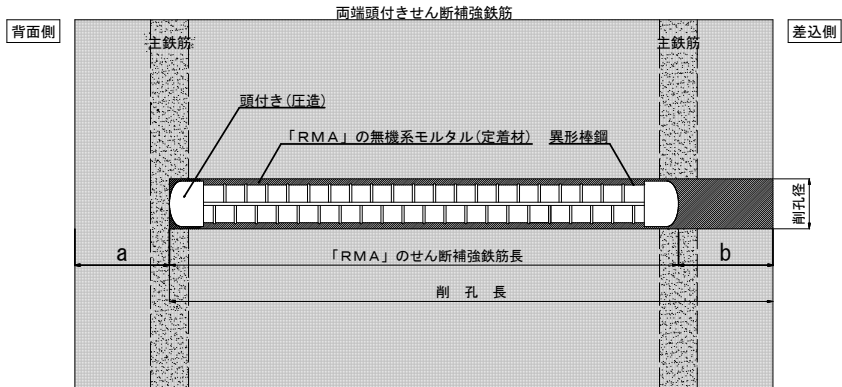
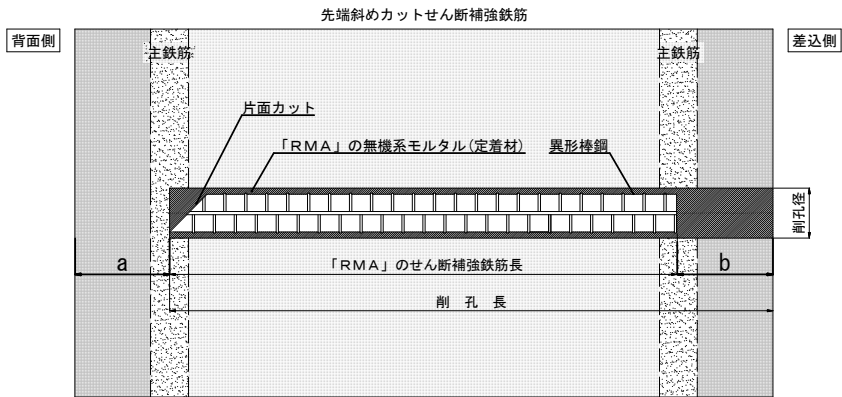
| 管理項目   | 管理内容  | 規格値                                 | 管理頻度 |
|--------|-------|-------------------------------------|------|
| 転造ねじ継手 | 目視による | せん断補強筋のねじ切り部が転造ねじ継手内に<br>全て納まっていること | 全数   |

- (3) 工事写真記録

| 項目     | 撮影時期        | 頻度         |
|--------|-------------|------------|
| 施工箇所全景 | 施工前、施工中、施工後 | 適宜         |
| 使用材料   | 各種材料入荷時     | 全数         |
| 施工状況   | 施工中         | 各工種につき1回以上 |
| 出来形管理  | 施工完了後       | 1回以上       |

5. その他  
設計図書に明記のない事項、又は疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

## 標準断面図



※注記

- 1) 背面側からせん断補強鉄筋の先端までの距離（図中の a）は、背面側の主鉄筋の中心と同じとする。ただし、RMA は、背面側の主鉄筋のかぶりがない場合に適用する。これは、施工上の押し抜けを防止する観点から 50mm 以上を確保する必要があるからである。
- 2) 差込側からせん断補強鉄筋の後端までの距離（図中の b）は、差込側の主鉄筋の中心と同じとする。

## 鉄筋連結用転造ねじ継手（ジョイントカプラー）

| <p>JC-D19</p> <p>D19用転造ネジ継手</p> <p>*材質：SNCM447</p>         | <p>JC-D25</p> <p>D25用転造ネジ継手</p> <p>*材質：SNCM447</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|--------------|-----------------|-------|-----|-----|-------------|--------------|-----|-----|----|------|-----|-------------|------|-----|----|
| <p>せん断補強鉄筋への取付位置</p>                                       | <table border="1"> <thead> <tr> <th>品番</th> <th>鉄筋の呼び名</th> <th>配置間隔<br/>Ly (mm)</th> <th>継手の材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D19</td> <td>D19</td> <td>60+50<br/>以上</td> <td rowspan="4">SNCM447<br/>※</td> </tr> <tr> <td>D25</td> <td>D25</td> <td>以上</td> </tr> <tr> <td>vD19</td> <td>D19</td> <td>40+50<br/>以上</td> </tr> <tr> <td>vD25</td> <td>D25</td> <td>以上</td> </tr> </tbody> </table> | 品番              | 鉄筋の呼び名       | 配置間隔<br>Ly (mm) | 継手の材質 | D19 | D19 | 60+50<br>以上 | SNCM447<br>※ | D25 | D25 | 以上 | vD19 | D19 | 40+50<br>以上 | vD25 | D25 | 以上 |
| 品番                                                         | 鉄筋の呼び名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 配置間隔<br>Ly (mm) | 継手の材質        |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| D19                                                        | D19                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 60+50<br>以上     | SNCM447<br>※ |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| D25                                                        | D25                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 以上              |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| vD19                                                       | D19                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 40+50<br>以上     |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| vD25                                                       | D25                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 以上              |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| <p>転造ねじ継手は、施工上必要最小本数とし、上記のように等間隔に配置する。</p>                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| <p>※ JIS G 4103に適合</p>                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| <p>※注記</p>                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| <p>1) 転造ネジ継手を用いて施工を行う場合、最低部材厚が一般部と異なるので、監理者と協議をおこなうこと。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |
| <p>2) 転造ネジ継手使用時、せん断補強筋の材質はSD390とする。</p>                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                 |              |                 |       |     |     |             |              |     |     |    |      |     |             |      |     |    |

※注記

- 1) 転造ネジ継手を用いて施工を行う場合、最低部材厚が一般部と異なるので、監理者と協議をおこなうこと。
- 2) 転造ネジ継手使用時、せん断補強筋の材質はSD390とする。

## 6. 一般事項

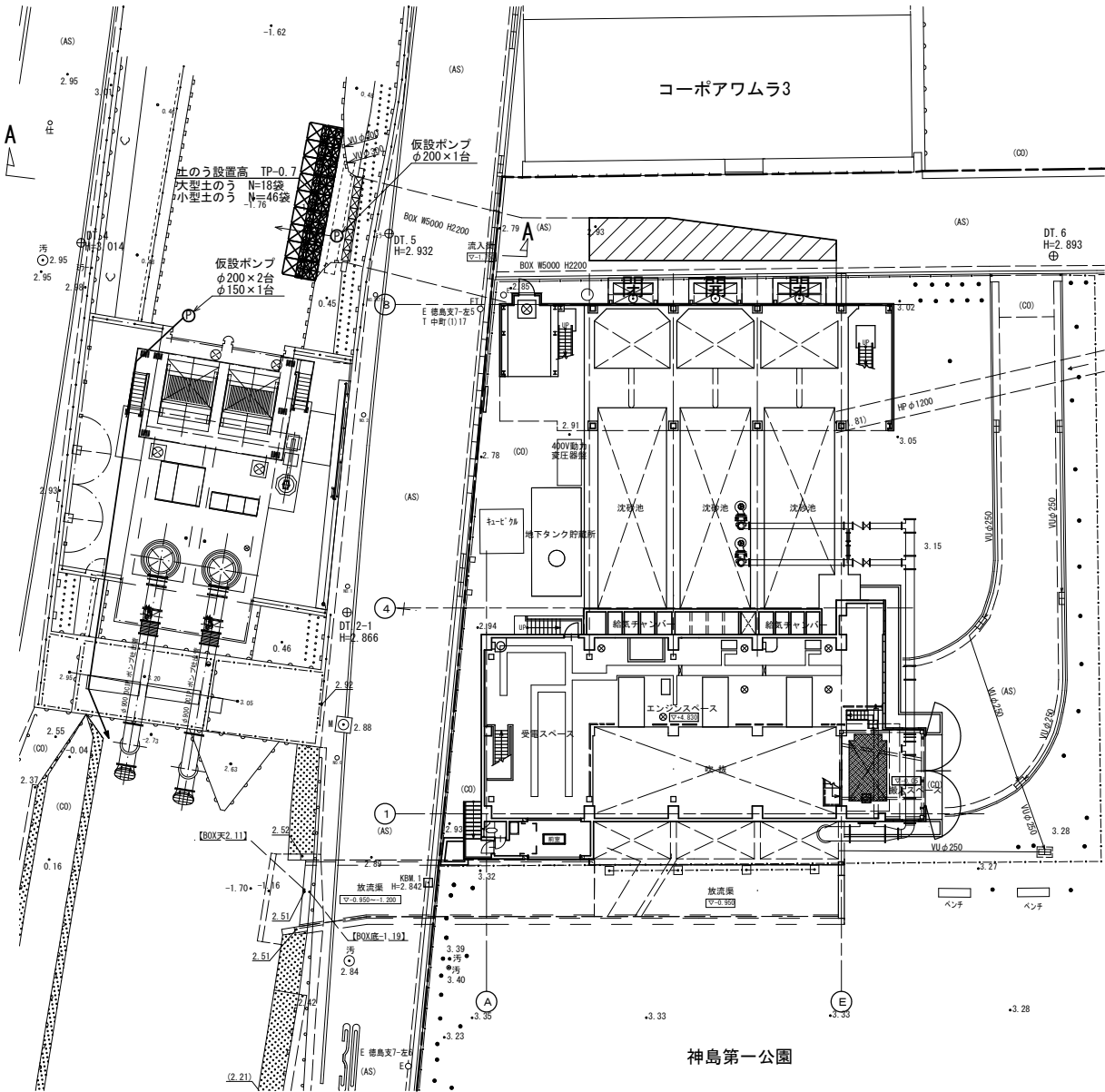
- (1) 施工方法
- 既設構造物の表面から削岩機、コアドリル、又はハンマードリルで削孔を行い、その孔内に水を浸漬した無機系モルタルカプセルを挿入し、せん断補強鉄筋を打ち込みモルタルで固定することにより、構造躯体と一体化し、部材のせん断耐力を向上させる。
- 挿入するせん断補強鉄筋は、先端斜めカットせん断補強鉄筋、あるいは両端頭付きせん断補強鉄筋とし、無機系モルタルカプセルが十分に破砕されるように、背面側の主鉄筋がぶりまで打ち込む。
- (2) 公的機関による証明
- (財)土木研究センター建設技術審査証明（建設審査証 1203 号）を取得している工法とする。

|                 |                 |    |    |
|-----------------|-----------------|----|----|
| 図面番号            | K-1             | 縮尺 | 図示 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |    |    |
| 種 別             | 仮設図             | 番号 | ／  |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |    |    |
| 設計年月            | 2026年7月         |    |    |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |    |    |

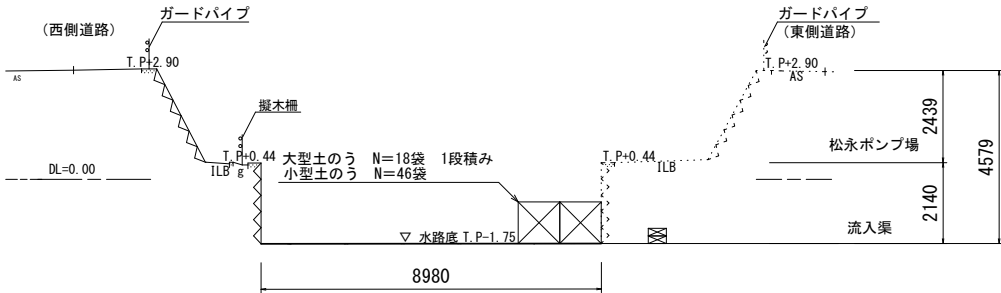
原図サイズA1

(参考) 仮設図

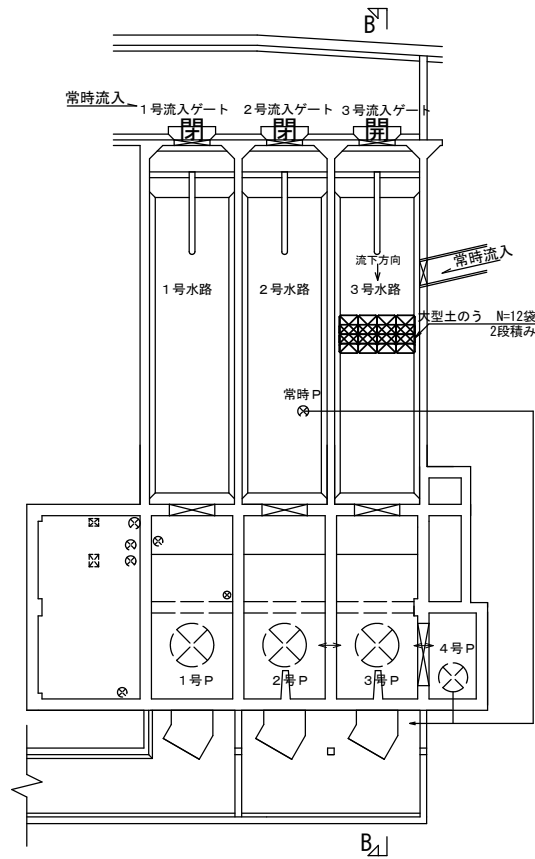
流入渠施工時 平面図 A1:1/200 A3:1/400



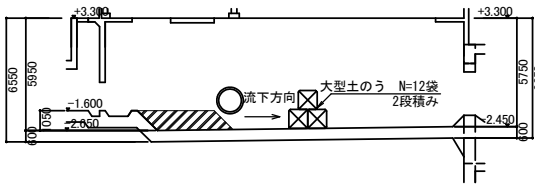
A-A断面図 A1:1/100 A3:1/200



開口縮小施工時 平面図 A1:1/200 A3:1/400



B-B断面図 A1:1/200 A3:1/400





[illegible]





[illegible]

[illegible]







|      |                 |        |   |
|------|-----------------|--------|---|
| 図面番号 | A-10            | 縮尺     | — |
| 工事名  | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |        |   |
| 種 別  | 耐震改修特記仕様書       | 番<br>号 | ／ |
| 工事箇所 | 福山市松永町五丁目地内     |        |   |
| 設計年月 | 2026月7月         |        |   |

|          |
|----------|
| 福山市上下水道局 |
| あと施工アンカー |

(1) 接着系アンカー

（ナット付）

（ナットなし）

L : コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ  
Le : アンカーの有効埋め込み長さ  
Ld : アンカー筋の全長  
Ln : 有効定着長さ  
Da : 既存コンクリート躯体への穿孔径  
da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

| アンカー関係共通事項       |                                                                                                      |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 接着系アンカーの有効埋め込み長さ | 一般部 : Le=7da+ふかし寸法※<br>開口補強筋 : Le=10da+ふかし寸法※<br>RCブレース部 : Le=12da+ふかし寸法※<br>※ ふかし寸法は補強詳細図による        |
| 接着系アンカーの有効定着長さ   | 一般部 : Ln=20da（ナット付）<br>Ln=30da（ナットなし）<br>開口補強筋 : Ln=L1+5da（＝補強筋との継手長さ＋クリアランス）<br>RCブレース部 : Ln=L1+5da |
| アンカー筋形状          | ナット付き異形棒鋼（開口補強筋用はナットなし）とし、ナットから ねじ山が2山以上でること。<br>また、先端形状は45° カットとする。                                 |

※L1=40da

| 施工確認試験荷重      |          |
|---------------|----------|
| アンカー筋呼び名 (da) | 荷 重 (kN) |
| D13           | 37.5     |
| D16           | 58.7     |
| D19           | 99.0     |
| D22           | 133.5    |
| D25           | —        |

(2) あと施工アンカーの位置と間隔

シングル配置の場合

ダブル配置の場合

千鳥配置の場合

割裂補強筋配筋要領

- 割裂補強筋は、改修壁の柱・梁に接する面全てに配置する。
- 割裂補強筋は、6φスパイラル型とし、ピッチ、スパイラル径は下記による。
- 継手は、2巻以上の重ねとする。

| 壁 厚 | スパイラル径 | 割裂補強筋 | 備 考 |
|-----|--------|-------|-----|
| 150 | 75φ    | 6φφ50 |     |
| 180 | 100φ   | 6φφ50 |     |
| 200 | 100φ   | 6φφ50 |     |
| 250 | 150φ   | 6φφ50 |     |
| 300 | 150φ   | 6φφ50 |     |
| 350 | 200φ   | 9φφ50 |     |
| 400 | 200φ   | 9φφ50 |     |

新設・増設壁上部グラウト要領

- 特記なき新設・増設壁上部は、グラウトを行う。

鉄筋フレア溶接要領

- 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点 (La) 及び、クレーター (Lb) を除いた部分の長さとする。但し、La 及び Lbは 2d以上とする。

アンカー筋ピッチ標準

既存壁等撤去要領図 S=1／30

注記) 特記なき壁等の撤去は下図による。  
注記) < 印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30とする。  
注記) 鉄筋切断部には、錆止め塗装を行う。  
注記) 鉄筋はつり出しは、特記による。

壁開口部の補強

既存開口閉塞要領

- 開口周りの既存鉄筋をはつり出し新設壁筋を溶接する。
- 開口補強筋の取付けは詳細図による。
- 開口上部にたれ壁がなく既存壁に接着系アンカーを打つ場合、頂部は無収縮モルタル充填とし、補強壁新設に準じる物とする。  
L : フレア溶接 (片側 10 d 以上、両側 5 d 以上)  
W : 設計により決定。

新設壁開口配筋要領図

- 床・壁にコア抜きにより先導孔を開ける。
- 各開口法に合わせ、コンクリートカッター及び、はつり出しにより開口部を開ける。
- 小開口部は切断面の補修 (錆び止め塗装) を施す。  
大開口部はあと施工アンカーにより、開口補強筋を設ける。  
開口補強筋を取り付けた後、内型枠に合わせグラウト材を充填する。

○大開口部 ・適用は特記による。

注記) < 印は、コンクリートカッター位置を示し、カッター深さ30

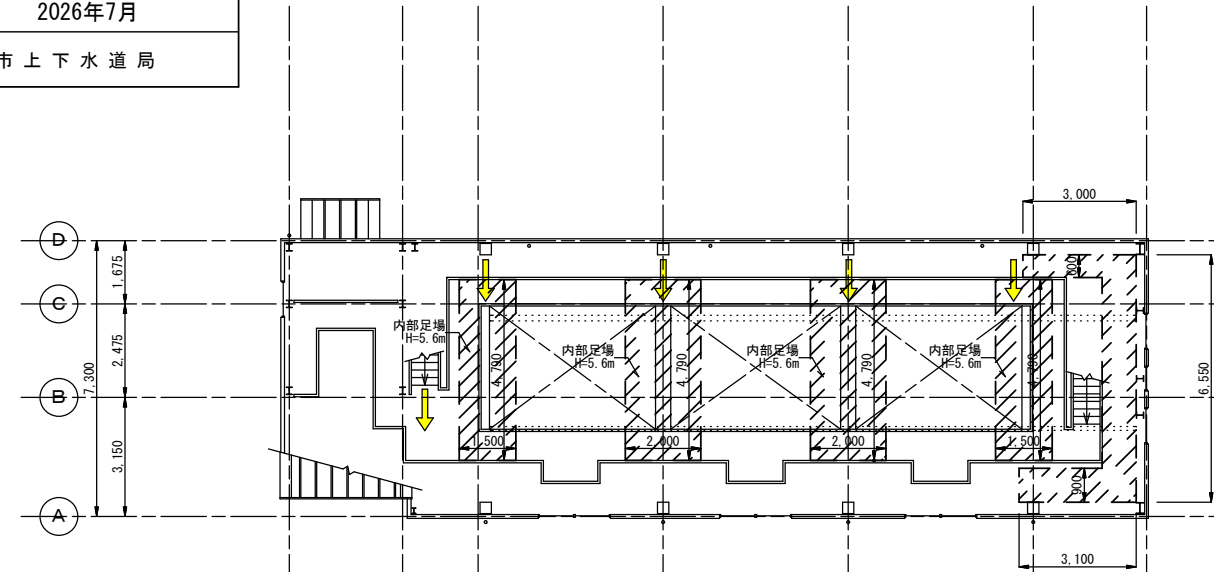
○小開口部 ・適用は特記による。



|                 |                 |     |                      |
|-----------------|-----------------|-----|----------------------|
| 図面番号            | A-12            | 縮尺  | A1:1/100<br>A3:1/200 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |     |                      |
| 種 別             | 除塵機棟 平面図 (1)    | 番 号 | ／                    |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |     |                      |
| 設計年月            | 2026年7月         |     |                      |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |     |                      |

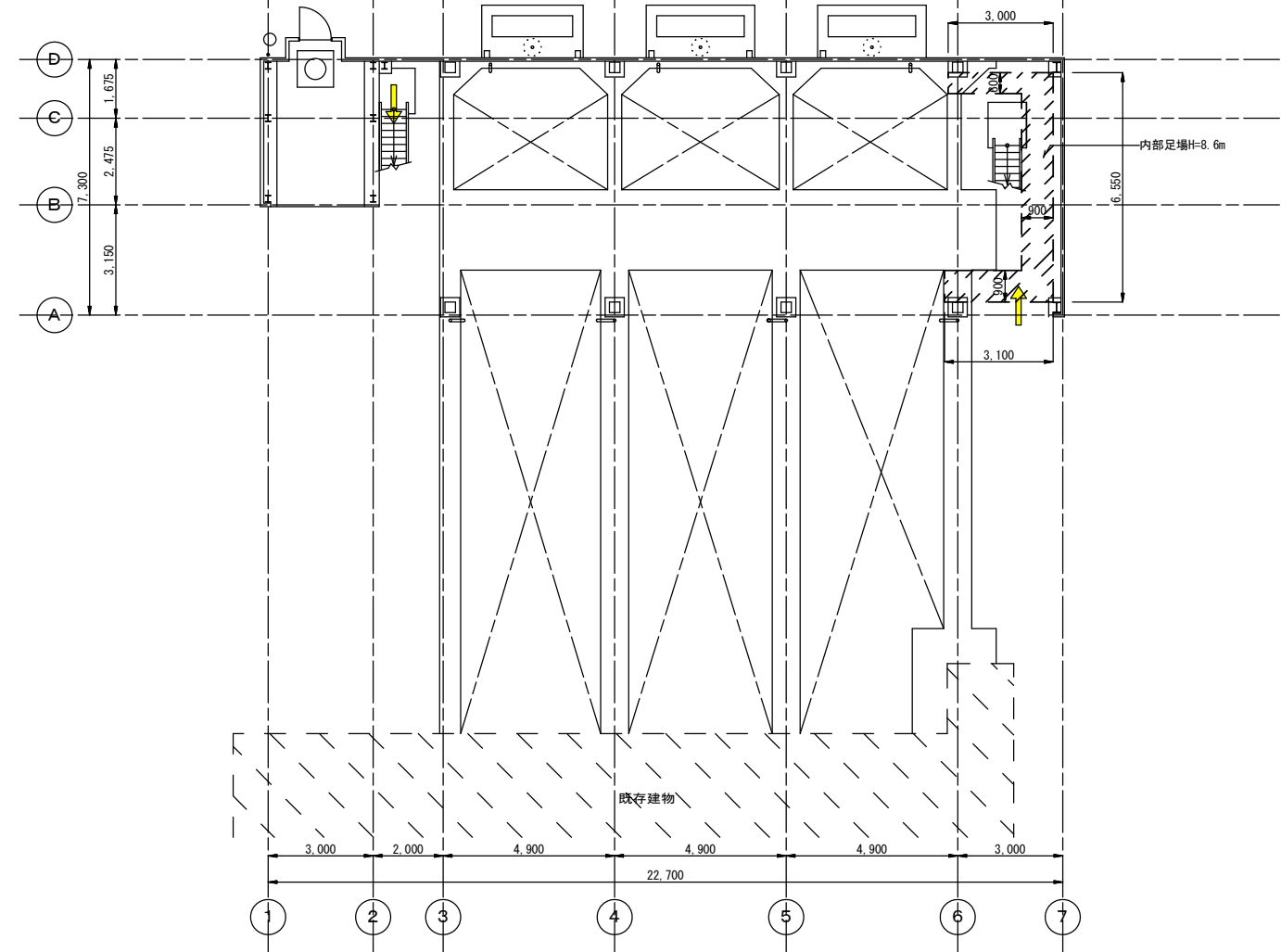
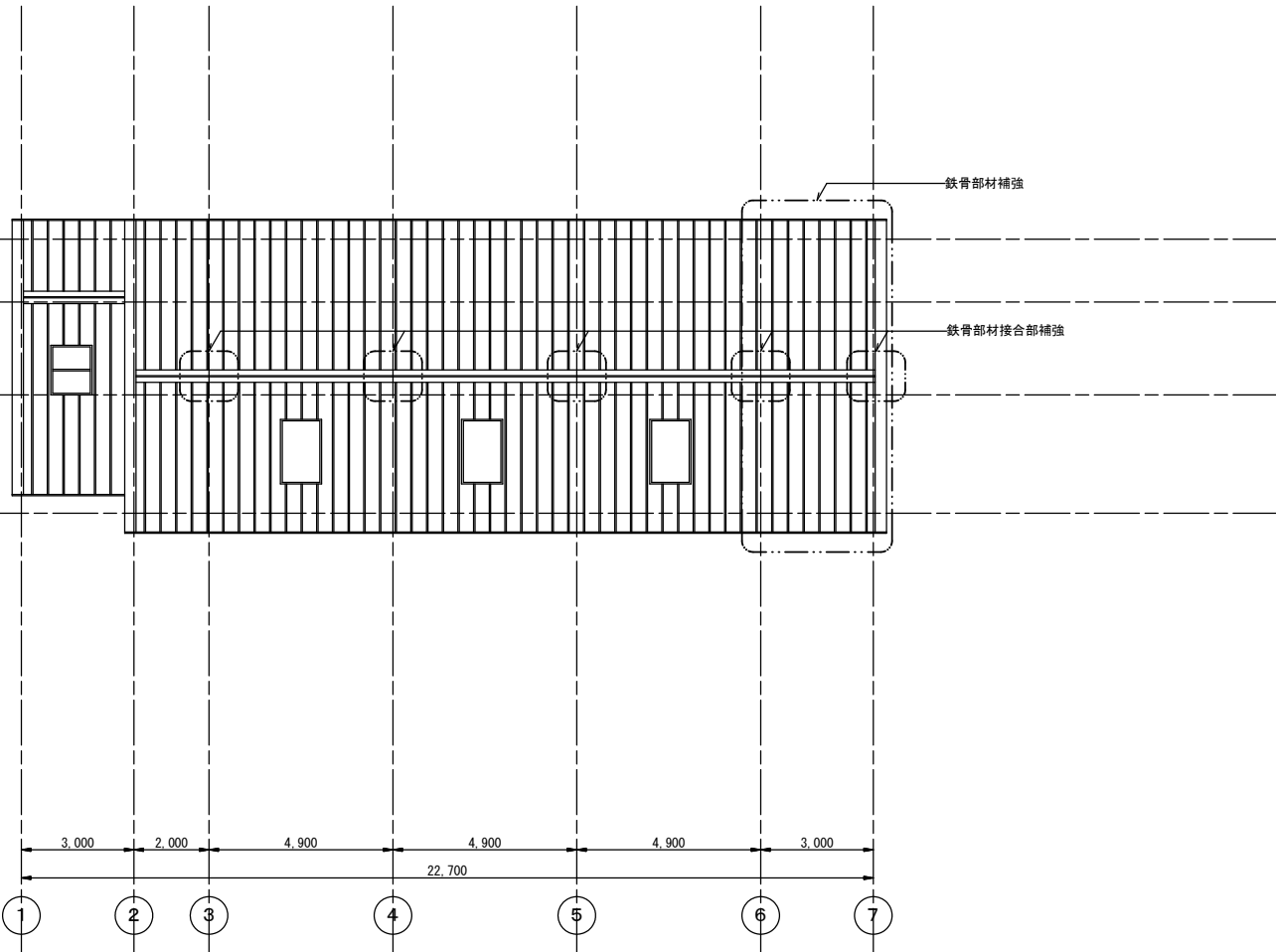
原図サイズA1

改 修 前



屋根伏図

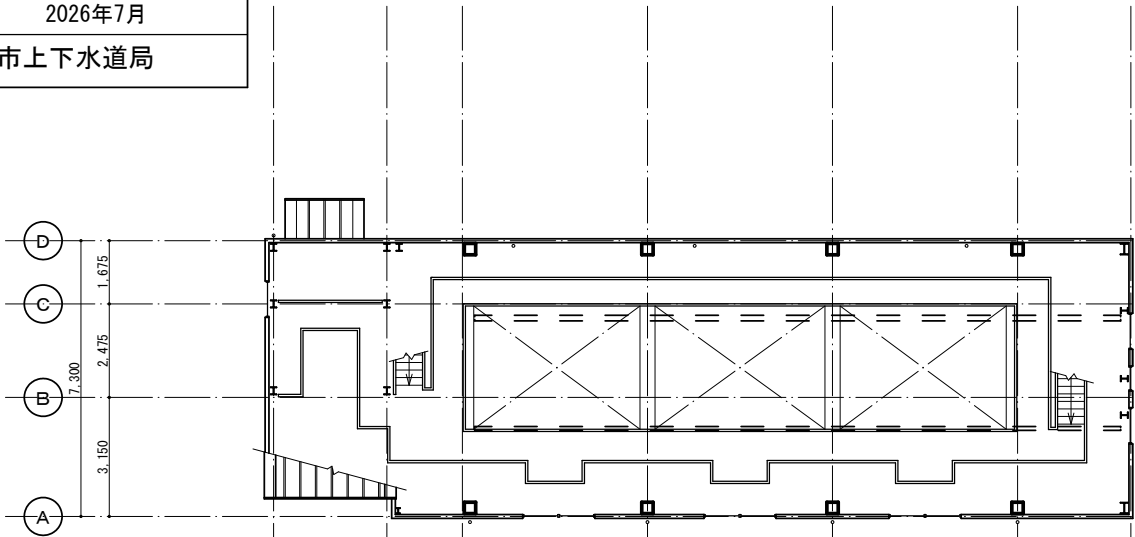
A1:1/100  
A3:1/200



- 凡例
- 改修箇所を示す。
  - 内部足場を示す。
  - 工事用動線

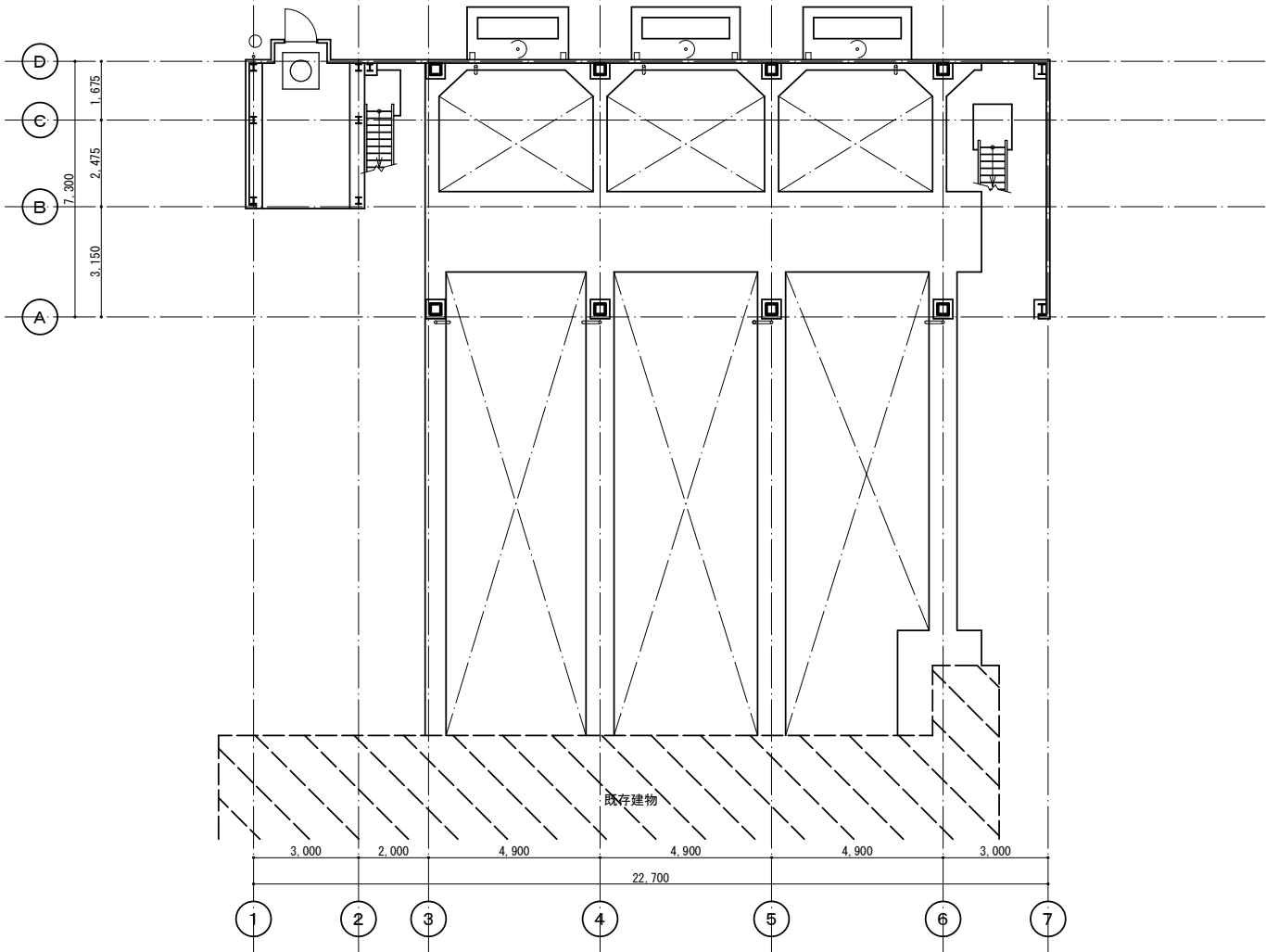
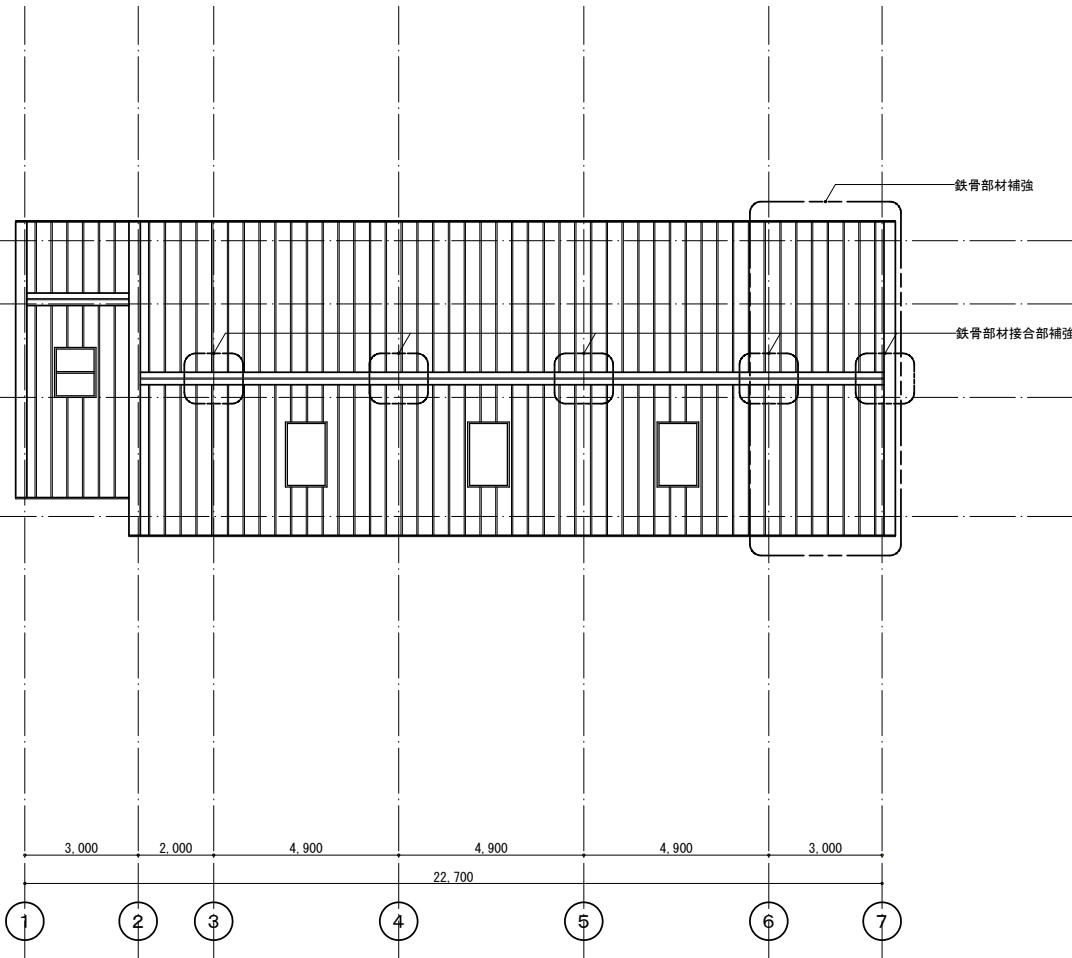
|          |                 |     |                          |  |
|----------|-----------------|-----|--------------------------|--|
| 図面番号     | A-13            | 縮尺  | A1 : 1/100<br>A3 : 1/200 |  |
| 工 事 名    | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |     |                          |  |
| 種 別      | 除塵機棟 平面図 ( 2 )  | 番 号 |                          |  |
| 工事箇所     | 福山市松永町五丁目地内     |     |                          |  |
| 設計年月     | 2026年7月         |     |                          |  |
| 福山市上下水道局 |                 |     |                          |  |

改 修 後



屋根伏図

A1 : 1/100  
A3 : 1/200

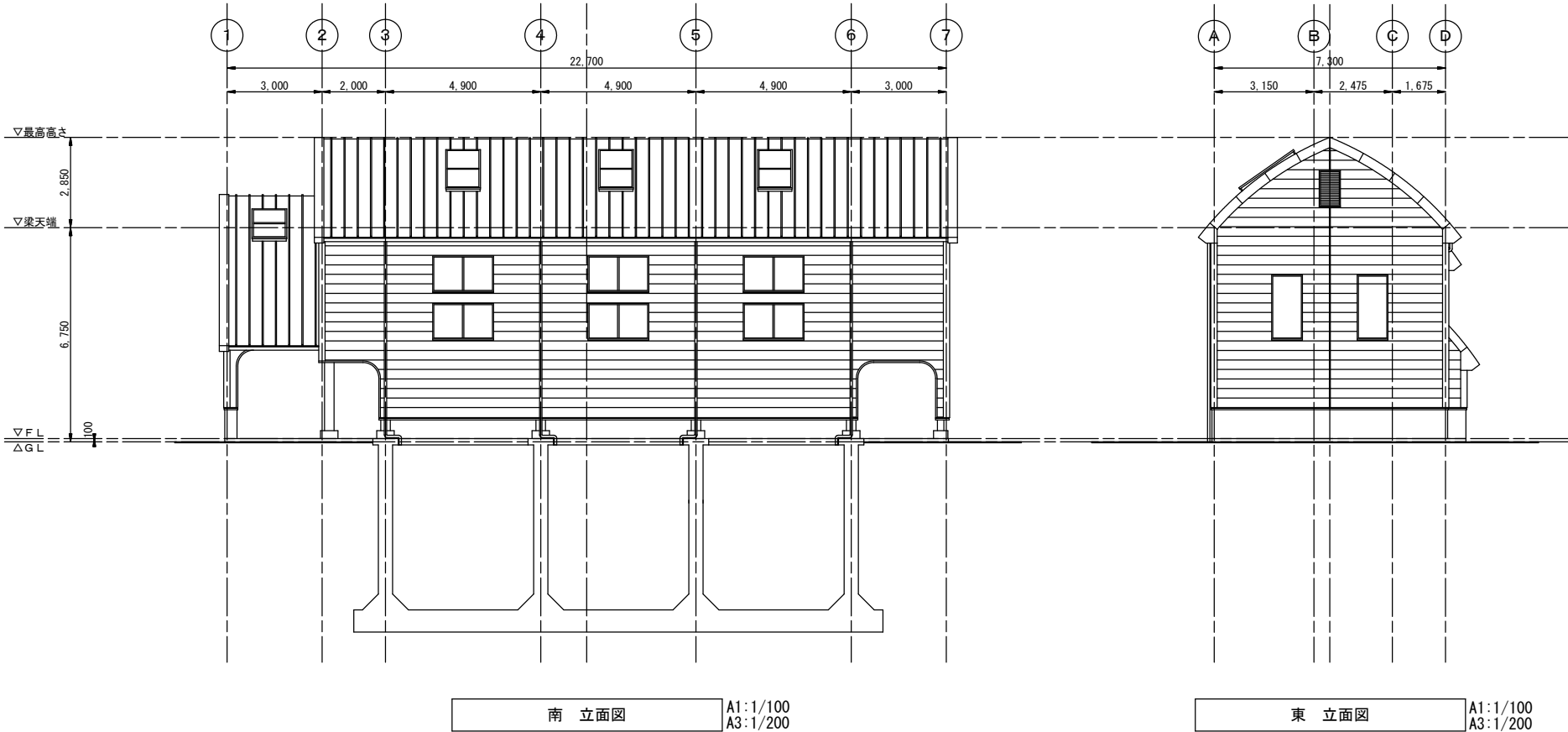
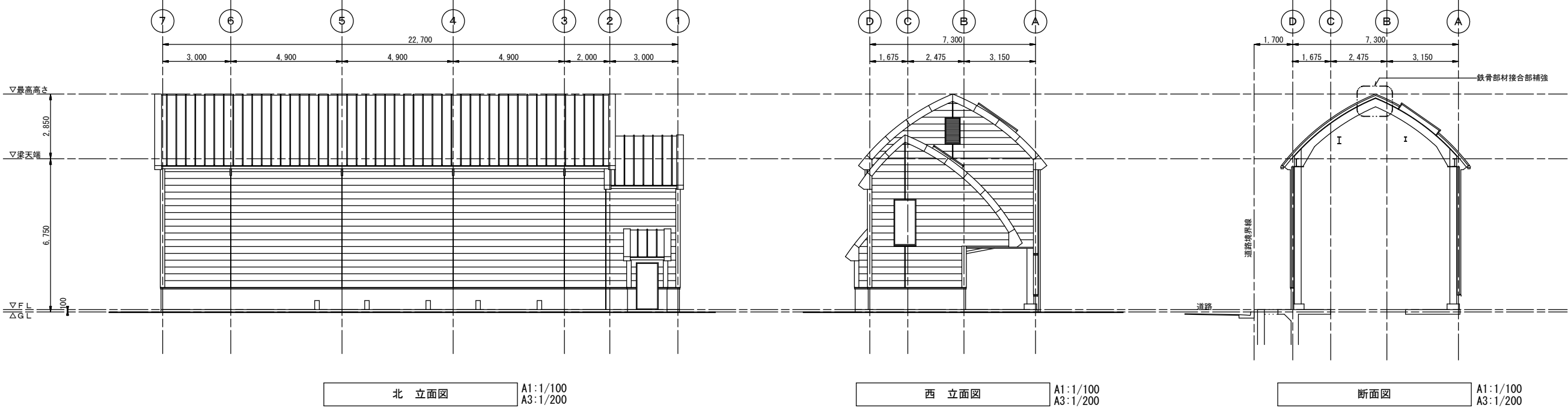


凡例  
改修箇所を示す。

|                 |                 |                  |                      |
|-----------------|-----------------|------------------|----------------------|
| 図面番号            | A-14            | 縮尺               | A1:1/100<br>A3:1/200 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |                  |                      |
| 種 別             | 除塵機棟            | 立面図(1)<br>断面図(1) | 番 号<br>号             |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |                  |                      |
| 設計年月            | 2026年7月         |                  |                      |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |                  |                      |

改 修 前

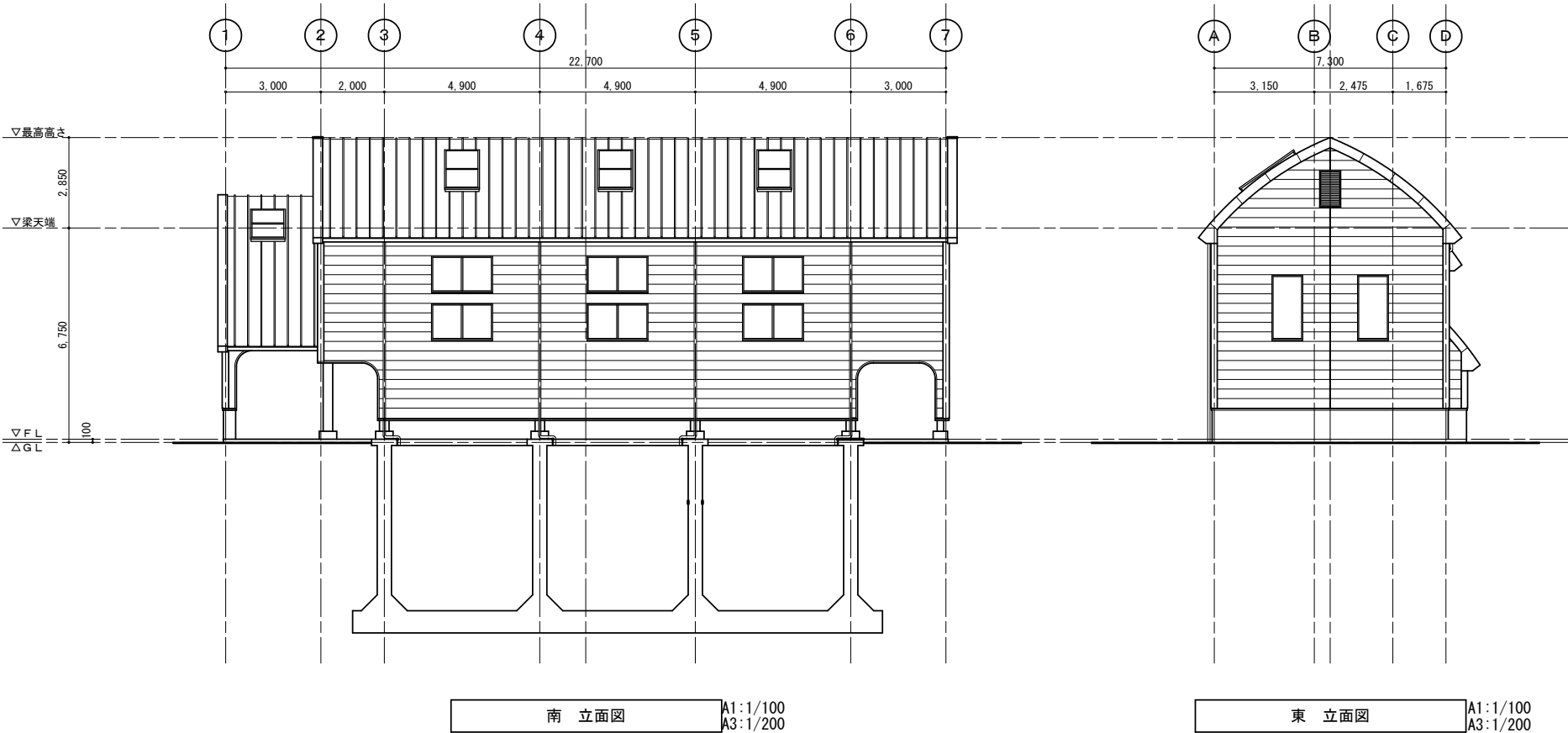
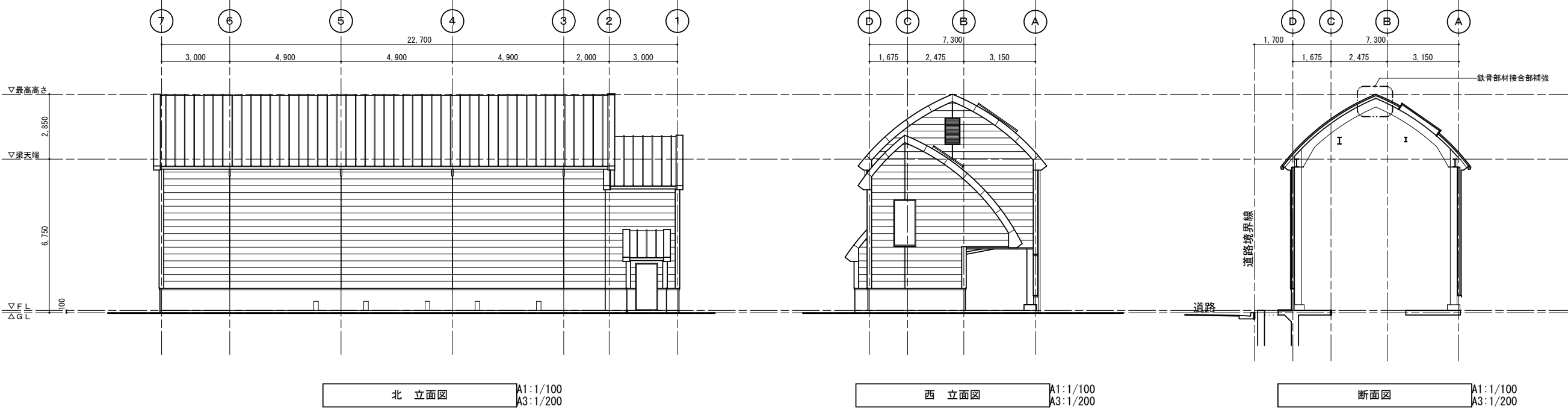
原図サイズA1



凡例  
改修箇所を示す。

|          |                 |                    |                      |  |
|----------|-----------------|--------------------|----------------------|--|
| 図面番号     | A-15            | 縮尺                 | A1:1/100<br>A3:1/200 |  |
| 工 事 名    | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |                    |                      |  |
| 種 別      | 除塵機棟            | 立面図 (2)<br>断面図 (2) | 番 号                  |  |
| 工事箇所     | 福山市松永町五丁目地内     |                    |                      |  |
| 設計年月     | 2026年7月         |                    |                      |  |
| 福山市上下水道局 |                 |                    |                      |  |

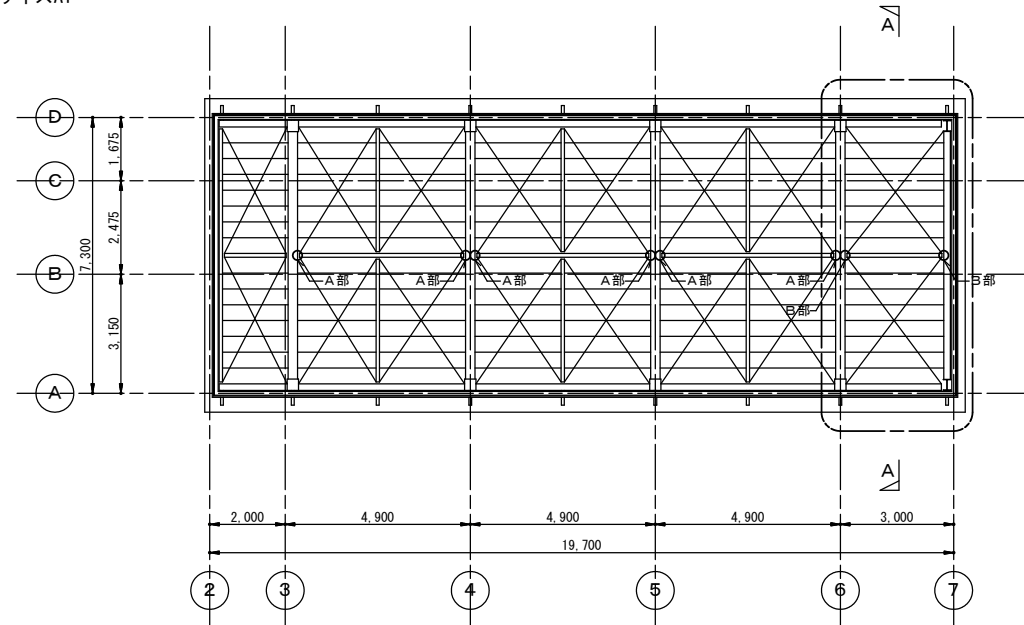
改 修 後



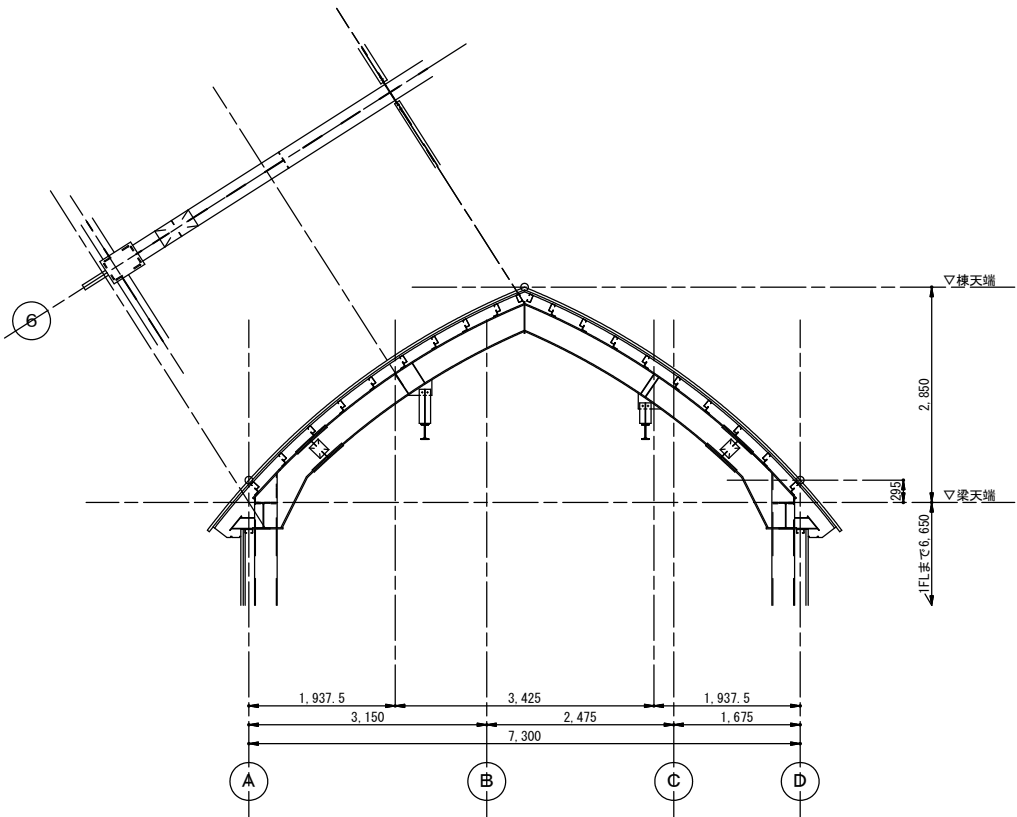
凡例  
改修箇所を示す。

|                 |                 |       |    |
|-----------------|-----------------|-------|----|
| 図面番号            | A-16            | 縮尺    | 図示 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |       |    |
| 種 別             | 除塵機棟            | 部分詳細図 | 番号 |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |       |    |
| 設計年月            | 2026年7月         |       |    |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |       |    |

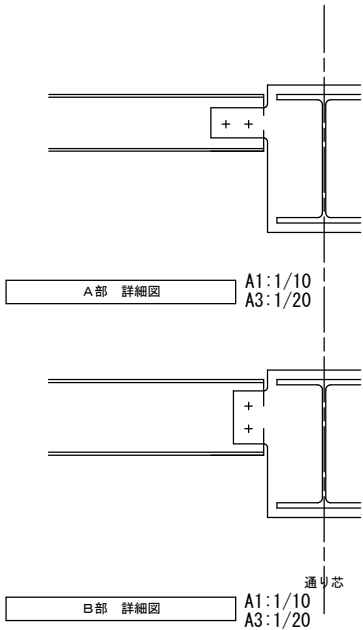
原図サイズA1



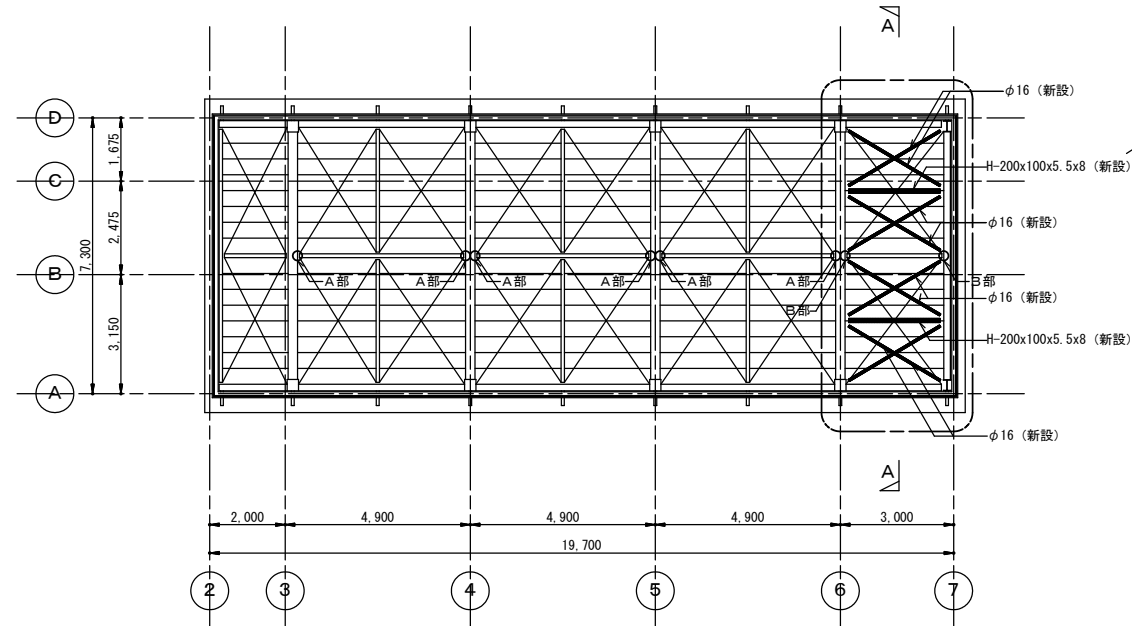
天井伏図 A1:1/100  
A3:1/200



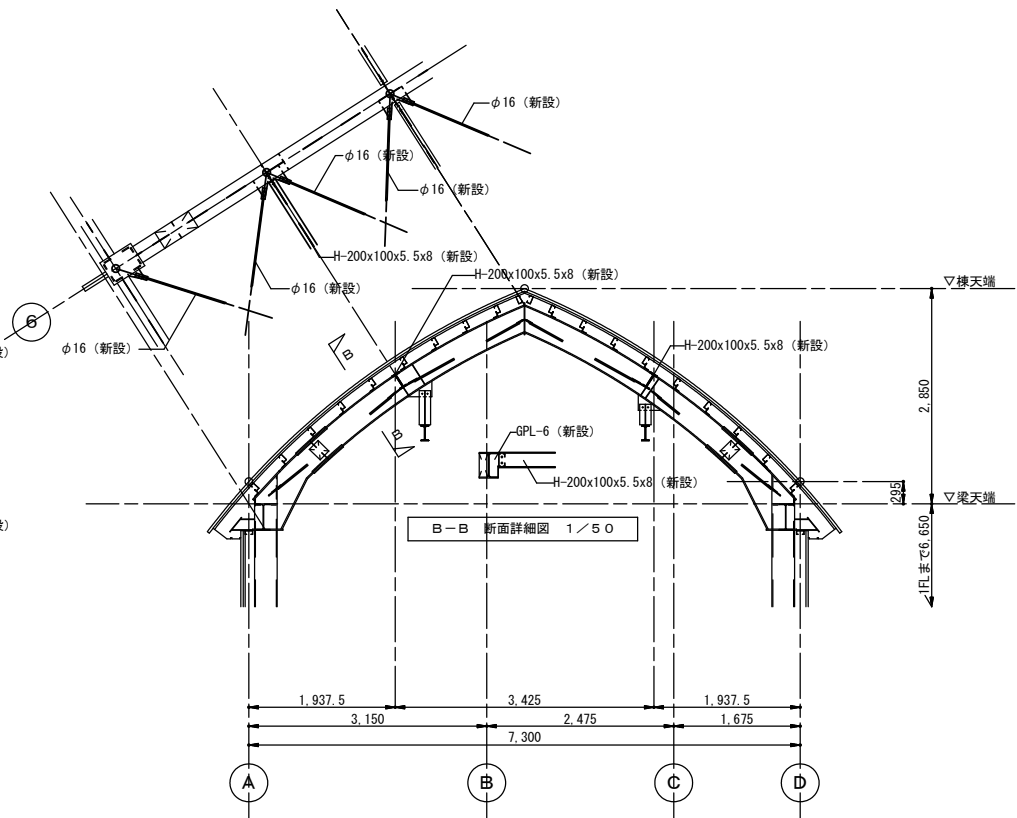
A-A 断面詳細図 A1:1/50  
A3:1/100



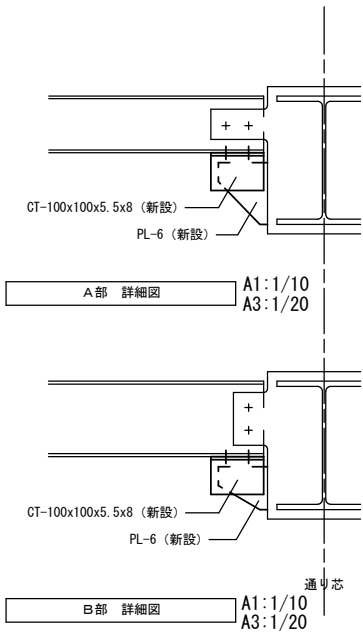
改 修 後



天井伏図 A1:1/100  
A3:1/200



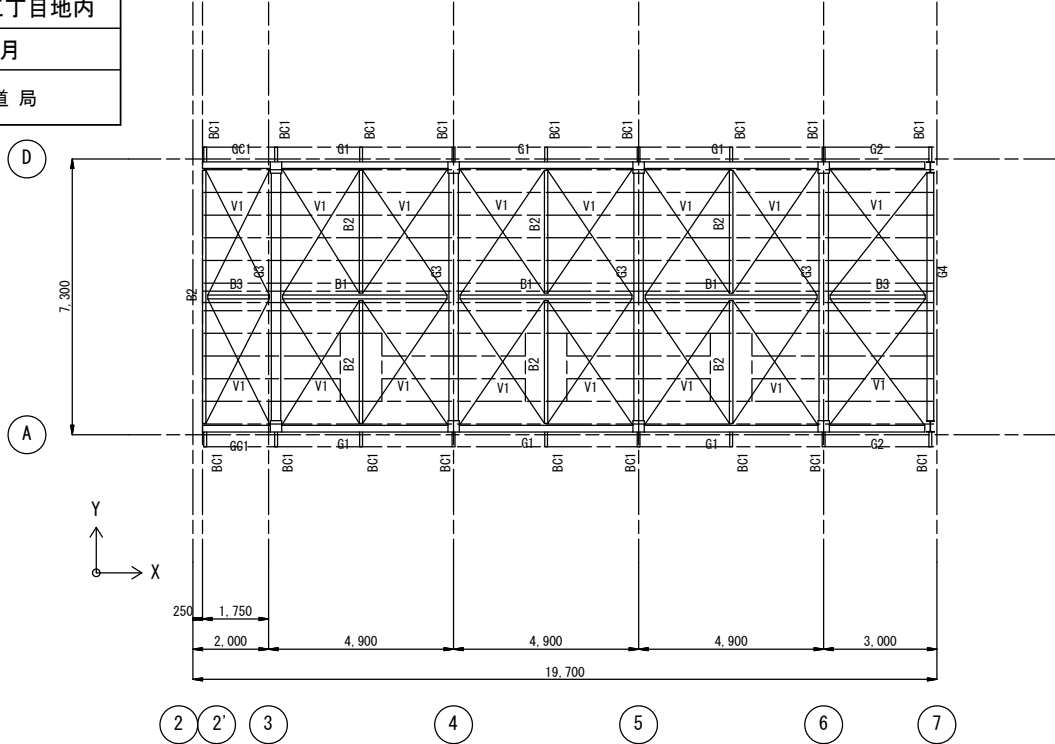
A-A 断面詳細図 A1:1/50  
A3:1/100



注記  
新設鉄部見え掛り面  
全てDP (FUE) 塗とする。

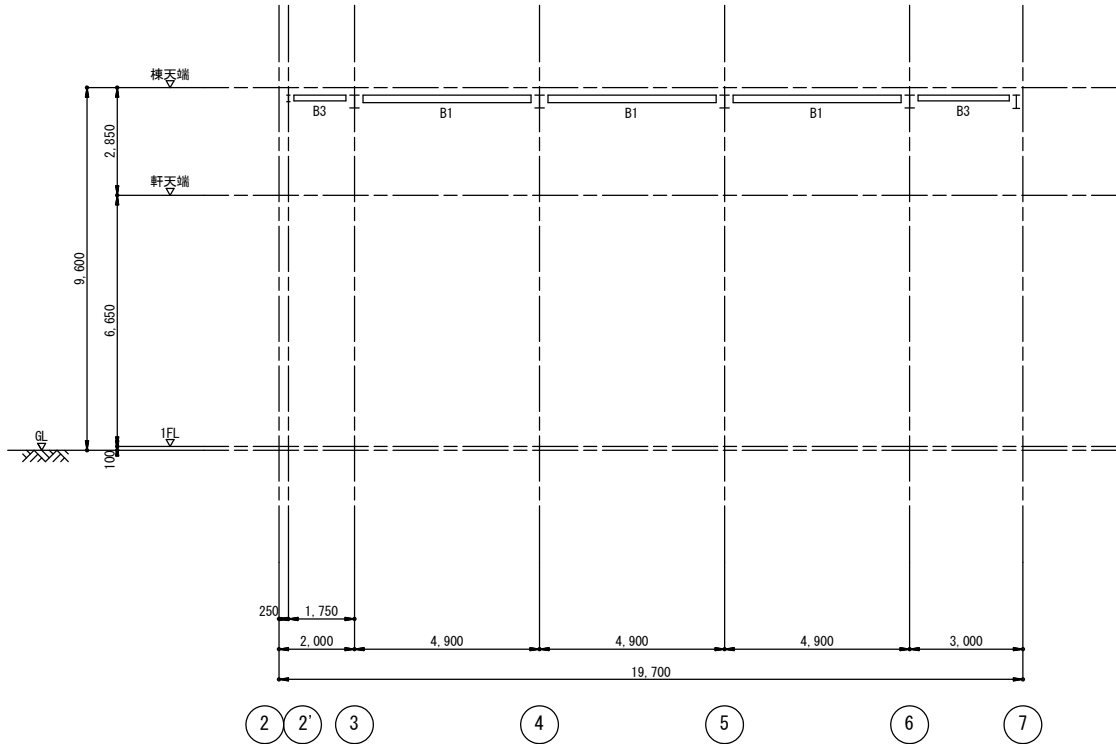
|                 |                 |       |                      |
|-----------------|-----------------|-------|----------------------|
| 図面番号            | S-14            | 縮尺    | A1:1/100<br>A3:1/200 |
| 工 事 名           | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |       |                      |
| 種 別             | 除塵機棟            | 補強案内図 | 番<br>号               |
| 工事箇所            | 福山市松永町五丁目地内     |       |                      |
| 設計年月            | 2026年7月         |       |                      |
| 福 山 市 上 下 水 道 局 |                 |       |                      |

原図サイズA1



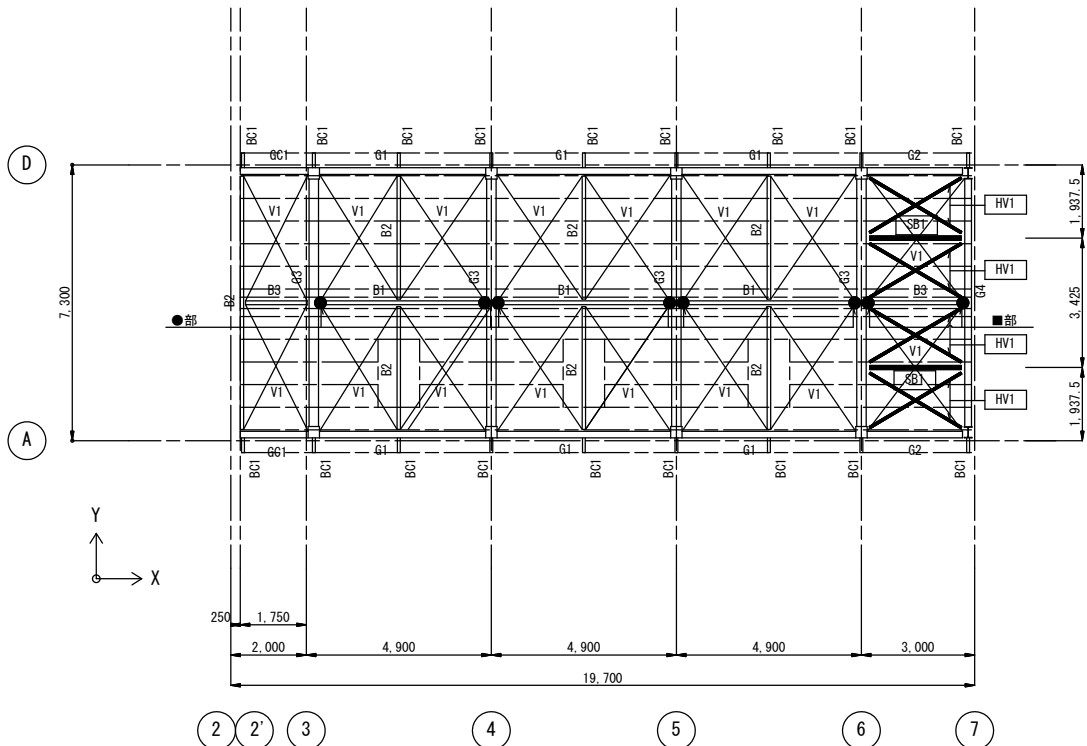
屋根 伏図 A1:1/100  
A3:1/200

改 修 前

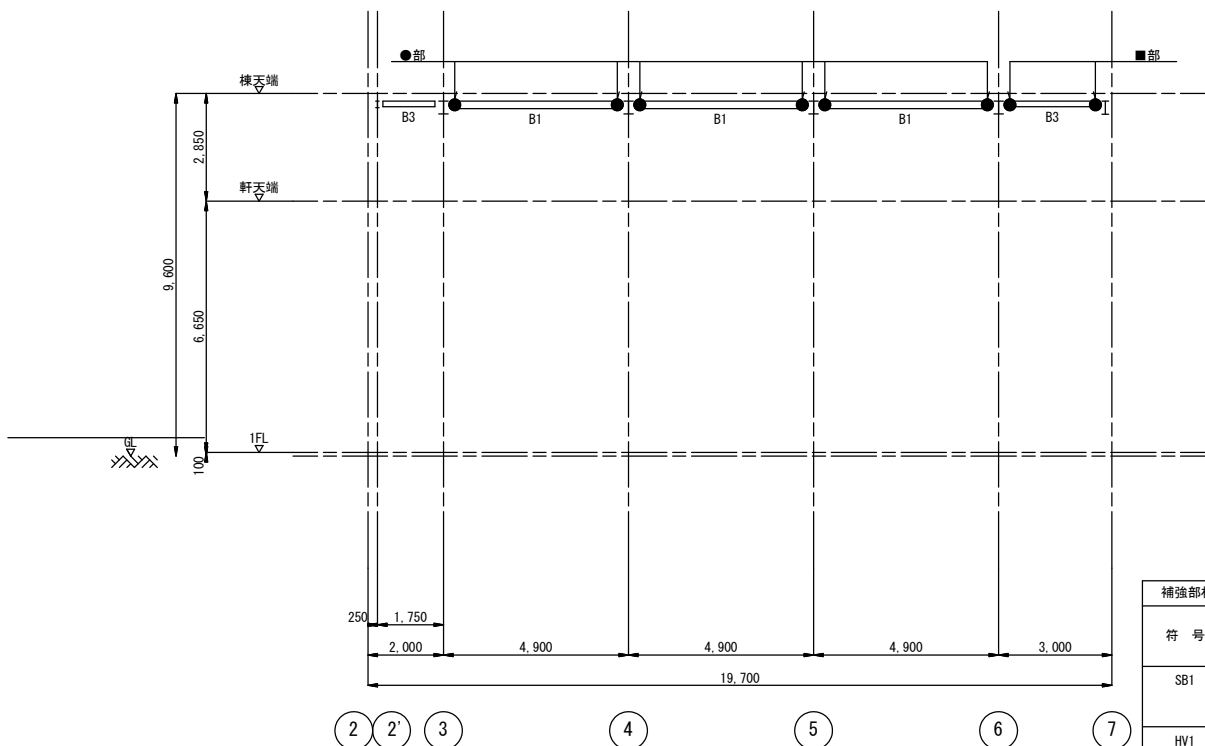


棟部 軸組図 A1:1/100  
A3:1/200

改 修 後



屋根 伏図 A1:1/100  
A3:1/200



棟部 軸組図 A1:1/100  
A3:1/200

| 補強部材リスト |                     |         |
|---------|---------------------|---------|
| 符 号     | 部 材                 | 材 質     |
| SB1     | H-200x100x5.5x8     | SS400   |
|         | GPL-6、HTB 2-M20     |         |
| HV1     | 1-M16 TB付き (JIS規格品) | SNR400B |
| ●部      | 接合部補強 (詳細図参照)       | SS400   |
| ■部      | 接合部補強 (詳細図参照)       | SS400   |

※：1. 材質はSS400、ボルトはS10Tとする。  
2. 詳細は、補強詳細図による。



## 参考数量書

|        |                 |
|--------|-----------------|
| § 工事名称 | 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事 |
| § 工事場所 | 福山市松永町五丁目地内     |

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款第1条に定める「設計図書」ではなく  
参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。  
※「建築数量積算基準・同解説」(建築工事建築数量積算研究会制定)  
※「建築設備数量積算基準・同解説」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

# 設 計 書

工事名称 松永ポンプ場流入渠等耐震化工事

工事場所 福山市松永町五丁目地内

( 工事価格 )

【工事概要】  
耐震補強工 一式

| 名       | 称 | 数 | 量 | 単位 | 金 | 額 | 備         | 考 |
|---------|---|---|---|----|---|---|-----------|---|
| 直接工事費   |   |   |   |    |   |   |           |   |
| 建築工事    |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
| 計       |   |   |   |    |   |   |           |   |
| 共通費     |   |   |   |    |   |   |           |   |
| 共通仮設費   |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
| 現場管理費   |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
| 一般管理費等  |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
| 計       |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
| 工事価格    |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
| 消費税等相当額 |   | 1 |   | 式  |   |   | 消費税率 10 % |   |
| 工事費     |   | 1 |   | 式  |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |
|         |   |   |   |    |   |   |           |   |

[illegible]

[illegible]



[illegible]

福山市上下水道局

福山市上下水道局

| 除塵機棟耐震化                   |                          | 耐震（躯体）改修 |                | 改修  |     |     |
|---------------------------|--------------------------|----------|----------------|-----|-----|-----|
| 名 称                       | 摘 要                      | 数 量      | 単位             | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
| H形鋼                       | SS400、H-200×100×5.5×8    | 0.1      | t              |     |     |     |
| CT形鋼                      | SS400、CT-100×100×5.5×8   | 0.01     | t              |     |     |     |
| 丸鋼                        | SNR400B、RB-M16           | 0.1      | t              |     |     |     |
| 鋼板                        | SS400、PL-6               | 0.1      | t              |     |     |     |
| 特殊高力ボルト                   | S10T、M16、L=40            | 25       | 本              |     |     |     |
| 特殊高力ボルト                   | S10T、M16、L=45            | 25       | 本              |     |     |     |
| 特殊高力ボルト                   | S10T、M20、L=45            | 8        | 本              |     |     |     |
| トリア形<br>高力ボルト締付け          | ビル鉄骨<br>1,000本未満<br>施工手間 | 58       | 本              |     |     |     |
| 鉄骨スクラップ 控除                |                          | 1        | 式              |     |     |     |
| 工場加工組立                    |                          | 0.2      | t              |     |     |     |
| 現場建方・取付                   |                          | 0.2      | t              |     |     |     |
| 錆止め塗り<br>(現場1回)<br>(基準単価) | 鉄鋼面(屋内)<br>塗料B種 工程A種     | 8.2      | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 場内小運搬                     |                          | 0.2      | t              |     |     |     |
| 鉄骨運搬                      | 6t車                      | 0.2      | t              |     |     |     |
| 鉄骨現場溶接                    | 半自動(すみ肉6mm換算)            | 16.3     | m              |     |     |     |
| 計                         |                          |          |                |     |     |     |
|                           |                          |          |                |     |     |     |
|                           |                          |          |                |     |     |     |
|                           |                          |          |                |     |     |     |
|                           |                          |          |                |     |     |     |

| 除塵機棟耐震化                            |                                           | 直接仮設 |                |     |     |     |
|------------------------------------|-------------------------------------------|------|----------------|-----|-----|-----|
| 名 称                                | 摘 要                                       | 数 量  | 単位             | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
| 養生                                 |                                           | 1    | 式              |     |     |     |
| 養生シート張り                            | 防災性能 JIS A 8952 類<br>供用1日賃料 修理費含む -       | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 養生シート張り                            | 防災性能 JIS A 8952 類<br>基本料 修理費含む -          | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 養生シート張り                            | 防災性能 JIS A 8952 類<br>掛払い手間 -              | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 計                                  |                                           |      |                |     |     |     |
|                                    |                                           |      |                |     |     |     |
| 整理清掃後片付け                           |                                           | 1    | 式              |     |     |     |
| 整理清掃後片付け<br>(内部改修)                 | 個別改修                                      | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 計                                  |                                           |      |                |     |     |     |
|                                    |                                           |      |                |     |     |     |
| 内部足場                               |                                           | 1    | 式              |     |     |     |
| 内部仕上足場<br>(手すり先行方式)                | 掛払い手間<br>枠組棚足場<br>階高5.7m以上7.4m未満 -        | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 内部仕上足場<br>(手すり先行方式)                | 供用1日賃料 修理費含む<br>枠組棚足場<br>階高5.7m以上7.4m未満 - | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 墨出し(内部改修)                          | 個別改修                                      | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 計                                  |                                           |      |                |     |     |     |
|                                    |                                           |      |                |     |     |     |
| 仮設材運搬                              |                                           | 1    | 式              |     |     |     |
| 仮設材運搬(内部<br>仕上足場 棚足場)<br>(手すり先行方式) | 5.7m以上7.4m未満                              | 42.7 | m <sup>2</sup> |     |     |     |
| 計                                  |                                           |      |                |     |     |     |
|                                    |                                           |      |                |     |     |     |

[illegible]



以下 参考図書

# 施工単価表

殻運搬  
Co(無筋)構造物とりこわし  
機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155  
DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0001 表  
1  
標準単価: 1,737.90000

m3 当り

| 代表機労材規格(積算地区)                                         | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区)                                         | 単価(東京地区) | 備考                         |
|-------------------------------------------------------|--------|----------|-------------------------------------------------------|----------|----------------------------|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) | 40.77% |          | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) |          | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般)                                               | 44.82% |          | 運転手(一般)                                               |          | RTPC00007<br>RTPT00007     |
| 軽油<br>パトロール給油,2~4KL積載車給油                              | 14.41% |          | 軽油パトロール給油                                             |          | TTPC00013<br>TTPT00013     |
| 積算単価                                                  |        |          | 積算単価                                                  |          | EP001                      |
| A=1 Co(無筋)構造物とりこわし<br>C=2 DID区間有り<br>E=1 -(全ての費用)     |        |          | B=1 機械積込<br>D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)                  |          |                            |
|                                                       |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                       |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                       |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                       |        |          |                                                       |          |                            |

## 施工単価表

頁0 -0012

鉄筋工  
SD345 D13

SS000099

單第0 -0002 表

一般構造物 [規]10t未滿

1 t 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0013

## 鉄筋工

SS000099

單第0 -0003 表

SD345 D16 ~ D25

一般構造物 [規]10t未滿

---

t

当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0014

## あと施工アンカー

V0000003001

單第0 -0004 表

---

箇所 当り

D19、削孔長L=250、下方向

[illegible]

# 施工単価表

頁0 -0015

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0005 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

機械構成比: 1.97% 労務構成比: 95.91% 材料構成比: 2.12% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,013.20000 孔 当り

| 代表機労材規格(積算地区)                        | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区)                        | 単価(東京地区) | 備考                     |
|--------------------------------------|--------|----------|--------------------------------------|----------|------------------------|
| <賃>発動発電機(ガソリン発電機)<br>定格容量2kVA<br>低騒音 | 0.93%  |          | <賃>発動発電機(ガソリン発電機)<br>定格容量2kVA<br>低騒音 |          | KTPC00041<br>KTPT00041 |
| その他<br>電動ハンマドリル<br>穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm | 0.65%  |          | 電動ハンマドリル<br>穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm        |          | MTPC00146<br>MTPT00146 |
| その他(機械)                              |        |          | その他(機械)                              |          | EK009                  |
| 特殊作業員                                | 44.73% |          | 特殊作業員                                |          | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 普通作業員                                | 18.55% |          | 普通作業員                                |          | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役                              | 13.46% |          | 土木一般世話役                              |          | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務)                              |        |          | その他(労務)                              |          | ER009                  |
| ガソリン,レギュラー<br>スタンド渡し,スタンド給油          | 1.70%  |          | ガソリンレギュラースタンド                        |          | TTPC00014<br>TTPT00014 |
| その他(材料)                              |        |          | その他(材料)                              |          | EZ009                  |

## 施工単価表

頁0 -0016

## コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0005 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 1.97%      労務構成比: 95.91%

材料構成比: 2.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,013.20000

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0017

## あと施工アンカー

V0000003002

單第0 -0006 表

---

箇所 当り

D19、削孔長L=250、橫方向

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0018

## あと施工アンカー

V0000003003

單第0 -0007 表

1 箇所 当り

D19、削孔長L=250、上方向

[illegible]

# 施工単価表

頁0 -0019

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.00000

| 代表機労材規格(積算地区)                                                     | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区)                                  | 単価(東京地区) | 備考                     |
|-------------------------------------------------------------------|--------|----------|------------------------------------------------|----------|------------------------|
| <賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付)<br>山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t<br>排1~3,2011,2014 | 3.31%  |          | バックホウ<br>[クローラ型クレーン付]<br>排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t |          | KTPC00006<br>KTPT00006 |
| その他(機械)                                                           |        |          | その他(機械)                                        |          | EK009                  |
| 特殊作業員                                                             | 10.07% |          | 特殊作業員                                          |          | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 普通作業員                                                             | 9.38%  |          | 普通作業員                                          |          | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役                                                           | 7.04%  |          | 土木一般世話役                                        |          | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| 運転手(特殊)                                                           | 6.40%  |          | 運転手(特殊)                                        |          | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| その他(労務)                                                           |        |          | その他(労務)                                        |          | ER009                  |
| レディーミクストコンクリート指定品<br>呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25)<br>W/C(55%),種別(高炉)   | 59.80% |          | 生コンクリート<br>高炉 24-12-25(20) W/C 55%             |          | TTPC00343<br>TTPT00343 |
| 軽油<br>パトロール給油,2~4KL積載車給油                                          | 1.65%  |          | 軽油パトロール給油                                      |          | TTPC00013<br>TTPT00013 |

## 施工単価表

頁0 -0020

## コンクリート

SPK25040157

單第0 -0008 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%      労務構成比:

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.00000

[illegible]

# 施工単価表

型枠  
一般型枠  
機械構成比: 0.00%

SPK25040159  
鉄筋・無筋構造物  
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1  
標準単価:

m2 当り  
10,100.00000

| 代表機労材規格(積算地区) |                  | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区) |          | 単価(東京地区) | 備考                     |
|---------------|------------------|--------|----------|---------------|----------|----------|------------------------|
| 型わく工          |                  | 46.66% |          | 型わく工          |          |          | RTPC00010<br>RTPT00010 |
| 普通作業員         |                  | 25.14% |          | 普通作業員         |          |          | RTPC00002<br>RTPT00002 |
| 土木一般世話役       |                  | 9.51%  |          | 土木一般世話役       |          |          | RTPC00009<br>RTPT00009 |
| その他(労務)       |                  |        |          | その他(労務)       |          |          | ER009                  |
| 積算単価          |                  |        |          | 積算単価          |          |          | EP001                  |
| A=1<br>C=1    | 一般型枠<br>-(全ての費用) |        |          | B=1           | 鉄筋・無筋構造物 |          |                        |
|               |                  |        |          |               |          |          |                        |
|               |                  |        |          |               |          |          |                        |
|               |                  |        |          |               |          |          |                        |

# 施工単価表

大型土のう製作

SHD10007

単第0 -0010 表

頁0 -0022

| 名称・規格など                                                       | 数量     | 単位 | 単価          | 金額 | 備考         |
|---------------------------------------------------------------|--------|----|-------------|----|------------|
| 土木一般世話役                                                       | 0.145  | 人  |             |    | 1*0.145    |
| 特殊作業員                                                         | 0.145  | 人  |             |    | 1*0.145    |
| 普通作業員                                                         | 0.145  | 人  |             |    | 1*0.145    |
| 耐候性大型土のう(2.0t用)<br>丸型,径110cm×長110cm<br>短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品 | 10.000 | 枚  |             |    |            |
| 機-28_バックホウ運転(賃料)<br>C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型                 | 0.145  | 日  |             |    | 単第0-0011 表 |
| 諸雑費                                                           | 2      | %  |             |    | #09        |
| *** 合計 ***                                                    | 10     | 袋  |             |    |            |
| *** 単位当たり ***                                                 | 1      | 袋  |             |    |            |
| A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)                                   |        |    | B=1 土砂の計上なし |    |            |
|                                                               |        |    |             |    |            |
|                                                               |        |    |             |    |            |
|                                                               |        |    |             |    |            |

## 施工単価表

頁0 -0023

機-28\_バックホウ運転(賃料)  
C付2.9t吊 山積0.45m3 後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0011 表

1 日 当り

[illegible]

# 施工単価表

頁0 -0024

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 44.67%

SPK25040002

DID区間有り 距離6.0km以下(5.0km超)

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0012 表

1

標準単価:

m3 当り

1,225.40000

| 代表機労材規格(積算地区)                                          | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区)                                         | 単価(東京地区) | 備考                         |
|--------------------------------------------------------|--------|----------|-------------------------------------------------------|----------|----------------------------|
| ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)  | 44.67% |          | ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]<br>10t積級<br>(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む) |          | MTPC00018T1<br>MTPT00018T1 |
| 運転手(一般)                                                | 40.44% |          | 運転手(一般)                                               |          | RTPC00007<br>RTPT00007     |
| 軽油<br>パトロール給油,2~4KL積載車給油                               | 14.89% |          | 軽油パトロール給油                                             |          | TTPC00013<br>TTPT00013     |
| 積算単価                                                   |        |          | 積算単価                                                  |          | EP001                      |
| A=1 標準<br>C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)<br>E=19 距離6.0km以下(5.0km超) |        |          | B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)<br>D=2 DID区間有り              |          |                            |
|                                                        |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                        |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                        |        |          |                                                       |          |                            |
|                                                        |        |          |                                                       |          |                            |

# 施工単価表

大型土のう設置(再設置含む)  
設置作業半径 6m以下

S1050055  
設置面高さ H<-3m, 2m<H

単第0 -0013 表

10

袋 当り

| 名称・規格など                                                 | 数量    | 単位 | 単価                    | 金額 | 備考  |
|---------------------------------------------------------|-------|----|-----------------------|----|-----|
| 土木一般世話役                                                 | 0.152 | 人  |                       |    |     |
| 特殊作業員                                                   | 0.152 | 人  |                       |    |     |
| 普通作業員                                                   | 0.152 | 人  |                       |    |     |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1~3,2011,2014 | 0.152 | 日  |                       |    |     |
| 諸雑費                                                     | 0.2   | %  |                       |    | #09 |
| *** 合計 ***                                              | 10    | 袋  |                       |    |     |
| *** 単位当たり ***                                           | 1     | 袋  |                       |    |     |
| A=1 設置作業半径_6m以下                                         |       |    | B=2 設置面高さ_H<-3m, 2m<H |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |

# 施工単価表

大型土のう移設(撤去・再設置)  
設置作業半径 6m以下

S1050061  
設置面高さ H<-3m, 2m<H

単第0 -0014 表

10

袋 当り

| 名称・規格など                                                 | 数量    | 単位 | 単価                    | 金額 | 備考  |
|---------------------------------------------------------|-------|----|-----------------------|----|-----|
| 土木一般世話役                                                 | 0.161 | 人  |                       |    |     |
| 特殊作業員                                                   | 0.161 | 人  |                       |    |     |
| 普通作業員                                                   | 0.161 | 人  |                       |    |     |
| <作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)<br>25t吊,オペレータ付<br>排1~3,2011,2014 | 0.161 | 日  |                       |    |     |
| 諸雑費                                                     | 0.2   | %  |                       |    | #09 |
| *** 合計 ***                                              | 10    | 袋  |                       |    |     |
| *** 単位当たり ***                                           | 1     | 袋  |                       |    |     |
| A=1 設置作業半径_6m以下                                         |       |    | B=2 設置面高さ_H<-3m, 2m<H |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |
|                                                         |       |    |                       |    |     |

施工単価表

土のう拵え，積立，撤去工  
小口並べ

S1012

単第0 -0015 表

10

m2

当り

| 名称・規格など                             | 数量      | 単位 | 単価              | 金額 | 備考    |
|-------------------------------------|---------|----|-----------------|----|-------|
| 処理土                                 | 3.400   | m3 |                 |    |       |
| 土のう<br>幅48cm×長62cm,2号,ポリエチレン製       | 170.000 | 枚  |                 |    | 化学繊維袋 |
| 普通作業員                               | 7.140   | 人  |                 |    |       |
| 諸雑費                                 | 1       | 式  |                 |    |       |
| *** 合計 ***                          | 10      | m2 |                 |    |       |
| *** 単位当たり ***                       | 1       | m2 |                 |    |       |
| A=1 小口並べ<br>C=1005 土砂【登録単価CODE】(m3) |         |    | B=1 土のう拵え，積立，撤去 |    |       |
|                                     |         |    |                 |    |       |
|                                     |         |    |                 |    |       |
|                                     |         |    |                 |    |       |
|                                     |         |    |                 |    |       |
|                                     |         |    |                 |    |       |



# 施工単価表

現場発生品及び支給品運搬  
クレーン装置付BT2t積2.9t吊  
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411  
片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)

単第0 -0017 表  
標準単価: 1 t 当り  
3,909.70000

| 代表機労材規格(積算地区)                                            | 構成比    | 単価(積算地区) | 代表機労材規格(東京地区)                        | 単価(東京地区) | 備考                     |
|----------------------------------------------------------|--------|----------|--------------------------------------|----------|------------------------|
| トラック<br>クレーン装置付<br>ベーストラック2t積吊能力2.9t                     | 13.79% |          | トラック<br>クレーン装置付<br>ベーストラック2t積吊能力2.9t |          | MTPC00154<br>MTPT00154 |
| 運転手(特殊)                                                  | 42.15% |          | 運転手(特殊)                              |          | RTPC00006<br>RTPT00006 |
| 特殊作業員                                                    | 41.25% |          | 特殊作業員                                |          | RTPC00001<br>RTPT00001 |
| 軽油<br>パトロール給油,2～4KL積載車給油                                 | 2.81%  |          | 軽油パトロール給油                            |          | TTPC00013<br>TTPT00013 |
| 積算単価                                                     |        |          | 積算単価                                 |          | EP001                  |
| A=1<br>C=7<br>クレーン装置付BT2t積2.9t吊<br>片道運搬距離7.0km以下(5.0km超) |        |          | B=2<br>DID区間有り                       |          |                        |
|                                                          |        |          |                                      |          |                        |
|                                                          |        |          |                                      |          |                        |
|                                                          |        |          |                                      |          |                        |

## 施工単価表

頁0 -0030

## ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0018 表

---

箇所 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0031

機-28\_バックホウ運転(賃料)  
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0019 表

---

目 当り

[illegible]



## 施工単価表

頁0 -0033

## 建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0021 表

口径150mm,揚程10m

7.5kw

---

目 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0034

## 建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0022 表

口径200mm,揚程10m

11.0kw

---

目 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0035

機-16\_発動発電機運転  
ディーゼル75kVA

S9469  
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0023 表

1 日 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0036

## ポンプ運転

S1050053

單第0 -0024 表

排水量 0以上120未満(m<sup>3</sup>/h)

全揚程 10m 作業時排水

---

目 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0037

機-16\_発動発電機運転  
ディーゼル45kVA

S9469  
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0025 表

1日目 当日

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0038

吸引車清掃工  
強力吸引車 8t

V0000005001

單第0 -0026 表

12 m3 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0039

## 高压洗净車運転工

V0000005002

單第0 -0027 表

---

目 当り

147kW    4t

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0040

強力吸引車運転工  
210kW 8t

V0000005003

單第0 -0028 表

---

目 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0041

## 強力吸引車運搬工

V0000005004

單第0 -0029 表

DID区間有り 距離10.0km以下(8.0km超)

210kW    8t

1 m3 当り

[illegible]

## 施工単価表

頁0 -0042

強力吸引車運転工  
210kW 8t

V0000005005

單第0 -0030 表

---

時間 当り

[illegible]

# 数量計算書

# 数量計算書（土木）

数量集計表（土木）

| 種別                     | 細別          | 形状寸法                     | 算式   |   |        | 単位             | 数量   | 設計   | 備考 |
|------------------------|-------------|--------------------------|------|---|--------|----------------|------|------|----|
| あと施工せん断補強工<br>流入渠 底版   | あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=350mm、下方向          | 160  | + | +      | 本              | 160  | 160  |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 160  |                |      |      |    |
| 流入渠 底版 ハンチ             | あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=460mm、下方向          | 13   | + | +      | 本              | 13   | 13   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 13   |                |      |      |    |
| 流入渠 側壁                 | あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=450mm、横方向          | 101  | + | +      | 本              | 101  | 101  |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 101  |                |      |      |    |
| 流入渠 側壁 ハンチ             | あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=530mm、横方向          | 15   | + | +      | 本              | 15   | 15   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 15   |                |      |      |    |
| 殻運搬処理                  | 殻運搬         | 構造物取壊し、L=6.3km以下         | 0.14 | + | +      | m <sup>3</sup> | 0.14 | 0.1  |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.14 |                |      |      |    |
|                        | Co殻受入費      |                          | 0.14 | + | +      | m <sup>3</sup> | 0.14 | 0.1  |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.14 |                |      |      |    |
| 開口縮小（ポンプ井）<br>増厚コンクリート | 鉄筋工         | D13                      | 0.01 | + | +      | t              | 0.01 | 0.01 |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.01 |                |      |      |    |
|                        | 鉄筋工         | D19                      | 0.05 | + | +      | t              | 0.05 | 0.05 |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.05 |                |      |      |    |
|                        | あと施工アンカー    | D19、下方向                  | 4.0  | + | +      | 本              | 4.0  | 4    |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 4.0  |                |      |      |    |
|                        | あと施工アンカー    | D19、横方向                  | 14.0 | + | +      | 本              | 14.0 | 14   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 14.0 |                |      |      |    |
|                        | あと施工アンカー    | D19、上方向                  | 4.0  | + | +      | 本              | 4.0  | 4    |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 4.0  |                |      |      |    |
|                        | コンクリート      | 24-12-25BB               | 0.3  | + | +      | m <sup>3</sup> | 0.3  | 0.3  |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.3  |                |      |      |    |
|                        | 型枠          | 無筋・鉄筋構造物                 | 1.8  | + | +      | m <sup>2</sup> | 1.8  | 2    |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 1.8  |                |      |      |    |
| 付帯工<br>水替工             | 据付・撤去工      |                          | 2    | + | +      | 箇所             | 2.0  | 2    |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 2.0  |                |      |      |    |
|                        | ポンプ運転工      | 作業時排水<br>φ200×2台、φ150×1台 | 34   | + | +      | 日              | 34.0 | 34   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 34.0 |                |      |      |    |
|                        | ポンプ運転工      | 作業時排水<br>φ200×1台         | 25   | + | +      | 日              | 25.0 | 25   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 25.0 |                |      |      |    |
|                        | 大型土のう制作     |                          | 18   | + | +      | 袋              | 18.0 | 18   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 18.0 |                |      |      |    |
|                        | 大型土のう設置     |                          | 18   | + | +      | 袋              | 18.0 | 18   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 18.0 |                |      |      |    |
|                        | 大型土のう移設     |                          | 12   | + | +      | 袋              | 12.0 | 12   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 12.0 |                |      |      |    |
|                        | 大型土のう撤去     |                          | 18   | + | +      | 袋              | 18.0 | 18   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 18.0 |                |      |      |    |
|                        | 土のう仕拵・積立・撤去 | 小口並べ                     | 2.7  | + | +      | m <sup>2</sup> | 2.7  | 3    |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 2.7  |                |      |      |    |
|                        | 土砂等運搬（～現場）  | 標準、L=5.8km以下             | 16.0 | + | +      | m <sup>3</sup> | 16.0 | 16   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 16.0 |                |      |      |    |
|                        | 土砂等運搬（～処分）  | 標準、L=5.7km以下             | 16.0 | + | +      | m <sup>3</sup> | 16.0 | 16   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 16.0 |                |      |      |    |
|                        | 購入土         | 処理土                      | 19.0 | + | +      | m <sup>3</sup> | 19.0 | 19   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 19.0 |                |      |      |    |
|                        | 発生土受入費      |                          | 16.0 | + | +      | m <sup>3</sup> | 16.0 | 16   |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 16.0 |                |      |      |    |
|                        | 廃プラスチック運搬   |                          | 0.04 | + | +      | t              | 0.04 | 0.04 |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.04 |                |      |      |    |
|                        | 処分費 廃プラスチック | L=6.5km以下                | 0.04 | + | +      | t              | 0.04 | 0.04 |    |
|                        |             |                          |      | + | ≈ 0.04 |                |      |      |    |
| 技術管理費                  |             |                          | 52.6 | + | +      |                |      |      |    |
| 鉄筋探査費                  | 鉄筋探査        |                          |      | + | ≈ 52.6 | m <sup>2</sup> | 52.6 | 53   |    |
| 準備費                    |             |                          | 3.5  | + | +      |                |      |      |    |
| 堆積土除去                  | 吸引車清掃工      | 強力吸引車8t                  | 6.2  | + | +      | m <sup>3</sup> | 9.7  | 10   |    |
| 準備費                    |             |                          | 3.5  | + | +      |                |      |      |    |
| 堆積土除去                  | 吸引車運搬工      | 強力吸引車8t                  | 6.2  | + | +      | m <sup>3</sup> | 9.7  | 10   |    |
| 準備費                    |             |                          | 3.5  | + | +      |                |      |      |    |
| 堆積土除去                  | 建設汚泥（泥水）処分費 | L=8.6km以下                | 6.2  | + | +      | m <sup>3</sup> | 9.7  | 10   |    |
|                        |             |                          |      | + | +      |                |      |      |    |
|                        |             |                          |      | + | +      |                |      |      |    |
|                        |             |                          |      | + | +      |                |      |      |    |
|                        |             |                          |      | + | +      |                |      |      |    |
|                        |             |                          |      | + | +      |                |      |      |    |

| 種別          | 形 状 寸 法         | 算 式                          | 単位 | 数量  | 備考 |
|-------------|-----------------|------------------------------|----|-----|----|
| あと施工せん断補強工  |                 |                              |    |     |    |
| あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=350mm、下方向 | N= 160                       | 本  | 160 |    |
| 底版          |                 |                              |    |     |    |
| 両端頭付せん断補強鉄筋 | D25、L=350mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 160 | 本  | 160 |    |
| 無機系定着材      | RMA-3038        | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 160 | 本  | 160 |    |
| コンクリート削孔工   | 削岩機、L=450mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 160 | 箇所 | 160 |    |
| 打設工         | 下方向             | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 160 | 本  | 160 |    |
| あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=460mm、下方向 | N= 13                        | 本  | 13  |    |
| 底版 ハンチ      |                 |                              |    |     |    |
| 両端頭付せん断補強鉄筋 | D25、L=460mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 13  | 本  | 13  |    |
| 無機系定着材      | RMA-3038        | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 13  | 本  | 13  |    |
| コンクリート削孔工   | 削岩機、L=601mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 13  | 箇所 | 13  |    |
| 打設工         | 下方向             | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 13  | 本  | 13  |    |
| あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=450mm、横方向 | N= 101                       | 本  | 101 |    |
| 側壁          |                 |                              |    |     |    |
| 両端頭付せん断補強鉄筋 | D25、L=450mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 101 | 本  | 101 |    |
| 無機系定着材      | RMA-3038        | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 101 | 本  | 101 |    |
| コンクリート削孔工   | 削岩機、L=500mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 101 | 箇所 | 101 |    |
| 打設工         | 横方向             | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 101 | 本  | 101 |    |
| あと施工せん断補強鉄筋 | D25、L=530mm、横方向 | N= 15                        | 本  | 15  |    |
| 側壁 ハンチ      |                 |                              |    |     |    |
| 両端頭付せん断補強鉄筋 | D25、L=530mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 15  | 本  | 15  |    |
| 無機系定着材      | RMA-3038        | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 15  | 本  | 15  |    |
| コンクリート削孔工   | 削岩機、L=601mm     | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 15  | 箇所 | 15  |    |
| 打設工         | 横方向             | N= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より 15  | 本  | 15  |    |

| 種別          | 形 状 寸 法          | 算 式                                        | 単位             | 数量   | 備考        |
|-------------|------------------|--------------------------------------------|----------------|------|-----------|
| 殻運搬処理       |                  |                                            |                |      |           |
| 殻運搬         | 構造物取壊し、L=6.3km以下 | V= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より = 0.141           | m <sup>3</sup> | 0.14 |           |
| Co殻受入費      |                  | V= 別紙、あと施工せん断補強鉄筋工 数量表より = 0.141           | m <sup>3</sup> | 0.14 |           |
| 鉄筋探査        |                  |                                            |                |      |           |
| 鉄筋探査        | 底版               | A= 2.5×5.9+8.1× (2.5+2.0) /2 = 32.98       | m <sup>2</sup> | 33.0 |           |
| 鉄筋探査        | 側壁               | A= 1.40×14.0 = 19.60                       | m <sup>2</sup> | 19.6 |           |
| 鉄筋探査        |                  | A= 32.98+19.6 = 52.58                      | m <sup>2</sup> | 52.6 |           |
| 堆積土除去       |                  |                                            |                |      |           |
| 吸引車清掃工      | 強力吸引車8t          | V= 0.05× (5.00×5.9+ (5+4.5) /2×8.6) = 3.52 | m <sup>3</sup> | 3.5  | 堆積高H=0.05 |
| 吸引車運搬工      | 強力吸引車8t          | V= = 3.52                                  | m <sup>3</sup> | 3.5  |           |
| 建設汚泥（泥水）処分費 | L=8.6km以下        | V= = 3.52                                  | m <sup>3</sup> | 3.5  |           |

あと施工せん断補強鉄筋工 集計表（流入渠）

| 箇所     | 径    | 削孔方向 | 部材厚  | 削孔径  | 削孔被り | 削孔長  | 補強筋被り | 補強筋長 | 施工本数 | 単位重量   | 鉄筋質量   | 殻運搬処理  |
|--------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|--------|--------|--------|
|        | (mm) | (m)  | (mm) | (mm) | (mm) | (mm) | (mm)  | (mm) | (本)  | (kg/m) | ( t )  | (m³)   |
|        |      |      |      |      |      |      |       |      |      |        |        |        |
| 底版     | D25  | 下方向  | 600  | 36   | 150  | 450  | 100   | 350  | 160  | 3. 98  | 0. 223 | 0. 073 |
| 底版 ハンチ | D25  | 下方向  | 750  | 36   | 149  | 601  | 141   | 460  | 13   | 3. 98  | 0. 024 | 0. 008 |
|        |      |      |      |      |      |      |       |      |      |        |        |        |
| 側壁     | D25  | 横方向  | 550  | 36   | 50   | 500  | 50    | 450  | 101  | 3. 98  | 0. 181 | 0. 051 |
| 側壁 ハンチ | D25  | 横方向  | 650  | 36   | 49   | 601  | 71    | 530  | 15   | 3. 98  | 0. 032 | 0. 009 |
|        |      |      |      |      |      |      |       |      |      |        |        |        |
|        |      |      |      |      |      |      |       |      |      |        |        |        |
|        |      |      |      |      |      |      |       |      |      |        |        |        |
| 小計     |      |      |      |      |      |      |       |      | 289  |        | 0. 460 | 0. 141 |

| 種別          | 形 状 寸 法    | 算 式                                  | 単位             | 数量   | 備考        |
|-------------|------------|--------------------------------------|----------------|------|-----------|
| 開口縮小（ポンプ井）  |            |                                      |                |      |           |
| 鉄筋工         | D13        | V= 別紙、鉄筋工 集計表より = 0.005              | t              | 0.01 |           |
| 鉄筋工         | D19        | V= 別紙、鉄筋工 集計表より = 0.053              | t              | 0.05 |           |
| あと施工アンカー    | D19、下方向    | N= = 4                               | 本              | 4    |           |
| アンカー        | D19、下方向    | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 4                  | 本              | 4    |           |
| アンカー用樹脂カプセル | D19用、ガラス管  | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 4                  | 本              | 4    |           |
| あと施工アンカー    | D19、横方向    | N= = 14                              | 本              | 14   |           |
| アンカー        | D19、横方向    | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 14                 | 本              | 14   |           |
| アンカー用樹脂カプセル | D19用、ガラス管  | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 14                 | 本              | 14   |           |
| あと施工アンカー    | D19、上方向    | N= = 4                               | 本              | 4    |           |
| アンカー        | D19、上方向    | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 4                  | 本              | 4    |           |
| アンカー用樹脂カプセル | D19用、ガラス管  | N= 別紙、鉄筋工 集計表より = 4                  | 本              | 4    |           |
| コンクリート      | 24-12-25BB | V= 0.30×0.60×1.50 = 0.27             | m <sup>3</sup> | 0.3  |           |
| 型枠          | 無筋・鉄筋構造物   | A= (0.30×2+0.60) ×1.50 = 1.80        | m <sup>2</sup> | 1.8  |           |
| 堆積土除去       |            |                                      |                |      |           |
| 吸引車清掃工      | 強力吸引車8t    | V= 0.20×(4.30×4.50+2.50×4.70) = 6.22 | m <sup>3</sup> | 6.2  | 堆積高H=0.20 |
| 吸引車運搬工      | 強力吸引車8t    | V= = 6.22                            | m <sup>3</sup> | 6.2  |           |
| 建設汚泥（泥水）処分費 | L=8.6km以下  | V= = 6.22                            | m <sup>3</sup> | 6.2  |           |



| 種別          | 形 状 寸 法                     | 算 式                                    | 単位             | 数量   | 備考                  |
|-------------|-----------------------------|----------------------------------------|----------------|------|---------------------|
| 水替工         |                             |                                        |                |      |                     |
| 据付・撤去工      |                             | N= 流入渠、ポンプ井                            | 箇所             | 2    |                     |
| ポンプ運転工      | 作業時排水<br>φ 200×2台、 φ 150×1台 | V= 別紙、作業工程表より                          | 日              | 34   |                     |
| ポンプ運転工      | 作業時排水<br>φ 200×1台           | V= 別紙、作業工程表より                          | 日              | 25   |                     |
| 大型土のう制作     |                             | N=                                     | 18 袋           | 18   |                     |
| 大型土のう設置     |                             | N=                                     | 18 袋           | 18   |                     |
| 大型土のう移設     |                             | N=                                     | 12 袋           | 12   |                     |
| 大型土のう撤去     |                             | N=                                     | 18 袋           | 18   |                     |
| 土のう仕拵・積立・撤去 | 小口並べ                        | A= 9.00×0.10×3                         | m <sup>2</sup> | 2.7  | ※17袋/m <sup>2</sup> |
| 土砂等運搬(～現場)  | 標準、L=5.8km以下                | V= (18+0.02×(2.7×17)÷1.2               | m <sup>3</sup> | 16   |                     |
| 土砂等運搬(～処分)  | 標準、L=5.7km以下                | V=                                     | m <sup>3</sup> | 16   |                     |
| 購入土         | 処理土                         | V= 18+0.02×(2.7×17)                    | m <sup>3</sup> | 19   |                     |
| 発生土受入費      |                             | V=                                     | m <sup>3</sup> | 16   |                     |
| 廃プラスチック運搬   | 大型土のう、土のう<br>L=6.5km以下      | W= (2100×18+38×17×2.7)/10 <sup>6</sup> | t              | 0.04 |                     |
| 処分費 廃プラスチック |                             | W= (2100×18+38×17×2.7)/10 <sup>6</sup> | t              | 0.04 |                     |

交通誘導員集計表（土木）

[illegible]